

3 非定期刊行物

3.1 Author position (著者位置)

3.1.1 Author position (著者位置)における人名: Templates

■著者位置における貢献者名(人名)の構成

- ・ Surname
- ・ Given names を (Middle name(s)がある場合はそれらも全て) イニシャルで
- ・ Suffix (Jr.や III などがある場合のみ)

の3部によって、この順で構成される。

著者位置においてのみ、貢献者名は、いかなる言語で制作された作品の、いかなる言語の人名であっても、姓→名の順で記述される。

※当紀要への投稿論文では、必ずしも Given name をイニシャルに省略する必要はないが (日本語人名や日本語に転写された人名では、そもそもイニシャルにできない)、論文を通して省略するかしないかについて統一されている必要がある。また、Given name をイニシャル化しない場合でも、Middle names は必ずイニシャル化すること (e.g., Ai, ■Ueo■M. と Ai, ■U. ■M.)

○これら人名の各構成要素はピリオド等で終止せず、ただそれぞれの要素間がカンマで区切られるだけである (日本語人名除く)。

カンマはあくまでも人名の構成要素間の区切りなので、Suffix がない場合は Given name や Middle name(s) (あれば) のあとにカンマは打たない。

Given name ・ Middle name(s)のイニシャルや Jr の直後のピリオドは、一見これら要素の終了のようにも見えるが、実際はそれらが省略形であることを意味するだけのものである (ピリオドを打つのは Suffix では Jr だけで III 以降はピリオドなし)。

各貢献者名の末尾には一人一人 (一団体一団体)、各貢献者名の終止を意味するピリオドを打つが、Given name ・ Middle name(s)のイニシャルや Jr が省略形であることを意味するピリオドが、この貢献者名の終止ピリオドとほとんどのケースで一体化するので、その点にも注意が必要。

■著者位置における、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

- ・ 日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順
- ・ それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
- ・ 2 人列挙の場合では A., ■&■B. ■
- ・ 3 人以上の列挙では A., ■B., ■...■F., ■&■G. ■

となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である (通常はアンパサンド前にはカンマを打たない)。

上記のような貢献者の列挙は 7 人までで、8 人以上いる場合は

A., ■B., ■C., ■D., ■E., ■F., ■...■Z. ■

のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 人目までカンマを挟んで列挙して、その後スペースを挟んだピリオド3つを置き、最後に、一

番最後の貢献者だけを記述する。

■著者位置における、同一 Contribution でまとめた貢献者グループの列挙は、

- ・ 2 グループ列挙の場合では GroupA., & GroupB.
- ・ 3 グループ以上の列挙では GroupA., GroupB., ... GroupF., & GroupG.

となる。アンパサンド直前にもカンマを打つ点特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような同一 Contribution グループの列挙は 7 グループまでで、8 グループ以上ある場合は

GroupA., GroupB., GroupC., GroupD., GroupE., GroupF., . . . GroupG.

のように記述する。

アンパサンドを使わずに 6 グループ目までカンマを挟んで列挙して、その後スペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者グループだけを記述する。

また、グループ間の順序は Contribution の重要度で決まる。

該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■著者位置における、Contribution の列挙は

Contribution がいくつか兼任されている場合は、

- ・ 2 つの列挙で (ContributionA & ContributionB)、
- ・ 3 つ以上だと (ContributionA, ContributionB, ... ContributionY & ContributionZ)

のように、アンパサンド前にカンマを打たずに記述する（ここが貢献者名の列挙と違うので注意）。

Contribution は貢献者名と違って、8 以上あっても . . . で省略しない。

該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■著者位置における人名のバリエーション

1) 貢献者が通常の人名の場合

阿井上緒.

Ai, U. M.

Ai, Ueo M.

2) 貢献者名の Surname に接頭辞 (O や Mc) がつく場合

MacNeil, M. A.

MacNeil, Maria A.

McArthur, M. A.

McArthur, Maria A.

O'Connell, M. A.

O'Connell, Maria A.

接頭辞の記述は、引用した作品の記述に倣うこと。

3) 貢献者名の Surname に前置詞 (de や van) がつく場合

Van■Rijn,■R.■H.
Van■Rijn,■Rembrandt■H.
De■Champaigne,■P.
De■Champaigne,■Philippe.
De■La■Tour,■M.■Q.
De■La■Tour,■Maurice■Q.
Von■Stuck,■F.
Von■Stuck,■Franz.

接続詞なども、省略せずに記述する。

4) 貢献者名の Surname が複数の語に分かれている場合

Rodham■Clinton,■H.
Rodham■Clinton,■Hillary.

Surname が複数の語によって成り立っている場合は、それをそのまま記述する。

5) 貢献者名の Surname が複数の語に分かれてハイフンでつながれている場合

Labille-Guiard,■A.
Labille-Guiard,■Adelaide.

貢献者名の Surname が複数の語に分かれてハイフンでつながれている場合でも、それをそのまま記述する。

6) 貢献者名の Surname に Suffix (Jr. や III) がつく場合

Ai,■U.■M.,■III.
Ai,■Ueo■M.,■Jr.

Jr が省略形であることを示す末尾ピリオドは、貢献者名の末尾ピリオドと一体化している。

7) Given name や Middle name(s) が複数の語に分かれてハイフンでつながれている場合

Lamour,■J.-B.
Lamour,■Jean-Baptiste.

イニシャル化をする場合は、ハイフンの前後両方共をイニシャル化する。

8) Surname ・ Given name ・ Middle names という構成要素で成り立っていない人名の場合

Al-Ibrahim,■Samirah,■bint■Ibrahim,■bin■Hamad.
Bint■Ibrahim■bin■Hamad,■Samirah,■Al-Ibrahim.
Bint■Ibrahim,■Samirah,■bin■Hamad,■Al-Ibrahim.

Surname として慣用されている名を Surname として前に出し、それ以外の要素を、原語での記述順に、要素ごとにカンマで区切って Given name ・ Middle name(s) の場所に記述する。

ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s) をイニシャル化しなくて良い

9) 日本語転写された貢献者名の場合（翻訳作品を除く）

(1) カタカナ転写の場合

- ウエオ・M・アイ.
- ウエオ・マリア・アイ.
- ウエオ・M.=アイ.
- ウエオ・マリア=アイ.

姓名の順は作品に記述されている通りのまま、各要素間にはスペースを挟まず、代わりに中黒を打って記述する。=記号が使用されている場合は、それもそのまま記述。**カタカナ転写の場合は、中黒は必須。**

(2) 日本式漢字への転写の場合

- 魯迅.
- 司馬遷.

姓名の順は作品に記述されている通りのまま、日本語人名と同じく**中黒は打たない。**

(3) カタカナ転写・日本式漢字転写・ローマ字表記などが混交した転写の場合

- マリア阿井上緒.
- マリア・阿井・上緒.
- Maria 阿井上緒.

姓名の順は作品に記述されている通りのまま、中黒に関しても作品の記述に倣う。**作品の記述に中黒がない場合は打たなくて良い。**

10) Given name・Middle name(s)をイニシャル化した結果、同姓異名の著者の区別がつかなくなってしまう場合

- Ai, ■U. ■M. ■[Ueo ■Madeleine].
- Ai, ■U. ■M. ■[Ueo ■Maria].
- または、
- Ai, ■Ueo ■M. ■[Madeleine].
- Ai, ■Ueo ■M. ■[Maria].

区別がつかない貢献者たちだけ、貢献者名直後に半角角括弧で囲った形で、イニシャル化しない Given name と Middle name(s)を記述する。半角角括弧の直後にもピリオドを打つ。

11) 引用作品が日本語以外の言語から日本語に翻訳されたものの場合

- Guo, ■Jiji. ■[国际基, ■国际基].
- Kuk, ■Cheki. ■[국제기, ■クク・チェギ].

- ・貢献者名のローマ字記述（原語がローマ字語でない場合、ローマ字転写の Given name や Middle name(s)は、イニシャル化してはならない／ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s)をイニシャル化しなくて良い)
- ・原語がローマ字語でない場合、直後に半角角括弧で囲って、[原語による貢献者名, ■貢献者名の日本語転写]の2つを記述する。原語による貢献者名の記述の際、姓名の順は原語の慣例に習う。貢献者名の日本語転写は9)を参照のこと。

半角角括弧の直後にもピリオドを打つ。

12) 引用作品が英語以外の言語から英語に翻訳されたものの場合

Guo, ■Jiji. ■[国際基].

Kuk, ■Cheki. ■[국제기].

・ 貢献者名のローマ字記述（原語がローマ字語でない場合、ローマ字転写の Given name や Middle name(s)は、イニシャル化してはならない / ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s)をイニシャル化しなくて良い)

・ 原語がローマ字語でない場合、直後に半角角括弧で囲って、[原語による貢献者名]を記述する。姓名の順は原語の慣例に習う。

半角角括弧の直後にもピリオドを打つ。

13) 引用作品が英語・日本語以外の言語によって制作された原語版の場合

Guo, ■Jiji. ■[国際基].

Kuk, ■Cheki. ■[국제기].

・ 貢献者名のローマ字記述（原語がローマ字語でない場合、ローマ字転写の Given name や Middle name(s)は、イニシャル化してはならない / ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s)をイニシャル化しなくて良い)

・ 原語がローマ字語でない場合、直後に半角角括弧で囲って、[原語による貢献者名]を記述する。姓名の順は原語の慣例に習う。

半角角括弧の直後にもピリオドを打つ。

14) 作品自体に記述がない貢献者名の場合

(1) 確実視されている貢献者があるが、作品に記述がない場合

[阿井上緒.].

[Ai, ■U. ■M.].

[Ai, ■Ueo ■M.].

[Ai, ■U. ■M. ■[Ueo ■Madeleine]].

[Ai, ■U. ■M. ■[Ueo ■Maria]].

[Guo, ■Jiji. ■[国際基, ■国際基].].

[Kuk, ■Cheki. ■[국제기, ■クク・チェギ]].

[Guo, ■Jiji. ■[国際基]].

[Kuk, ■Cheki. ■[국제기]].

貢献者名を一人一人半角角括弧に囲って記述する。半角角括弧の直後にもピリオドを打つ。

(2) 推定貢献者名がいるが、作品に記述がなく、疑問も多いという場合

[阿井上緒.?.].

[Ai, ■U. ■M.?.].

[Ai, ■Ueo ■M.?.].

[Ai, ■U. ■M. ■[Ueo ■Madeleine]?.].

[Ai, ■U. ■M. ■[Ueo ■Maria]?.].

[Guo, ■Jiji. ■[国際基, ■国際基].?.].

[Kuk, ■Cheki. ■[국제기, ■クク・チェギ].?.].

[Guo, Jiji. [国際基].?].

[Kuk, Cheki. [국제기].?].

貢献者名を一人一人半角角括弧に囲った上で、半角角括弧内の末尾に半角疑問符を記述する。半角角括弧の直後にもピリオドを打つ。

(3) 確実視されているものの作品自体に記述のない貢献者が複数人いる場合

[阿井上緒.], [垣くけ子.], [伽菊気子.], [差洲せそ.], [車史須世素.], [太刀伝手人.], & [和井植夫.].

[Ai, U. M.], [Kaki, K. S.], [Kyakiku, K. V.], [Sashisu, S. A.], [Shashi, S. A.], [Tachi, T. T.], & [Wai, U. D.].

[Ai, Ueo M.], [Kaki, Kukeko S.], [Kyakiku, Keko V.], [Sashisu, Seso A.], [Shashi, Suseso A.], [Tachi, Tsuteto T.], & [Wai, Ueo D.].

一括して半角角括弧に囲うのではなく、貢献者名を一人一人半角角括弧に囲って記述する。

(4) 作品に記述がなく疑問も多い推定貢献者名が複数いる場合

[阿井上緒.?.], [垣くけ子.?.], [伽菊気子.?.], [差洲せそ.?.], [車史須世素.?.], [太刀伝手人.?.], & [和井植夫.?.].

[Ai, U. M.?.], [Kaki, K. S.?.], [Kyakiku, K. V.?.], [Sashisu, S. A.?.], [Shashi, S. A.?.], [Tachi, T. T.?.], & [Wai, U. D.?.].

[Ai, Ueo M.?.], [Kaki, Kukeko S.?.], [Kyakiku, Keko V.?.], [Sashisu, Seso A.?.], [Shashi, Suseso A.?.], [Tachi, Tsuteto T.?.], & [Wai, Ueo D.?.].

一括して半角角括弧に囲うのではなく、貢献者名を一人一人半角角括弧に囲った上で、半角角括弧内の末尾に半角疑問符を記述する。

※著者位置はそれだけでひと固まりなので、最後に必ず著者位置全体の終止ピリオドを打つが、常に最後の貢献者名の終止ピリオド、あるいは最後の貢献者に半角角括弧に囲った情報や Contribution があればその終止ピリオドと一体化するため、実際には改めて打つ必要はない。

■ 著者位置における Contribution

各貢献者名には、それぞれ contribution を記述できる。

- ・ 著者位置においては、Contribution は半角角括弧に囲って記述する。
- ・ 各 Contribution の半角丸括弧の直後にも必ずピリオドを打つ。

1) Contribution の兼任

貢献者の中には複数の Contribution を兼任しているものも多い。その場合は、

Surname, G. M. (Executive Producer), Surname, G. M. (Producer & Director), & Surname, G. M. (Writer, Director & Performer).

のように記述する。

2) 複数貢献者による同一 Contribution の共有

複数の貢献者が同一の Contribution を共有している場合もあるが、その

場合は同じ Contribution を各々に何度も記述するのではなく、
Surname, G. M., & Surname, G. M. (Supervising Eds.), & Surname, G. M., Surname, G. M., & Surname, G. M. (Annotators, Eds. & Trans.)

このように、一括して記述する。該当貢献者が複数いる場合は、Contribution も複数形になる点に注意。Ed.は Eds.になるが、Translator の省略形 Trans.は単複同形なので、該当貢献者が複数いても形が変わらない点に注意。

3) 複数貢献者による同一 Contribution の部分的共有

必然的に、完全に同じ種類の Contribution を共有していない場合は、上記2)のようにまとめた記述はできず、

Surname, G. M., & Surname, G. M. (Supervising Eds.), Surname, G. M., & Surname, G. M. (Annotators, Eds. & Trans.), & Surname, G. M., & Surname, G. M. (Annotators & Trans.).

このように、それぞれ別グループとして括りなおす必要がある。

該当貢献者が複数いる場合は、Contribution も複数形になる点に注意。Ed.は Eds になるが、Translator の省略形 Trans.は単複同形なので、該当貢献者が複数いても形が変わらない。

※Contribution は、基本的に作品に貢献した人物団体を列挙する場合に、それぞれを差別化するために必要になってくるものである。

そのため、原作者しか貢献者がいない作品の場合には、(Author)という contribution は記述する必要がない（特に断りのない場合は原作者に決まっているから）。

※※著者位置はそれだけでひと固まりなので、最後に必ず著者位置全体の終止ピリオドを打つが、常に最後の貢献者名の終止ピリオド、あるいは最後の貢献者に半角角括弧に囲った情報や Contribution があればその終止ピリオドと一体化するため、実際には改めて打つ必要はない。

■著者位置における Contribution の代表的な例は、

Author（脚色本などの原作者）／Writer（脚本家）／Executive Producer（映像・舞台作品などの製作総指揮）／Producer（映像・舞台作品などのプロデューサー）／Chief Producer（映像・舞台作品などの複数プロデューサーの中で、特に差別化が必要な場合）／Director（映像・舞台作品などの監督）／Composer（作曲家）／Lyricist（作詞家）／Performer（歌手、演奏者、演技者）／Ed.（編集者）／Vol. Ed.（シリーズ中の1巻のみの編集者）／Series Ed.（シリーズ全体の編集者）／Supervising Ed.（監修者）／Trans.（翻訳者）／Transcriber（写本家）／Annotator（注釈者）／Adaptor（脚色者、編曲者、翻案者）／Speaker（話者、座談会参加者）／Interviewer（インタビュー聞き手）／Interviewee（インタビュー語り手）／Cartographer（地図製作者）／Chair（シンポジウムなどの司会）／Audiotypist（書き起こし者）、など。

Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

3.1.2 Author position (著者位置) 全体の記述

1) 著者位置の貢献者に該当なし

(1) 引用作品が、独立した一巻の作品の場合

著者の明記がない場合は、著者氏名の代わりにタイトルが著者位置（先頭）に入る。

『ジェンダー研究センター』.(2003).(2nd ed.).東京:CGS 出版.
Center for gender studies.(2003).(2nd ed.).Tokyo:CGS Press.

引用作品タイトルに他の引用作品情報（上記の例だと(2nd ed.))がある場合は、通常引用作品タイトルにはピリオドを打たないが、この場合は引用作品タイトルが引用作品情報（上記の例だと(2nd ed.))から離れて著者位置に移動しているため、引用作品単独にピリオドがついている。

本来なら引用作品タイトルと一セットのはずの引用作品情報（上記の例だと(2nd ed.))だが、引用作品タイトルが著者位置に移動すると、切り離されて本来の位置に残る点に注意。

本文中出典明記の記述は、

(『ジェンダー研究センター』, 2003, pp.00-00)

(Center for gender studies, 2003, pp.00-00)

となる。

(2) 引用作品が、別の1~複数巻にわたる作品に収載されている場合

「ジェンダー研究センター」.(2003).(2nd ed.).In 阿井上緒 (Ed.), 『ICU の研究所』.東京:CGS 出版.

Center for gender studies.(2003).(2nd ed.).In U. M. Ai, Research institutes of ICU. Tokyo:CGS Press.

Center for gender studies.(2003).(2nd ed.).In Ueo M. Ai, Research institutes of ICU. Tokyo:CGS Press.

引用作品タイトルに他の引用作品情報（上記の例だと(2nd ed.))がある場合は、通常引用作品タイトルにはピリオドを打たないが、この場合は引用作品タイトルが引用作品情報（上記の例だと(2nd ed.))から離れて著者位置に移動しているため、引用作品単独にピリオドがついている。

本来なら引用作品タイトルと一セットのはずの引用作品情報（上記の例だと(2nd ed.))だが、引用作品タイトルが著者位置に移動すると、切り離されて本来の位置に残る点に注意。

本文中出典明記の記述は、

(「ジェンダー研究センター」, 2003, pp.00-00)

(“Center for gender studies,” 2003, pp.00-00)

となる。

英語の表記の方が、コーテーションマークで囲ってある点に注意。引用作品が独立した一巻の作品ではない場合（＝引用作品を収載した収載巻がある場合）、引用作品タイトルはイタリサイズできない。

しかしイタリックでない本文中出典明記に記述されたものがタイトルであると示すものがなくなってしまう。そこで、この場合のみ、本文中出典明記の半角丸括弧内の引用作品タイトルを、コーテーションマークで囲って記述する。

2) 著者位置の貢献者名 1

阿井上緒, (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

3) 著者位置の貢献者名 2～7

阿井上緒, 垣くけ子, 伽菊気子, 差洲せそ, 車史須世素, 太刀伝手人, & 和井植夫. (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版.

Ai, U. M., Kaki, K. S., Kyakiku, K. V., Sashisu, S. A., Shashi, S. A., Tachi, T. T., & Wai, U. D. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M., Kaki, Kukeko S., Kyakiku, Keko V., Sashisu, Seso A., Shashi, Suseso A., Tachi, Tsuteto T., & Wai, Ueo D. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

■ 著者位置における、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

- ・ 日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順
- ・ それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
- ・ 2 人列挙の場合では A., & B.
- ・ 3 人以上の列挙では A., B., ... F., & G.

となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような貢献者の列挙は 7 人までで、8 人以上いる場合は

A., B., C., D., E., F., ... Z.

のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

■ 著者位置における Contribution の代表的な例は、

Author（脚色本などの原作者）／Writer（脚本家）／Executive Producer（映像・舞台作品などの製作総指揮）／Producer（映像・舞台作品などのプロデューサー）／Chief Producer（映像・舞台作品などの複数プロデューサーの中で、特に差別化が必要な場合）／Director（映像・舞台作品などの監督）／Composer（作曲家）／Lyricist（作詞家）／Performer（歌手、演奏者、演技者）／Ed.（編集者）／Vol. Ed.（シリーズ中の 1 巻のみの編集者）／Series Ed.（シリーズ全体の編集者）／Supervising Ed.（監修者）／Trans.（翻訳者）／Transcriber（写本家）／Annotator（注釈者）／Adaptor（脚色者、編曲者、翻案者）／Speaker（話者、座

談会参加者) / Interviewer (インタビュー聞き手) / Interviewee (インタビュー語り手) / Cartographer (地図製作者) / Chair (シンポジウムなどの司会) / Audiotypist (書き起こし者)、など。
Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

貢献者名 2~6 の場合は、上記の例から人数に合わせて前の方から貢献者名を削って行く。2 人の場合だと以下ようになる。

阿井上緒., 垣くけ子., 伽菊気子., 差洲せそ., 車史須世素., 太刀伝手人., & 和井植夫. (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版.
Ai, U. M., Kaki, K. S., Kyakiku, K. V., Sashisu, S. A., Shashi, S. A., Tachi, T. T., & Wai, U. D. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.
Ai, Ueo M., Kaki, Kukeko S., Kyakiku, Keko V., Sashisu, Seso A., Shashi, Suseso A., Tachi, Tsuteto T., & Wai, Ueo D. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

3 人の場合だと以下ようになる。

阿井上緒., 垣くけ子., 伽菊気子., 差洲せそ., 車史須世素., 太刀伝手人., & 和井植夫. (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版.
Ai, U. M., Kaki, K. S., Kyakiku, K. V., Sashisu, S. A., Shashi, S. A., Tachi, T. T., & Wai, U. D. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.
Ai, Ueo M., Kaki, Kukeko S., Kyakiku, Keko V., Sashisu, Seso A., Shashi, Suseso A., Tachi, Tsuteto T., & Wai, Ueo D. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

4) 著者位置の貢献者名 8 以上

阿井上緒., 垣くけ子., 伽菊気子., 差洲せそ., 車史須世素., 太刀伝手人.,
和井植夫. (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版.
Ai, U. M., Kaki, K. S., Kyakiku, K. V., Sashisu, S. A., Shashi, S. A., Tachi, T. T., Wai, U. D. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.
Ai, Ueo M., Kaki, Kukeko S., Kyakiku, Keko V., Sashisu, Seso A., Shashi, Suseso A., Tachi, Tsuteto T., Wai, Ueo D. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

■ 著者位置における、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

- ・ 日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順
- ・ それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
- ・ 2 人列挙の場合では A., & B.
- ・ 3 人以上の列挙では A., B., ... F., & G.

となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である (通常はアンパサンド前にはカンマを打たない)。

上記のような貢献者の列挙は7人までで、8人以上いる場合はA., B., C., D., E., F., G., H., I., J., K., L., M., N., O., P., Q., R., S., T., U., V., W., X., Y., Z.のように記述する。アンパサンドを使わずに6人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド3つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

■著者位置における Contribution の代表的な例は、Author (脚色本などの原作者) / Writer (脚本家) / Executive Producer (映像・舞台作品などの製作総指揮) / Producer (映像・舞台作品などのプロデューサー) / Chief Producer (映像・舞台作品などの複数プロデューサーの中で、特に差別化が必要な場合) / Director (映像・舞台作品などの監督) / Composer (作曲家) / Lyricist (作詞家) / Performer (歌手、演奏者、演技者) / Ed. (編集者) / Vol. Ed. (シリーズ中の1巻のみの編集者) / Series Ed. (シリーズ全体の編集者) / Supervising Ed. (監修者) / Trans. (翻訳者) / Transcriber (写本家) / Annotator (注釈者) / Adaptor (脚色者、編曲者、翻案者) / Speaker (話者、座談会参加者) / Interviewer (インタビュー聞き手) / Interviewee (インタビュー語り手) / Cartographer (地図製作者) / Chair (シンポジウムなどの司会) / Audiotypist (書き起こし者)、など。Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

- 5) 著者位置の貢献者に with つきの共著者 (協力共著者) がいる場合
阿井上緒. (with 垣くけ子). (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版.
Ai, U. M. (with Kaki, K. S.). (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.
Ai, Ueo M. (with Kaki, Kukeko S.). (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

with つきの共著者名 (協力共著者) も、括弧付きとは言え著者位置にあるので、著者名をピリオドで終止し、英語の場合は、人名なら姓→名の順で並べる。

本文中では with つきの共著者 (協力共著者) の名前は引用文献情報に入れない。
e.g., 「〜〜〜引用文〜〜〜」 (太刀, 2003, p. 00)

- 6) 著者位置の貢献者名 1 (Contribution あり)
阿井上緒. (Ed.). (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版.
Ai, U. M. (Ed.). (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.
Ai, Ueo M. (Ed.). (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

Ed.の末尾ピリオドは Ed.が Editor の省略であることを示すピリオドであり、ピリオドまでで一語であるため、APA の記述構造とは無関係に必要。

- 7) 著者位置の貢献者名 2~7 (Contribution あり)
阿井上緒., 垣くけ子., 伽菊気子., 差洲せそ., 車史須世素., 太刀伝手人., & 和井植夫. (Eds.). (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版.

Ai, U. M., Kaki, K. S., Kyakiku, K. V., Sashisu, S. A., Shashi, S. A., Tachi, T. T., & Wai, U. D. (Eds.). (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M., Kaki, Kukeko S., Kyakiku, Keko V., Sashisu, Seso A., Shashi, Suseso A., Tachi, Tsuteto T., & Wai, Ueo D. (Eds.). (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

■著者位置における、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

- ・日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順
- ・それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
- ・2 人列挙の場合では A., & B.
- ・3 人以上の列挙では A., B., ... F., & G.

となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような貢献者の列挙は 7 人までで、8 人以上いる場合は

A., B., C., D., E., F., G., H., I., J., K., L., M., N., O., P., Q., R., S., T., U., V., W., X., Y., Z.

のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

■著者位置における Contribution の代表的な例は、

Author（脚色本などの原作者）／Writer（脚本家）／Executive Producer（映像・舞台作品などの製作総指揮）／Producer（映像・舞台作品などのプロデューサー）／Chief Producer（映像・舞台作品などの複数プロデューサーの中で、特に差別化が必要な場合）／Director（映像・舞台作品などの監督）／Composer（作曲家）／Lyricist（作詞家）／Performer（歌手、演奏者、演技者）／Ed.（編集者）／Vol. Ed.（シリーズ中の 1 巻のみの編集者）／Series Ed.（シリーズ全体の編集者）／Supervising Ed.（監修者）／Trans.（翻訳者）／Transcriber（写本家）／Annotator（注釈者）／Adaptor（脚色者、編曲者、翻案者）／Speaker（話者、座談会参加者）／Interviewer（インタビュー聞き手）／Interviewee（インタビュー語り手）／Cartographer（地図製作者）／Chair（シンポジウムなどの司会）／Audiotypist（書き起こし者）、など。

Ed. と Trans. はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

2～6 人の場合は、人数に合わせて前の方から貢献者名を削って行く。2 人の場合だと以下ようになる。

該当者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

阿井上緒, 垣くけ子, 伽菊気子, 差洲せそ, 車史須世素, 太刀伝手人, & 和井植夫. (Eds.). (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版.

Ai, U. M., Kaki, K. S., Kyakiku, K. V., Sashisu, S. A., Shashi, S. A., Tachi, T. T., & Wai, U. D. (Eds.). (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M., Kaki, Kukoko S., Kyakiku, Keko V., Sashisu, Seso A.,
Shashi, Suseso A., Tachi, Tsuteto T., & Wai, Ueo D. (Eds.). (2003).
Center for gender studies. Tokyo: CGS Press.

三人の場合だと以下のようになる。

阿井上緒, 垣くけ子, 伽菊気子, 差洲せそ, 車史須世素, 太刀伝手人, &
和井植夫. (Eds.). (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版.
Ai, U. M., Kaki, K. S., Kyakiku, K. V., Sashisu, S. A., Shashi, S. A.,
Tachi, T. T., & Wai, U. D. (Eds.). (2003). Center for gender studies.
Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M., Kaki, Kukoko S., Kyakiku, Keko V., Sashisu, Seso A.,
Shashi, Suseso A., Tachi, Tsuteto T., & Wai, Ueo D. (Eds.). (2003).
Center for gender studies. Tokyo: CGS Press.

カンマとアンパサンドに関する注意

APA マニュアルに従って論文を作成する場合、著者位置において人名や機関・団体名を列挙するにあたっては、各人名（機関・団体名）を「,」で区切り、最後の要素はアンパサンドでつなげるが、アンパサンドの前にも「,」が必要となる。

Eds.の末尾ピリオドはEds.がEditorsの省略であることを示すピリオドであり、ピリオドまでで一語であるため、APAの記述構造とは無関係に必要。

該当者が複数いれば、Contributionも複数形になる点に注意。

8) 著者位置の貢献者名 8 以上（Contribution あり）

阿井上緒, 垣くけ子, 伽菊気子, 差洲せそ, 車史須世素, 太刀伝手人,
& 和井植夫. (Eds.). (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版.
Ai, U. M., Kaki, K. S., Kyakiku, K. V., Sashisu, S. A., Shashi, S. A.,
Tachi, T. T., Wai, U. D. (Eds.). (2003). Center for gender studies.
Tokyo: CGS Press.
Ai, Ueo M., Kaki, Kukeko S., Kyakiku, Keko V., Sashisu, Seso A.,
Shashi, Suseso A., Tachi, Tsuteto T., Wai, Ueo D. (Eds.). (2003).
Center for gender studies. Tokyo: CGS Press.

■著者位置における、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

- ・日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順
- ・それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
- ・2 人列挙の場合では A., & B.
- ・3 人以上の列挙では A., B., ... F., & G.

となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような貢献者の列挙は 7 人までで、8 人以上いる場合は

A., B., C., D., E., F., Z.

のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 人目までカンマを挟んで

列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド3つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

■著者位置における、同一 Contribution でまとめた**貢献者グループ**の列挙は、

- ・ 2 グループ列挙の場合では GroupA., ■&■GroupB. ■
- ・ 3 グループ以上の列挙では GroupA., ■GroupB., ■...■GroupF., ■&■GroupG. ■

となる。アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような同一 Contribution グループの列挙は 7 グループまでで、8 グループ以上ある場合は

GroupA., ■GroupB., ■GroupC., ■GroupD., ■GroupE., ■GroupF., ■. . . ■GroupZ.

のように記述する。

アンパサンドを使わずに 6 グループ目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド3つを置き、最後に、一番最後の貢献者グループだけを記述する。

また、グループ間の順序は Contribution の重要度で決まる。

該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■著者位置における Contribution の代表的な例は、

Author（脚色本などの原作者）／Writer（脚本家）／Executive ■Producer（映像・舞台作品などの製作総指揮）／Producer（映像・舞台作品などのプロデューサー）／Chief ■Producer（映像・舞台作品などの複数プロデューサーの中で、特に差別化が必要な場合）／Director（映像・舞台作品などの監督）／Composer（作曲家）／Lyricist（作詞家）／Performer（歌手、演奏者、演技者）／Ed.（編集者）／Vol. ■Ed.（シリーズ中の1巻のみの編集者）／Series ■Ed.（シリーズ全体の編集者）／Supervising ■Ed.（監修者）／Trans.（翻訳者）／Transcriber（写本家）／Annotator（注釈者）／Adaptor（脚色者、編曲者、翻案者）／Speaker（話者、座談会参加者）／Interviewer（インタビュー聞き手）／Interviewee（インタビュー語り手）／Cartographer（地図製作者）／Chair（シンポジウムなどの司会）／Audiotypist（書き起こし者）、など。

Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

Eds.の末尾ピリオドは Eds.が Editors の省略であることを示すピリオドであり、ピリオドまでで一語であるため、APA の記述構造とは無関係に必要。

9) ■著者位置の貢献者名 2~7（様々な Contribution）

阿井上緒. ■(Supervising ■Ed.), ■垣くけ子., ■伽菊気子., ■&■差洲せそ. ■(Eds.), ■&■車史須世素., ■太刀伝手人., ■&■和井植夫. ■(Researchers). ■(2003). 『ジェンダー研究センター』. ■東京: ■CGS 出版.

Ai, U. M. (Supervising Ed.), Kaki, K. S., Kyakiku, K. V., & Sashisu, S. A. (Eds.), & Shashi, S. A., Tachi, T. T., & Wai, U. D. (Researchers). (2003). Center for gender studies. Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (Supervising Ed.), Kaki, Kukeko S., Kyakiku, Keko V., & Sashisu, Seso A. (Eds.), & Shashi, Suseso A., Tachi, Tsuteto T., & Wai, Ueo D. (Researchers). (2003). Center for gender studies. Tokyo: CGS Press.

貢献者の Contribution が様々にある場合は、貢献者名はただアルファベット順に並べるのではなく、上記のように共通 Contribution ごとにまとめて記述する。同一 Contribution グループ内では、貢献者名は 50 音順（日本語作品の場合）またはアルファベット順に並べる。

該当者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■ 著者位置における、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

- ・ 日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順
- ・ それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
- ・ 2 人列挙の場合では A., & B.
- ・ 3 人以上の列挙では A., B., ... F., & G.

となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような貢献者の列挙は 7 人までで、8 人以上いる場合は

A., B., C., D., E., F., ... Z.

のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 人目までカンマを挟んで列挙して、その後スペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

■ 著者位置における、同一 Contribution でまとめた貢献者グループの列挙は、

- ・ 2 グループ列挙の場合では Group A., & Group B.
- ・ 3 グループ以上の列挙では Group A., Group B., ... Group F., & Group G.

となる。アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような同一 Contribution グループの列挙は 7 グループまでで、8 グループ以上ある場合は

Group A., Group B., Group C., Group D., Group E., Group F., ... Group Z.

のように記述する。

アンパサンドを使わずに 6 グループ目までカンマを挟んで列挙して、その後スペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者グループだけを記述する。

また、グループ間の順序は Contribution の重要度で決まる。

該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■著者位置における Contribution の代表的な例は、
Author (脚色本などの原作者) / Writer (脚本家) / Executive Producer (映像・舞台作品などの制作総指揮) / Producer (映像・舞台作品などのプロデューサー) / Chief Producer (映像・舞台作品などの複数プロデューサーの中で、特に差別化が必要な場合) / Director (映像・舞台作品などの監督) / Composer (作曲家) / Lyricist (作詞家) / Performer (歌手、演奏者、演技者) / Ed. (編集者) / Vol. Ed. (シリーズ中の1巻のみの編集者) / Series Ed. (シリーズ全体の編集者) / Supervising Ed. (監修者) / Trans. (翻訳者) / Transcriber (写本家) / Annotator (注釈者) / Adaptor (脚色者、編曲者、翻案者) / Speaker (話者、座談会参加者) / Interviewer (インタビュー聞き手) / Interviewee (インタビュー語り手) / Cartographer (地図製作者) / Chair (シンポジウムなどの司会) / Audiotypist (書き起こし者)、など。
Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

10) 著者位置の貢献者 8 以上 (様々な Contribution)

阿井上緒., 垣くけ子., & 伽菊気子. (Supervising Eds.), 差洲せそ., 車史須世素., & 太刀伝手人. (Eds.), & 阿賀沙多菜., 阿笠田奈., 阿伽紗棚., 伊木七荷., 井岸智荷., 宇楠つめ., 宇休須ツヌ. (Researchers). (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版.

Ai, U. M., Kaki, K. S., & Kyakiku, K. V. (Supervising Eds.), Sashisu, S. A., Shashi, S. A., & Tachi, T. T. (Eds.), & Aqa, S. E., Akasa, T. M., Akya, S. P., Igi, S. T., Ikishi, C. S. M., Ukusu, T. E., Ukyusu, T. A. (Researchers). (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M., Kaki, Kukeko S., & Kyakiku, Keko V. (Supervising Eds.), Sashisu, Seso A., Shashi, Suseso A., & Tachi, Tsuteto T. (Eds.), & Aqa, Satana E., Akasa, Tana M., Akya, Satana P., Igi, Shichini T., Ikishi, Chini S. M., Ukusu, Tsunu E., Ukyusu, Tshunu A. (Researchers). (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

貢献者の Contribution が様々にある場合は、貢献者名はただアルファベット順に並べるのではなく、上記のように共通 Contribution ごとにまとめて記述する。同一 Contribution グループ内では、貢献者名は 50 音順 (日本語作品の場合) またはアルファベット順に並べる。

該当者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■著者位置における、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

- ・日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順
- ・それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
- ・2 人列挙の場合では A., & B.
- ・3 人以上の列挙では A., B., ... F., & G.

となる。
アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。
上記のような貢献者の列挙は7人までで、8人以上いる場合は
A., ■B., ■C., ■D., ■E., ■F., ■. ■. ■. ■Z. ■
のように記述する。アンパサンドを使わずに6人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド3つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

■著者位置における、同一 Contribution でまとめた**貢献者グループ**の列挙は、
・2グループ列挙の場合では GroupA., ■&■GroupB. ■
・3グループ以上の列挙では GroupA., ■GroupB., ■... ■GroupF., ■&■GroupG. ■
となる。アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。
上記のような同一 Contribution グループの列挙は7グループまでで、8グループ以上ある場合は
GroupA., ■GroupB., ■GroupC., ■GroupD., ■GroupE., ■GroupF., ■. ■. ■. ■GroupZ.
のように記述する。
アンパサンドを使わずに6グループ目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド3つを置き、最後に、一番最後の**貢献者グループ**だけを記述する。

また、グループ間の順序は Contribution の重要度で決まる。
該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■著者位置における Contribution の代表的な例は、
Author（脚色本などの原作者）／Writer（脚本家）／Executive■Producer（映像・舞台作品などの製作総指揮）／Producer（映像・舞台作品などのプロデューサー）／Chief■Producer（映像・舞台作品などの複数プロデューサーの中で、特に差別化が必要な場合）／Director（映像・舞台作品などの監督）／Composer（作曲家）／Lyricist（作詞家）／Performer（歌手、演奏者、演技者）／Ed.（編集者）／Vol.■Ed.（シリーズ中の1巻のみの編集者）／Series■Ed.（シリーズ全体の編集者）／Supervising■Ed.（監修者）／Trans.（翻訳者）／Transcriber（写本家）／Annotator（注釈者）／Adaptor（脚色者、編曲者、翻案者）／Speaker（話者、座談会参加者）／Interviewer（インタビュー聞き手）／Interviewee（インタビュー語り手）／Cartographer（地図製作者）／Chair（シンポジウムなどの司会）／Audiotypist（書き起こし者）、など。
Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

11) 様々な Contribution／Contribution の兼任

阿井上緒.■(Supervising■Ed.), ■垣くけ子.■&■伽菊気子.■(Supervising■Eds.■&■Annotators). ■差洲せそ. ■車史須世素. ■&■太刀伝手人.■(Eds.). ■&■阿賀沙

多菜., 阿笠田奈., 阿伽紗棚., 伊木七荷., 井岸智荷., 宇楠つぬ., 宇休須ツヌ. (Researchers). (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (Supervising Ed.), Kaki, K. S., & Kyakiku, K. V. (Supervising Eds. & Annotators), Sashisu, S. A., Shashi, S. A., & Tachi, T. T. (Eds.), & Aqa, S. E., Akasa, T. M., Akya, S. P., Igi, S. T., Ikishi, C. S. M., Ukusu, T. E., Ukyusu, T. A. (Researchers). (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (Supervising Ed.), Kaki, Kukeko S., & Kyakiku, Keko V. (Supervising Eds. & Annotators), Sashisu, Seso A., Shashi, Suseso A., & Tachi, Tsuteto T. (Eds.), & Aqa, Satana E., Akasa, Tana M., Akya, Satana P., Igi, Shichini T., Ikishi, Chini S. M., Ukusu, Tsunu E., Ukyusu, Tshunu A. (Researchers). (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

貢献者の Contribution が様々にある場合は、貢献者名はただアルファベット順に並べるのではなく、上記のように共通 Contribution ごとにまとめて記述するが、Contribution が完全に一致していない場合は、一つのグループにまとめることはできない。

上記の例では Supervising Ed. と Supervising Eds. & Annotators は、完全に一致していないため別のグループとしてくくられている。

同一 Contribution グループ内では、貢献者名は 50 音順（日本語作品の場合）またはアルファベット順に並べる。

該当者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■ 著者位置における、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

- ・ 日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順
- ・ それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
- ・ 2 人列挙の場合では A., & B.
- ・ 3 人以上の列挙では A., B., ... F., & G.

となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような貢献者の列挙は 7 人までで、8 人以上いる場合は

A., B., C., D., E., F., Z.

のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

■ 著者位置における、同一 Contribution でまとめた貢献者グループの列挙は、

- ・ 2 グループ列挙の場合では Group A., & Group B.
- ・ 3 グループ以上の列挙では Group A., Group B., ... Group F., & Group G.

となる。アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような同一 Contribution グループの列挙は7グループまでで、8グループ以上ある場合は

GroupA., GroupB., GroupC., GroupD., GroupE., GroupF., . . . GroupZ.

のように記述する。

アンパサンドを使わずに6グループ目までカンマを挟んで列挙して、その後スペースを挟んだピリオド3つを置き、最後に、一番最後の貢献者グループだけを記述する。

また、グループ間の順序は Contribution の重要度で決まる。

該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■著者位置における、Contribution の列挙は

Contribution がいくつか兼任されている場合は、

- ・ 2つの列挙で(ContributionA & ContributionB)、
- ・ 3つ以上だと(ContributionA, ContributionB, ... ContributionY & ContributionZ)

のように、アンパサンド前にカンマを打たずに記述する（ここが貢献者名の列挙と違うので注意）。

Contribution は貢献者名と違って、8以上あっても . . . で省略しない。

該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■著者位置における Contribution の代表的な例は、

Author（脚色本などの原作者）／Writer（脚本家）／Executive Producer（映像・舞台作品などの製作総指揮）／Producer（映像・舞台作品などのプロデューサー）／Chief Producer（映像・舞台作品などの複数プロデューサーの中で、特に差別化が必要な場合）／Director（映像・舞台作品などの監督）／Composer（作曲家）／Lyricist（作詞家）／Performer（歌手、演奏者、演技者）／Ed.（編集者）／Vol. Ed.（シリーズ中の1巻のみの編集者）／Series Ed.（シリーズ全体の編集者）／Supervising Ed.（監修者）／Trans.（翻訳者）／Transcriber（写本家）／Annotator（注釈者）／Adaptor（脚色者、編曲者、翻案者）／Speaker（話者、座談会参加者）／Interviewer（インタビュー聞き手）／Interviewee（インタビュー語り手）／Cartographer（地図製作者）／Chair（シンポジウムなどの司会）／Audiotypist（書き起こし者）、など。

Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

3.2 Publication date（出版年月日）

1) 通常の出版年の記述

阿井上緒.(2003).『ジェンダー研究センター』.東京:CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

通常はただ出版された年の西暦を記述する。

2) 数年にわたって出版されたシリーズの場合

阿井上緒. (2000-2003). 『ジェンダー研究センター』 (Vols. 1-8). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (Ed.). (2000-2003). *Center for gender studies* (Vols. 1-8). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (Ed.). (2000-2003). *Center for gender studies* (Vols. 1-8). Tokyo: CGS Press.

最初の巻の出版が出版された時と、最後の巻（引用した最後の巻、の意味）が出版された年を半角ハイフンでつないで記述する。

3) 出版準備中の場合

阿井上緒. (in press). [ジェンダー研究センター]. Manuscript submitted for publication, Division of Comparative Culture, International Christian University, Tokyo.

Ai, U. M. (in press). [Center for gender studies]. Manuscript submitted for publication, Division of Comparative Culture, International Christian University, Tokyo.

Ai, Ueo M. (in press). [Center for gender studies]. Manuscript submitted for publication, Division of Comparative Culture, International Christian University, Tokyo.

出版予定はあるものの、引用した時点で未出版の場合は、出版予定年ではなく in press と記述する。

但し、出版予定のない未出版の原稿の場合は in press 記述はできず、引用した原稿が完成した年の西暦を記述することになるので、原稿の出版予定に注意すること。

4) 作品に記述はないが、大体の出版年が判明している場合

阿井上緒. [ca. 2003]. 『ジェンダー研究センター』 . 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. [ca. 2003]. *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. [ca. 2003]. *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

正式な出版年月日や作品成立年について、作品自体に記述がなく不明な場合は、「西暦 0000 年ごろ」を意味する ca. 0000 を、半角角括弧に囲って記述する。ca. 0000 も、長期間にわたる場合は、[ca. 0000-ca. 0000]のようにハイフンでつなげて記述できる。

ハイフンでつなげる場合、一方は作品に記述がある場合は[0000-ca. 0000]または[ca. 0000-0000]のように記述する。

5) 作品に記述がなく、推定されている出版年の確実性に疑いがある場合

阿井上緒. [ca. 2003?]. 『ジェンダー研究センター』 . 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. [ca. 2003?]. *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. [ca. 2003?]. *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

一旦[ca. 0000]の半角角括弧内の末尾に半角疑問符を付け加える。ca. 0000?も、長期間にわたる場合は、[ca. 0000?-ca. 0000?]のようにハイフンでつなげて記述できる。一方は確実だという場合はハイフンでつなげる場合、一方は作品に記述がある場合は[0000-ca. 0000?]または[ca. 0000?-0000]のように記述する。一方は作品に記述はないものの大体の出版年が判明しているという場合は[ca. 0000-ca. 0000?]または[ca. 0000?-ca. 0000]のように記述する。

6) 出版年不明の場合

阿井上緒. (n.d.). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版.
Ai, U. M. (n.d.). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.
Ai, Ueo M. (n.d.). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

出版年が完全に不明の場合は、西暦の代わりに no date（日付なし）を意味する n.d. を記述する。括弧は半角角括弧ではなく半角丸括弧。

3.3 Reference work information (引用作品情報)

3.3.1 Reference work title (引用作品タイトル)

※別項にて説明があるが、引用作品に非定期刊行物 1 巻～数巻にわたる収載巻がある場合（＝引用作品が一巻あるいは数巻にわたる非定期刊行物の、個別に巻立てされていない一部である場合）は、特定の位置に収載巻情報を挿入しなくてはならない。

その場合に注意しなくてはならないのは、収載巻情報を記述する場合は、

● **日本語の引用作品タイトルを、二重かぎ括弧から一重かぎ括弧に囲み直さなくてはならない。**

● **日本語以外の引用作品タイトルをイタリサイズから標準に戻さなくてはならない。**

という 2 点である。

1) 通常のタイトル

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版.
Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.
Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

タイトルは、日本語タイトルの場合は二重かぎ括弧に囲って（イタリサイズはしない）、日本語以外のタイトルはイタリサイズして記述する（コーテーションマークなどは記述しない）。

ローマ字語の場合、

- ・ タイトルの一番最初の文字
- ・ 固有名詞の一番最初の文字
- ・ abbreviation の大文字になっている部分（Center for gender studies→CGS）を大文字にする。

作品の記述が、一番最初の文字以外も大文字になっている場合でも、References では大文字にしない。

○ Center for gender studies

× Center for Gender Studies

2) タイトルがない作品の場合

- 阿井上緒. (2003). [ジェンダー研究センターの歴史]. 東京: CGS 出版.
Ai, U. M. (2003). [History of the Center for gender studies]. Tokyo: CGS Press.
Ai, Ueo M. (2003). [History of the Center for gender studies]. Tokyo: CGS Press.

作品にタイトルがない場合、作品の説明を半角角括弧に囲った形で記述する。非日本語タイトルの場合、半角角括弧内はイタリサイズしない。

3) タイトルが確定していない作品の場合

- 阿井上緒. (in press). [ジェンダー研究センター]. Manuscript submitted for publication, Division of Comparative Culture, International Christian University, Tokyo.
Ai, U. M. (in press). [Center for gender studies]. Manuscript submitted for publication, Division of Comparative Culture, International Christian University, Tokyo.
Ai, Ueo M. (in press). [Center for gender studies]. Manuscript submitted for publication, Division of Comparative Culture, International Christian University, Tokyo.

出版前の原稿などで作品タイトルが確定していない場合、引用した時点で決まっている仮タイトルを半角角括弧に囲った形で記述する。非日本語タイトルの場合、イタリサイズしない。

※上記の例は全て、出版元情報がなく、代わりに出版待ちの原稿であることを示す記述となっている。そのため出版年も in press となっている。

4) タイトルが2つのパートで成り立っている場合

- 阿井上緒. (Ed.). (2003). 『ICUの研究所:ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版.
Ai, U. M. (Ed.). (2003). Research institutes of ICU: Center for gender studies. Tokyo: CGS Press.
Ai, Ueo M. (Ed.). (2003). Research institutes of ICU: Center for gender studies. Tokyo: CGS Press.

記述は以下のようになる。

日本語…『引用作品タイトル:サブタイトル』.

英語……Reference work title: Sub title.

タイトルとサブタイトルは「:」でつなぐ。

英語の場合、APA 論文作成マニュアルでは、タイトルの先頭に来た文字のみ大文字にするという決まりがあるが、固有名詞やサブタイトルの先頭も大文字にする。

5) タイトルが3つのパートで成り立っている場合

阿井上緒.(Ed.).(2003).『ICUの研究所:人文・社会科学系:ジェンダー研究センター』.東京:CGS出版.

Ai,U.M.(Ed.).(2003).Research institutes of ICU: Humanities and social sciences: Center for gender studies. Tokyo: CGS Press.

Ai,Ueo M.(Ed.).(2003).Research institutes of ICU: Humanities and social sciences: Center for gender studies. Tokyo: CGS Press.

この例では、

日本語…『引用作品タイトル:サブタイトル:サブサブタイトル』.

英語……Reference work title: Sub title: Sub sub title.

と、結果的に3部に分かれたタイトル記述となっている。

6) 引用作品が英語・日本語以外の言語によって制作された原語版の場合

Guo,Jiji.[国际基].(2003).社会性别研究中心[ジェンダー研究センター]. Tokyo:CGS Press.

Kuk,Cheki.[국제기].(2003).젠더연구센터[ジェンダー研究センター]. Tokyo:CGS Press.

Guo,Jiji.[国际基].(2003).社会性别研究中心[ICU center for gender studies]. Tokyo:CGS Press.

Kuk,Cheki.[국제기].(2003).젠더연구센터[ICU center for gender studies]. Tokyo:CGS Press.

日本語・英語に翻訳されていないものの場合、原語の如何にかかわらずタイトルは原語で記述し、直後に半角角括弧に囲った形でタイトルの訳を記述する。

※可能な場合は

[原語タイトルのローマ字音転写,原語タイトルの翻訳]

という形でタイトルのローマ字音転写を記述してもかまわないが、これは必須ではない。

原語タイトルの翻訳は、日本語で論文を執筆している場合は日本語訳か英語訳を、英語で論文を執筆している場合は英語訳を記述する。**半角角括弧までがひと固まりでタイトルとなるので、半角スペース以外の他の要素（引用作品補足情報など）を間に挿入してはならない。**

※上2つが日本語論文における記述法（原語タイトルの日本語訳が付記されている）、下2つが英語・日本語論文における記述法（原語タイトルの英語訳が付記されている。日本語論文でも使用可能な記述）。

著者位置の貢献者名に関しては、日本語・英語に翻訳されていないものの場合、原語の如何にかかわらず貢献者名はローマ字転写（姓→名の順）で記述し、その後半角角括弧に囲った形で貢献者名の原語表記を記す。原語による貢献者名の記述の際、姓名の順は原語の慣例に習う。

半角角括弧の直後にもピリオドを打つ。

3.3.2 Reference work additional information（引用作品補足情報）の記述（あれば）

引用作品に補足的な情報がある場合は、引用作品情報の一部として、引用タイトルの後に半角丸括弧に囲った状態で、以下のように記述する。

3.3.2.1 引用作品補足貢献者（あれば）

重要度などから判断して著者位置で記述しなかった貢献者を、タイトル直後から始まる引用作品補足情報の半角丸括弧内に記述できる。

引用作品補足情報がある場合は、タイトルの直後にピリオドを打ってはならない。タイトル直後に半角スペースを挟んだだけですぐ、半角丸括弧で囲って引用作品補足情報を記述する。

3.3.2.1.1 引用作品補足貢献者: 著者位置位置以外における人名: Templates

■ 著者位置以外の場所での貢献者名（人名）の構成

・ Given names を（Middle name(s)がある場合はそれらも全て）イニシャルで

・ Surname

・ Suffix（Jr.やIIIなどがある場合のみ）

の3部によって、この順で構成される。

著者位置以外の場所においては、貢献者名は名→姓の順で記述する（日本語人名・日本語に転写された人名を除く）。

※当紀要への投稿論文では、必ずしも Given name をイニシャルに省略する必要はないが（日本語人名や日本語に転写された人名では、そもそもイニシャルにできない）、論文を通して省略するかしないかについて統一されている必要がある。また、Given name をイニシャル化しない場合でも、Middle names は必ずイニシャル化すること（e.g., S. ■ E. ■ Aga と Satana ■ E. ■ Aga）

○これら人名の各構成要素はピリオド等で終止せず、またそれぞれの要素間は、著者位置と違い、カンマを打たずにただ半角スペースで区切る（日本語人名除く）。

Given name・Middle name(s)のイニシャルや Jr の直後のピリオドは、一見これら要素の終了のようにも見えるが、実際はそれらが省略形であることを意味するだけのものである（ピリオドを打つのは Suffix では Jr だけで III 以降はピリオドなし）。

著者位置とは違って、各貢献者名一人一人（一団体一団体）の末尾には、貢献者名の終止を意味するピリオドを打たない。Given name・Middle name(s)のイニシャルや Jr が省略形であることを意味するピリオドが、一見貢献者名の終止ピリオドのようにも見えるが、実際はそれらが省略形であることを意味するだけのものである（ピリオドを打つのは Suffix では Jr だけで III 以降はピリオドなし）。

■ 著者位置以外の場所での、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

・ 日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順

・ それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順

・ 2 人列挙の場合では A, ■ & ■ B, ■

・ 3 人以上の列挙では A, ■ B, ■ ... ■ F, ■ & ■ G, ■

となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。
上記のような貢献者の列挙は7人までで、8人以上いる場合は
A, B, C, D, E, F, . . . Z,
のように記述する。アンパサンドを使わずに6人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド3つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

■ 著者位置以外の場所での、同一 Contribution でまとめた貢献者グループの列挙

・ 2グループ列挙の場合では GroupA, & GroupB
・ 3グループ以上の列挙では GroupA, GroupB, . . . GroupF, & GroupG
となる。アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。
上記のような同一 Contribution グループの列挙は7グループまでで、8グループ以上ある場合は
GroupA, GroupB, GroupC, GroupD, GroupE, GroupF, . . . GroupZ,
のように記述する。アンパサンドを使わずに6グループ目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド3つを置き、最後に、一番最後の貢献者グループだけを記述する。
また、グループ間の順序は Contribution の重要度で決まる。
該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■ 著者位置以外の場所での Contribution の列挙は

Contribution がいくつか兼任されている場合は、
・ Contribution を半角角括弧で囲う場合は
・ 2つの列挙で (ContributionA & ContributionB)、
・ 3つ以上だと (ContributionA, ContributionB, . . . ContributionY & ContributionZ)
・ Contribution を半角角括弧で囲わない場合は、
・ 2つの列挙で ContributionA & ContributionB、
・ ContributionA, ContributionB, . . . ContributionY & ContributionZ
のように、いずれもアンパサンド前にカンマを打たずに記述する（ここが貢献者名の列挙と違うので注意）。
Contribution は貢献者名と違って、8以上あっても . . . で省略しない。
該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■ 著者位置以外の場所での人名のバリエーション

1) 著者位置以外の場所における貢献者が通常の人名の場合

阿賀沙多菜
S. E. Aga
Satana E. Aga

2) 著者位置以外の場所における貢献者名の Surname に接頭辞 (O や Mc) がつく場合

M. A. MacNeil
Maria A. MacNeil

M. ■ A. ■ McArthur
Maria ■ A. ■ McArthur
M. ■ A. ■ O'Connell
Maria ■ A. ■ O'Connell

接頭辞の記述は、引用した作品の記述に倣うこと。

3) 著者位置以外の場所における貢献者名の Surname に前置詞 (de や van) がつく場合

R. ■ H. ■ van ■ Rijn
Rembrandt ■ H. ■ van ■ Rijn
P. ■ de ■ Champaigne
Philippe ■ de ■ Champaigne
M. ■ Q. ■ de ■ La ■ Tour
Maurice ■ Q. ■ de ■ La ■ Tour
F. ■ von ■ Stuck
Franz ■ von ■ Stuck

接続詞なども、省略せずに記述する。

4) 著者位置以外の場所における貢献者名の Surname が複数の語に分かれている場合

H. ■ Rodham ■ Clinton
Hillary ■ Rodham ■ Clinton

Surname が複数の語によって成り立っている場合は、それをそのまま記述する。

5) 著者位置以外の場所における貢献者名の Surname が複数の語に分かれてハイフンでつながれている場合

A. ■ Labille-Guiard
Adelaide ■ Labille-Guiard

貢献者名の Surname が複数の語に分かれてハイフンでつながれている場合でも、それをそのまま記述する。

6) 著者位置以外の場所における貢献者名の Surname に Suffix (Jr. や III) がつく場合

S. ■ E. ■ Aga ■ III
Satana ■ E. ■ Aga ■ Jr.

Jr の末尾ピリオドは、Jr が省略形であることを示す末尾ピリオドである。

7) 著者位置以外の場所における貢献者名の Given name や Middle name(s) が複数の語に分かれてハイフンでつながれている場合

J.-B. ■ Lamour
Jean-Baptiste ■ Lamour

イニシャル化をする場合は、ハイフンの前後両方共をイニシャル化する。

8) 著者位置以外の場所における貢献者名が Surname ・ Given name ・

Middle names という構成要素で成り立っていない人名の場合

Samirah■bint■Ibrahim■bin■Hamad■Al-Ibrahim

著者位置以外の場所では、原語での記述順に、要素ごとに半角スペースで区切って記述する。

ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s)をイニシャル化しなくて良い

9) 著者位置以外の場所における貢献者名が日本語転写された貢献者名の場合（翻訳作品を除く）

(1) 著者位置以外の場所における貢献者名がカタカナ転写の場合

サタナ・E・アガ

サタナ・エリザベス・アガ

サタナ・E＝アガ

サタナ・エリザベス＝アガ

姓名の順は作品に記述されている通りのまま、各要素間にはスペースを挟まず、代わりに中黒を打って記述する。＝記号が使用されている場合は、それもそのまま記述。**カタカナ転写の場合は、中黒は必須。**

(2) 著者位置以外の場所における貢献者名が日本式漢字への転写の場合
魯迅。

司馬遷。

姓名の順は作品に記述されている通りのまま、日本語人名と同じく**中黒は打たない。**

(3) 著者位置以外の場所における貢献者名がカタカナ転写・日本式漢字転写・ローマ字表記などが混交した転写の場合

エリザベス阿賀沙多菜

エリザベス・阿賀・沙多菜

Elisabeth 阿賀沙多菜

姓名の順は作品に記述されている通りのまま、中黒に関しても作品の記述に倣う。**作品の記述に中黒がない場合は打たなくて良い。**

10) 著者位置以外の場所における貢献者名が、Given name・Middle name(s)をイニシャル化した結果、同姓異名の著者の区別がつかなくなってしまった場合

S.■E.■Aga■[Satana■Elisabeth]

S.■E.■Aga■[Satana■Elyse]

または、

Satana■E.■Aga■[Elisabeth]

Satana■E.■Aga■[Elyse]

区別がつかない貢献者たちだけ、貢献者名直後に半角角括弧で囲った形で、イニシャル化しない Given name と Middle name(s)を記述する。

11) 著者位置以外の場所における貢献者名：引用作品が日本語以外の言語から日本語に翻訳されたものの場合

Jiaoda■Du■[**督教大**,**督教大**]

Kyotae■Tok■[**독교대**,**トク・キョデ**]

- ・ 貢献者名のローマ字記述（原語がローマ字語でない場合、ローマ字転写の Given name や Middle name(s)は、イニシャル化してはならない／ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s)をイニシャル化しなくて良い）
- ・ 原語がローマ字語でない場合、直後に半角角括弧で囲って、[原語による貢献者名, 貢献者名の日本語転写]の2つを記述する。原語による貢献者名の記述の際、姓名の順は原語の慣例に習う。貢献者名の日本語転写は 9)を参照のこと。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

12) 著者位置以外の場所における貢献者名: 引用作品が英語以外の言語から英語に翻訳されたものの場合

Jiaoda ■ Du ■ [基督教大]

Kyotae ■ Tok ■ [독교대]

- ・ 貢献者名のローマ字記述（原語がローマ字語でない場合、ローマ字転写の Given name や Middle name(s)は、イニシャル化してはならない／ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s)をイニシャル化しなくて良い）
- ・ 原語がローマ字語でない場合、直後に半角角括弧で囲って、[原語による貢献者名]を記述する。姓名の順は原語の慣例に習う。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

13) 著者位置以外の場所における貢献者名: 引用作品が英語・日本語以外の言語によって制作された原語版の場合

Jiaoda ■ Du ■ [基督教大]

Kyotae ■ Tok ■ [독교대]

- ・ 貢献者名のローマ字記述（原語がローマ字語でない場合、ローマ字転写の Given name や Middle name(s)は、イニシャル化してはならない／ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s)をイニシャル化しなくて良い）
- ・ 原語がローマ字語でない場合、直後に半角角括弧で囲って、[原語による貢献者名]を記述する。姓名の順は原語の慣例に習う。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

14) 著者位置以外の場所における貢献者名: 作品自体に記述がない貢献者名の場合

(1) 著者位置以外の場所における貢献者名: 確実視されている貢献者があるが、作品に記述がない場合

[阿賀沙多菜]

[S. ■ E. ■ Aga]

[Satana ■ E. ■ Aga]

[S. ■ E. ■ Aga ■ [Satana ■ Elisabeth]] ■ & ■ [S. ■ E. ■ Aga ■ [Satana ■ Elyse]]

[Satana ■ E. ■ Aga ■ [Elisabeth]] ■ & ■ [Satana ■ E. ■ Aga ■ [Elyse]]

[Jiaoda ■ Du ■ [基督教大, 基督教大]]

[Kyotae ■ Tok ■ [독교대, トク・キョデ]]

[Jiaoda ■ Du ■ [基督教大]]

[Kyotae ■ Tok ■ [독교대]]

貢献者名を一人一人半角角括弧に囲って記述する。半角角括弧の直後に

もピリオドを打たない。

(2) 著者位置以外の場所における貢献者名: 推定貢献者名がいるが、作品に記述がなく、疑問も多いという場合

[阿賀沙多菜?]

[S.■E.■Aga?]

[Satana■E.■Aga?]

[S.■E.■Aga■[Satana■Elisabeth]?]&■[S.■E.■Aga■[Satana■Elyse]?]

[Satana■E.■Aga■[Elisabeth]]&■[Satana■E.■Aga■[Elyse]]

[Jiaoda■Du■[■基督教大, ■基督教大]?]

[Kyotae■Tok■[■독교대, ■トク・キョデ]?]

[Jiaoda■Du■[■基督教大]?]

[Kyotae■Tok■[■독교대]]

貢献者名を一人一人半角角括弧に囲った上で、半角角括弧内の末尾に半角疑問符を記述する。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

(3) 著者位置以外の場所における貢献者名: 確実視されているものの作品自体に記述のない貢献者が複数人いる場合

[阿賀沙多菜], [阿笠田奈], [阿伽紗棚], [伊木七荷], [井岸智荷], [宇楠つぬ]&■[宇休須ツヌ]

[S.■E.■Aga], [T.■M.■Akasa], [S.■P.■Aky], [S.■T.■Igi], [C.■S.■M.■Ikishi], [T.■E.■Ukusu]&■[T.■A.■Ukyusu]

[Satana■E.■Aga?], [Tana■M.■Akasa?], [Satana■P.■Aky?], [Shichini■T.■Igi?], [Chini■S.■M.■Ikishi?], [Tsunu■E.■Ukusu?]&■[Tsunu■A.■Ukyusu?]

一括して半角角括弧に囲うのではなく、貢献者名を一人一人半角角括弧に囲って記述する。

(4) 著者位置以外の場所における貢献者名: 作品に記述がなく疑問も多い推定貢献者名が複数いる場合

[阿賀沙多菜?], [阿笠田奈?], [阿伽紗棚?], [伊木七荷?], [井岸智荷?], [宇楠つぬ?]&■[宇休須ツヌ?]

S.■E.■Aga?, [T.■M.■Akasa?], [S.■P.■Aky?], [S.■T.■Igi?], [C.■S.■M.■Ikishi?], [T.■E.■Ukusu?]&■[T.■A.■Ukyusu?]

[Satana■E.■Aga], [Tana■M.■Akasa], [Satana■P.■Aky], [Shichini■T.■Igi], [Chini■S.■M.■Ikishi], [Tsunu■E.■Ukusu]&■[Tsunu■A.■Ukyusu]

一括して半角角括弧に囲うのではなく、貢献者名を一人一人半角角括弧に囲った上で、半角角括弧内の末尾に半角疑問符を記述する。

■著者位置以外の場所の Contribution

各貢献者名には、それぞれ contribution を記述できる。

・著者位置以外の場所においては、

(1) 貢献者全体がすでに半角角括弧に囲われている場合は、その中の Contribution は半角角括弧に囲わずに記述する。

(2) 貢献者全体が半角角括弧に囲われていない場合は、その中の Contribution は半角角括弧に囲って記述する。

・著者位置以外では、各貢献者名はピリオドで終止しないので、当然各 Contribution もピリオドで終止しない。

1) Contribution の兼任

貢献者の中には複数の Contribution を兼任しているものも多い。その場合は、

(1) G. M. Surname (Executive Producer), G. M. Surname (Producer & Director), & G. M. Surname (Writer, Director & Performer)

(2) G. M. Surname, Executive Producer, G. M. Surname, Producer & Director, & G. M. Surname, Writer, Director & Performer

のように記述する。貢献者が複数いる場合は、Contribution も複数形になる点に注意。Ed.は Eds.になるが、Translator の省略形 Trans.は単複同形なので、該当貢献者が複数いても形が変わらない。

2) 複数貢献者による同一 Contribution の共有

複数の貢献者が同一の Contribution を共有している場合もあるが、その場合は同じ Contribution を各々に何度も記述するのではなく、

(1) G. M. Surname, & G. M. Surname (Supervising Eds.), & G. M. Surname, G. M. Surname, & G. M. Surname (Annotators, Eds. & Trans.)

(2) G. M. Surname, & G. M. Surname, Supervising Eds., & G. M. Surname, G. M. Surname, & G. M. Surname, Annotators, Eds. & Trans.

のように、一括して記述する。貢献者が複数いる場合は、Contribution も複数形になる点に注意。Ed.は Eds.になるが、Translator の省略形 Trans.は単複同形なので、該当貢献者が複数いても形が変わらない。

3) 複数貢献者による同一 Contribution の部分的共有

必然的に、完全に同じ Contribution を共有していない場合は上記のようにまとめた記述はできず、

(1) G. M. Surname, & G. M. Surname (Supervising Eds.), G. M. Surname, & G. M. Surname (Annotators, Eds. & Trans.), & G. M. Surname, & G. M. Surname (Annotators & Trans.)

(2) G. M. Surname, & G. M. Surname, Supervising Eds., G. M. Surname, & G. M. Surname, Annotators, Eds. & Trans., & G. M. Surname, & G. M. Surname, Annotators & Trans.

このように、それぞれ別グループとしてまとめる必要がある。

貢献者が複数いる場合は、Contribution も複数形になる点に注意。Ed.は Eds.になるが、Translator の省略形 Trans.は単複同形なので、該当貢献者が複数いても形が変わらない。

※Contribution は、基本的に作品に貢献した人物団体を列挙する場合に、それぞれを差別化するために必要になってくるものである。

そのため、原作者しか貢献者がいない作品の場合には、(Author)という contribution は記述する必要がない（特に断りのない場合は原作者に決まっているから）。

■引用作品補足貢献者の Contribution の代表例

Author (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に原作者がいる場合) /
Writer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に脚本家がいる場合) /
Executive Producer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に製作総指揮がいる場合) /
Producer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別にプロデューサーがいる場合) /
Chief Producer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別にチーフプロデューサーがいる場合) /
Director (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に監督がいる場合) /
Composer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に作曲家がいる場合) /
Lyricist (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に作詞家がいる場合) /
Performer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に歌唱・演奏・演技者がいる場合) /
Ed. (引用作品に著者位置の貢献者とは別に編集者がいる場合) /
Vol. Ed. (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ中の一巻のみの編集者がいる場合) /
Series Ed. (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ全体の編集者がいる場合) /
Supervising Ed. (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に監修者がいる場合) /
Trans. (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に翻訳者がいる場合) /
Transcriber (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に手書き写本家がいる場合) /
Annotator (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に注釈者がいる場合) /
Adaptor (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に脚色者や編曲者がいる場合) /
Speaker (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に話者、座談会参加者がいる場合) /
Interviewer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー聞き手がいる場合) /
Interviewee (引用作品に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー語り手がいる場合) /
Cartographer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に地図製作者がいる場合) /
Chair (引用作品に、著者位置の貢献者とは別にシンポジウムなどの司会がいる場合) /
Audiotypist (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に書き起こし者がいる場合)、などである。

Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

3.3.2.1.2 引用作品補足貢献者全体の記述

1) 引用作品補足貢献者の貢献者名 1 (Contribution あり)

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Annotator). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, Annotator). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Annotator). Tokyo: CGS Press.

○引用作品補足情報全体が半角丸括弧に囲われているため、ここでは括弧の多階層化を避けるため各 contribution は半角丸括弧で囲わない。

2) 引用作品補足貢献者の貢献者名 2~7 (Contribution あり)

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, 阿笠田奈, 阿伽紗棚, 伊木七荷, 井岸智荷, 宇楠つめ, & 宇休須ツヌ, Eds.). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, T. M. Akasa, S. P. Akya, S. T. Igi, C. S. M. Ikishi, T. E. Ukusu, & T. A. Ukyusu, Eds.). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Tana M. Akasa, Satana P. Akya, Shichini T. Igi, Chini S. M. Ikishi, Tsunu E. Ukusu, & Tsunu A. Ukyusu, Eds.). Tokyo: CGS Press.

※Eds.の末尾ピリオドは、Eds が Editors の省略形だということを示すためのもので、APA の記述構造とは無関係。

○引用作品補足情報全体が半角丸括弧に囲われているため、ここでは括弧の多階層化を避けるため各 contribution は半角丸括弧で囲わない。

■著者位置以外の場所での、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

- ・日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順
- ・それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
- ・2 人列挙の場合では A, & B,
- ・3 人以上の列挙では A, B, ... F, & G,

となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような貢献者の列挙は 7 人までで、8 人以上いる場合は

A, B, C, D, E, F, . . . Z,

のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

■引用作品補足貢献者の Contribution の代表例

Author (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に原作者がいる場合) /
Writer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に脚本家がいる場合) /
Executive Producer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に製作総指揮がいる場合) / Producer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別にプロデューサーがいる場合) / Chief Producer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別にチーフプロデューサーがいる場合) / Director (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に監督がいる場合) / Composer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に作曲家がいる場合) / Lyricist (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に作詞家がいる場合) / Performer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に歌唱・演奏・演技者がいる場合) /
Ed. (引用作品に著者位置の貢献者とは別に編集者がいる場合) / Vol. Ed. (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ中の一巻のみの編集者がいる場合) / Series Ed. (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ全体の編集者がいる場合) / Supervising Ed. (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に監修者がいる場合) / Trans. (引用作

品に、著者位置の貢献者とは別に翻訳者がいる場合) / Transcriber (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に手書き写本家がいる場合) / Annotator (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に注釈者がいる場合) / Adaptor (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に脚色者や編曲者がいる場合) / Speaker (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に話者、座談会参加者がいる場合) / Interviewer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー聞き手がいる場合) / Interviewee (引用作品に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー語り手がいる場合) / Cartographer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に地図製作者がいる場合) / Chair (引用作品に、著者位置の貢献者とは別にシンポジウムなどの司会がいる場合) / Audiotypist (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に書き起こし者がいる場合)、などである。
Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

著者位置以外の場所における貢献者名 2~6 の場合は、上記の例から人数に合わせて前の方から貢献者名を削って行く。2 人の場合だと以下ようになる。

阿井上緒, ■(2003). ■『ジェンダー研究センター』 ■(阿賀沙多菜, ■阿笠田奈, ■阿伽紗棚, ■伊木七荷, ■井岸智荷, ■宇楠つぬ, ■& ■宇休須ツヌ, ■Eds.). ■東京: ■CGS 出版.

Ai, ■U. ■M. ■(2003). ■*Center for gender studies* ■(S. ■E. ■Aga, ■T. ■M. ■Akasa, ■S. ■P. ■Akya, ■S. ■T. ■Igi, ■C. ■S. ■M. ■Ikishi, ■T. ■E. ■Ukusu, ■& ■T. ■A. ■Ukyusu, ■Eds.). ■Tokyo: ■CGS ■Press.

Ai, ■Ueo ■M. ■(2003). ■*Center for gender studies* ■(Satana ■E. ■Aga, ■Tana ■M. ■Akasa, ■Satana ■P. ■Akya, ■Shichini ■T. ■Igi, ■Chini ■S. ■M. ■Ikishi, ■Tsunu ■E. ■Ukusu, ■& ■Tsunu ■A. ■Ukyusu, ■Eds.). ■Tokyo: ■CGS ■Press.

3 人の場合だと以下ようになる。

阿井上緒, ■(2003). ■『ジェンダー研究センター』 ■(阿賀沙多菜, ■阿笠田奈, ■阿伽紗棚, ■伊木七荷, ■井岸智荷, ■宇楠つぬ, ■& ■宇休須ツヌ, ■Eds.). ■東京: ■CGS 出版.

Ai, ■U. ■M. ■(2003). ■*Center for gender studies* ■(S. ■E. ■Aga, ■T. ■M. ■Akasa, ■S. ■P. ■Akya, ■S. ■T. ■Igi, ■C. ■S. ■M. ■Ikishi, ■T. ■E. ■Ukusu, ■& ■T. ■A. ■Ukyusu, ■Eds.). ■Tokyo: ■CGS ■Press.

Ai, ■Ueo ■M. ■(2003). ■*Center for gender studies* ■(Satana ■E. ■Aga, ■Tana ■M. ■Akasa, ■Satana ■P. ■Akya, ■Shichini ■T. ■Igi, ■Chini ■S. ■M. ■Ikishi, ■Tsunu ■E. ■Ukusu, ■& ■Tsunu ■A. ■Ukyusu, ■Eds.). ■Tokyo: ■CGS ■Press.

※Eds.の末尾ピリオドは、Eds が Editors の省略形だということを示すためのもので、APA の記述構造とは無関係。

3) 引用作品補足貢献者の貢献者名 8 以上 (Contribution あり)

阿井上緒, ■(2003). ■『ジェンダー研究センター』 ■(阿賀沙多菜, ■阿笠田奈, ■阿伽紗棚, ■伊木七荷, ■井岸智荷, ■宇楠つぬ, ■. ■. ■. ■宇休須ツヌ, ■Eds.). ■東京: ■CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, T. M. Akasa, S. P. Akya, S. T. Igi, C. S. M. Ikishi, T. E. Ukusu, . . . T. A. Ukyusu, Eds.). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Tana M. Akasa, Satana P. Akya, Shichini T. Igi, Chini S. M. Ikishi, Tsunu E. Ukusu, . . . Tsunu A. Ukyusu, Eds.). Tokyo: CGS Press.

※Eds.の末尾ピリオドは、EdsがEditorsの省略形だということを示すためのもので、APAの記述構造とは無関係。

○引用作品補足情報全体が半角丸括弧に囲われているため、ここでは括弧の多階層化を避けるため各 contribution は半角丸括弧で囲わない。

■著者位置以外の場所での、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

- ・日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順
- ・それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
- ・2人列挙の場合では A, & B,
- ・3人以上の列挙では A, B, ... F, & G,

となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような貢献者の列挙は7人までで、8人以上いる場合は

A, B, C, D, E, F, . . . Z,

のように記述する。アンパサンドを使わずに6人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド3つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

■引用作品補足貢献者の Contribution の代表例

Author（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に原作者がいる場合）／
Writer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に脚本家がいる場合）／
Executive Producer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に製作総指揮がいる場合）／
Producer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別にプロデューサーがいる場合）／
Chief Producer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別にチーフプロデューサーがいる場合）／
Director（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に監督がいる場合）／
Composer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に作曲家がいる場合）／
Lyricist（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に作詞家がいる場合）／
Performer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に歌唱・演奏・演技者がいる場合）／
Ed.（引用作品に著者位置の貢献者とは別に編集者がいる場合）／
Vol. Ed.（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ中の一巻のみの編集者がいる場合）／
Series Ed.（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ全体の編集者がいる場合）／
Supervising Ed.（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に監修者がいる場合）／
Trans.（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に翻訳者がいる場合）／
Transcriber（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に手書き写本家がいる場合）／
Annotator（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に注釈者がいる場合）

／Adaptor（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に脚色者や編曲者がいる場合）／Speaker（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に話者、座談会参加者がいる場合）／Interviewer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー聞き手がいる場合）／Interviewee（引用作品に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー語り手がいる場合）／Cartographer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に地図製作者がいる場合）／Chair（引用作品に、著者位置の貢献者とは別にシンポジウムなどの司会がいる場合）／Audiotypist（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に書き起こし者がいる場合）、などである。

Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

4) 引用作品補足貢献者の貢献者名 2～7（様々な Contribution）

阿井上緒, (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Ed., 阿笠田奈, & 阿伽紗棚, Interviewers, & 伊木七荷, 井岸智荷, 宇楠つぬ, & 宇休須ツ又, Annotators). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, Ed., T. M. Akasa, & S. P. Akya, Interviewers, & S. T. Igi, C. S. M. Ikishi, T. E. Ukusu, & T. A. Ukyusu, Annotators). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Ed., Tana M. Akasa, & Satana P. Akya, Interviewers, & Shichini T. Igi, Chini S. M. Ikishi, Tsunu E. Ukusu, & Tsunu A. Ukyusu, Eds.). Tokyo: CGS Press.

※Eds.の末尾ピリオドは、Eds が Editors の省略形だということを示すためのもので、APA の記述構造とは無関係。

著者位置以外の場所の貢献者の Contribution が様々にある場合は、貢献者名はただアルファベット順に並べるのではなく、上記のように共通 Contribution ごとにまとめて記述する。

同一 Contribution グループ内では、貢献者名は 50 音順（日本語作品の場合）またはアルファベット順に並べる。

■ 著者位置以外の場所での、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

- ・ 日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順
- ・ それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
- ・ 2 人列挙の場合では A, & B,
- ・ 3 人以上の列挙では A, B, ... F, & G,

となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような貢献者の列挙は 7 人までで、8 人以上いる場合は

A, B, C, D, E, F, . . . Z,

のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

■著者位置以外の場所での、同一 Contribution でまとめた貢献者グループの列挙

・2グループ列挙の場合では GroupA, ■&■GroupB■
・3グループ以上の列挙では GroupA, ■GroupB, ■...■GroupF, ■&■GroupG■
となる。アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような同一 Contribution グループの列挙は7グループまでで、8グループ以上ある場合は

GroupA, ■GroupB, ■GroupC, ■GroupD, ■GroupE, ■GroupF, ■. . . ■GroupZ, ■
のように記述する。アンパサンドを使わずに6グループ目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド3つを置き、最後に、一番最後の貢献者グループだけを記述する。

また、グループ間の順序は Contribution の重要度で決まる。

該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■引用作品補足貢献者の Contribution の代表例

Author（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に原作者がいる場合）／
Writer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に脚本家がいる場合）／
Executive■Producer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に製作総指揮がいる場合）／
Producer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別にプロデューサーがいる場合）／
Chief■Producer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別にチーフプロデューサーがいる場合）／
Director（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に監督がいる場合）／
Composer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に作曲家がいる場合）／
Lyricist（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に作詞家がいる場合）／
Performer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に歌唱・演奏・演技者がいる場合）
／
Ed.（引用作品に著者位置の貢献者とは別に編集者がいる場合）／
Vol. ■Ed.（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ中の一巻のみの編集者がいる場合）
／
Series■Ed.（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ全体の編集者がいる場合）
／
Supervising■Ed.（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に監修者がいる場合）
／
Trans.（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に翻訳者がいる場合）
／
Transcriber（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に手書き写本家がいる場合）
／
Annotator（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に注釈者がいる場合）
／
Adaptor（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に脚色者や編曲者がいる場合）
／
Speaker（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に話者、座談会参加者がいる場合）
／
Interviewer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー聞き手がいる場合）
／
Interviewee（引用作品に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー語り手がいる場合）
／
Cartographer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に地図製作者がいる場合）
／
Chair（引用作品に、著者位置の貢献者とは別にシンポジウムなどの司会がいる場合）
／
Audiotypist（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に書き起こし者がいる場合）、
などである。

Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

○引用作品補足情報全体が半角丸括弧に囲われているため、ここでは括弧の多階層化を避けるため各 contribution は半角丸括弧で囲わない。

5) 引用作品補足貢献者の貢献者名 8 以上 (様々な Contribution)

阿井上緒, (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, 阿笠田奈, & 阿伽紗棚, Interviewers, & 色葉にほへ, 色輪ニホへ, 土時リヌル, 柝里ぬる, 和雅ヨタレ, 若代誰素, 若依田れそ, Annotators). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aqa, T. M. Akasa, & S. P. Akya, Interviewers, & N. C. Iroha, N. E. Irowa, R. M. Doji, N. T. Tochiri, Y. P. Waga, T. C. Wakayo, R. A. Wakayoda, Annotators). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aqa, Tana M. Akasa, & Satana P. Akya, Interviewers, & Nihoho C. Iroha, Nihoho E. Irowa, Rinuru M. Doji, Nuruwo T. Tochiri, Yotare P. Waga, Tareso C. Wakayo, Reso A. Wakayoda, Annotators). Tokyo: CGS Press.

貢献者の Contribution が様々なある場合は、貢献者名はただアルファベット順に並べるのではなく、上記のように共通 Contribution ごとにまとめて記述する。同一 Contribution グループ内では、貢献者名は 50 音順 (日本語作品の場合) またはアルファベット順に並べる。

■著者位置以外の場所での、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

- ・日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順
- ・それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
- ・2 人列挙の場合では A, & B,
- ・3 人以上の列挙では A, B, . . . F, & G,

となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である (通常はアンパサンド前にはカンマを打たない)。

上記のような貢献者の列挙は 7 人までで、8 人以上いる場合は

A, B, C, D, E, F, . . . Z,

のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

■著者位置以外の場所での、同一 Contribution でまとめた貢献者グループの列挙

- ・2 グループ列挙の場合では GroupA, & GroupB
 - ・3 グループ以上の列挙では GroupA, GroupB, . . . GroupF, & GroupG
- となる。アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である (通常はアンパサンド前にはカンマを打たない)。
- 上記のような同一 Contribution グループの列挙は 7 グループまでで、8 グループ以上ある場合は

GroupA, GroupB, GroupC, GroupD, GroupE, GroupF, . . . GroupZ, のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 グループ目までカンマを

挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド3つを置き、最後に、一番最後の貢献者グループだけを記述する。
また、グループ間の順序は Contribution の重要度で決まる。
該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■引用作品補足貢献者の Contribution の代表例

Author (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に原作者がいる場合) /
Writer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に脚本家がいる場合) /
Executive Producer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に製作総指揮がいる場合) /
Producer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別にプロデューサーがいる場合) /
Chief Producer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別にチーフプロデューサーがいる場合) /
Director (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に監督がいる場合) /
Composer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に作曲家がいる場合) /
Lyricist (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に作詞家がいる場合) /
Performer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に歌唱・演奏・演技者がいる場合) /
Ed. (引用作品に著者位置の貢献者とは別に編集者がいる場合) /
Vol. Ed. (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ中の一巻のみの編集者がいる場合) /
Series Ed. (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ全体の編集者がいる場合) /
Supervising Ed. (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に監修者がいる場合) /
Trans. (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に翻訳者がいる場合) /
Transcriber (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に手書き写本家がいる場合) /
Annotator (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に注釈者がいる場合) /
Adaptor (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に脚色者や編曲者がいる場合) /
Speaker (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に話者、座談会参加者がいる場合) /
Interviewer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー聞き手がいる場合) /
Interviewee (引用作品に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー語り手がいる場合) /
Cartographer (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に地図製作者がいる場合) /
Chair (引用作品に、著者位置の貢献者とは別にシンポジウムなどの司会がいる場合) /
Audiotypist (引用作品に、著者位置の貢献者とは別に書き起こし者がいる場合)、などである。

Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

○引用作品補足情報全体が半角丸括弧に囲われているため、ここでは括弧の多階層化を避けるため各 contribution は半角丸括弧で囲わない。

6) 様々な Contribution/Contribution の兼任

阿井上緒, (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Supervising Ed., 阿笠田奈, & 阿伽紗棚, Supervising Eds. & Interviewers, & 色葉にほへ, 色輪二ホへ, 土時リヌル, 柝里ぬる, 和雅ヨタレ, 若代誰素, 若依田れそ, Annotators). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, Supervising Ed., T. M. Akasa, & S. P. Akya, Supervising Eds. & Interviewers, & N. C.

[Iroha, N. E. Irowa, R. M. Doji, N. T. Tochiri, Y. P. Waga, T. C. Wakayo, R. A. Wakayoda, Annotators](#)). Tokyo: CGS Press.
 Ai, Ueo M. (2003). [Center for gender studies](#) (Satana E. Aga, Supervising Ed., Tana M. Akasa, & Satana P. Akya, Supervising Eds. & Interviewers, & Nihohé C. Iroha, Nihohé E. Irowa, Rinuru M. Doji, Nuruwo T. Tochiri, Yotare P. Waga, Tareso C. Wakayo, R. A. Reso A. Wakayoda, Annotators). Tokyo: CGS Press.

※Eds.の末尾ピリオドは、EdsがEditorsの省略形だということを示すためのもので、APAの記述構造とは無関係。

貢献者のContributionが様々にある場合は、貢献者名はただアルファベット順に並べるのではなく、上記のように共通Contributionごとにまとめて記述するが、Contributionが完全に一致していない場合は、一つのグループにまとめることはできない。

上記の例ではSupervising Ed.とSupervising Eds. & Annotatorsは、完全に一致していないため別のグループとしてくくられている。

同一Contributionグループ内では、貢献者名は50音順（日本語作品の場合）またはアルファベット順に並べる。

■ 著者位置以外の場所での、Contributionを同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

- ・日本語作品の貢献者名はSurnameの50音順
- ・それ以外の言語の作品の貢献者名はSurnameのアルファベット順
- ・2人列挙の場合ではA, & B,
- ・3人以上の列挙ではA, B, ... F, & G,

となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような貢献者の列挙は7人までで、8人以上いる場合は

A, B, C, D, E, F, ... Z,

のように記述する。アンパサンドを使わずに6人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド3つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

■ 著者位置以外の場所での、同一Contributionでまとめた貢献者グループの列挙

- ・2グループ列挙の場合ではGroupA, & GroupB
 - ・3グループ以上の列挙ではGroupA, GroupB, ... GroupF, & GroupG
- となる。アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような同一Contributionグループの列挙は7グループまでで、8グループ以上ある場合は

GroupA, GroupB, GroupC, GroupD, GroupE, GroupF, ... GroupZ,

のように記述する。アンパサンドを使わずに6グループ目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド3つを置き、最後

に、一番最後の貢献者グループだけを記述する。
また、グループ間の順序は Contribution の重要度で決まる。
該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■ 著者位置以外の場所での Contribution の列挙は
Contribution がいくつか兼任されている場合は、
・ Contribution を半角角括弧で囲う場合は
　・ 2つの列挙で(ContributionA■&■ContributionB)、
　・ 3つ以上だと(ContributionA,■ContributionB,■...■ContributionY■&■ContributionZ)
・ Contribution を半角角括弧で囲わない場合は、
　・ 2つの列挙で ContributionA■&■ContributionB、
　・ ContributionA,■ContributionB,■...■ContributionY■&■ContributionZ
のように、いずれもアンパサンド前にカンマを打たずに記述する（ここが貢献者名の列挙と違うので注意）。
Contribution は貢献者名と違って、8以上あっても■.■.■.■で省略しない。
該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■ 引用作品補足貢献者の Contribution の代表例
Author（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に原作者がいる場合）／
Writer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に脚本家がいる場合）／
Executive■Producer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に製作総指揮がいる場合）／
Producer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別にプロデューサーがいる場合）／
Chief■Producer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別にチーフプロデューサーがいる場合）／
Director（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に監督がいる場合）／
Composer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に作曲家がいる場合）／
Lyricist（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に作詞家がいる場合）／
Performer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に歌唱・演奏・演技者がいる場合）／
Ed.（引用作品に著者位置の貢献者とは別に編集者がいる場合）／
Vol. ■Ed.（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ中の一巻のみの編集者がいる場合）／
Series■Ed.（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ全体の編集者がいる場合）／
Supervising■Ed.（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に監修者がいる場合）／
Trans.（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に翻訳者がいる場合）／
Transcriber（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に手書き写本家がいる場合）／
Annotator（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に注釈者がいる場合）／
Adaptor（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に脚色者や編曲者がいる場合）／
Speaker（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に話者、座談会参加者がいる場合）／
Interviewer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー聞き手がいる場合）／
Interviewee（引用作品に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー語り手がいる場合）／
Cartographer（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に地図製作者がいる場合）／
Chair（引用作品に、著者位置の貢献者とは別にシンポジウムなどの司会がいる場合）／
Audiotypist（引用作品に、著者位置の貢献者とは別に書き起こし者がいる場合）、などである。
Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を

表すピリオドを打つ。

○引用作品補足情報全体が半角丸括弧に囲われているため、ここでは括弧の多階層化を避けるため各 contribution は半角丸括弧で囲わない。

3.3.2.2 引用作品のバージョン情報（あれば）

引用作品にバージョン情報がある場合は、それを記述しなければならない。

1) 通常の記述

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (PGSS version). 東京: CGS 出版.
Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (PGSS version). Tokyo: CGS Press.
Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (PGSS version). Tokyo: CGS Press.

バージョン名がある場合はこのように記述する。

※他にも、再録・転載を意味する Reprinted version も良く使われる。Reprinted version の場合、末尾追加情報で正本情報を記述する必要がある点に注意。

2) 補足貢献者とバージョン名の併記

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Ed., PGSS version). 東京: CGS 出版.
Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, Ed., PGSS version). Tokyo: CGS Press.
Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Ed., PGSS version). Tokyo: CGS Press.

補足貢献者（ここでは編集者）に関する記述の後、カンマを置いてバージョン名を記述する。

3.3.2.3 引用作品のエディション情報（あれば）

引用作品にエディションの情報があれば、それを記述する必要がある。

1) 通常の記述: 重版の場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (3rd ed.). 東京: CGS 出版.
Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (3rd ed.). Tokyo: CGS Press.
Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (3rd ed.). Tokyo: CGS Press.

2) 改訂版の場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (Rev. ed.). 東京: CGS 出版.
(Original work published 2000, 『ジェンダー研究センター』, 東京: PGSS 出版)

- Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (Rev. ed.). Tokyo: CGS Press. (Original work published 2000, *Center for gender studies*, 東京: PGSS Press)
- Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Rev. ed.). Tokyo: CGS Press. (Original work published 2000, *Center for gender studies*, 東京: PGSS Press)

Rev. ed.は Revised edition の意味。

タイトルに「改訂版」と組み込まれている場合でも、この記述は必要。

改訂版の場合は末尾追加情報で Original work information を記述しなくてはならない（改訂版以外の改版では必要ない）。

3) 重版時期が版の名称になっている場合

- 阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (Spring 2003 ed.). 東京: CGS 出版.
- Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (Spring 2003 ed.). Tokyo: CGS Press.
- Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Spring 2003 ed.). Tokyo: CGS Press.

重版の時期が版の名称になっている場合、それをそのまま記述する。

4) 補足貢献者・バージョン名とエディションの併記

- 阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Ed., PGSS version, 3rd ed.). 東京: CGS 出版.
- Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, Ed., PGSS version, 3rd ed.). Tokyo: CGS Press.
- Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Ed., PGSS version, 3rd ed.). Tokyo: CGS Press.

補足貢献者（ここでは編集者）に関する記述の後、カンマを置いてバージョン名、続いて再びカンマを打ってエディションを記述する。

3.3.2.4 引用作品の巻数情報（あれば）

引用作品が複数巻にわたるシリーズ物中の1～複数巻であった場合、巻数の情報が必要になってくる。

1) 複数巻にわたるシリーズ物全巻

- 阿井上緒. (2000-2003). 『ジェンダー研究センター』 (Vols. 1-8). 東京: CGS 出版.
- Ai, Ueo M. (Ed.). (2000-2003). *Center for gender studies* (Vols. 1-8). Tokyo: CGS Press.
- Ai, U. M. (Ed.). (2000-2003). *Center for gender studies* (Vols. 1-8). Tokyo: CGS Press.

日本語の例はシリーズ全体を一人の著者が書いているケース（編集者なし）で、英語の例は編集されたシリーズのケース。

Ai, Ueo M. はシリーズ編集者だが、シリーズ全体（(Vols. 1-8)と明記してある）の編集者として単独で記述する場合は、特に (Series Ed.) とする必要はない。シリーズ物の場合は、書名の直後に半角スペースを置いて (Vols. 1-X) と挿入する。タイトルから (Vols. 1-X) まで含めてピリオドがないことから、(Vols. 1-X) を含めてタイトル扱いとなっていることがわかる。

2) 複数巻にわたるシリーズ物から一巻のみ取り上げた場合

阿井上緒. (Ed.). (2003). 『ジェンダー研究センター』 (Vol. 1). 東京: CGS 出版.

Ai, Ueo M. (Ed.). (2003). *Center for gender studies* (Vol. 1). Tokyo: CGS Press.

Ai, U. M. (Ed.). (2003). *Center for gender studies* (Vol. 1). Tokyo: CGS Press.

一巻のみの場合は Vol. と単数形になる点に注意。

3) 複数巻にわたるシリーズ物から複数巻取り上げた場合

阿井上緒. (Ed.). (2003). 『ジェンダー研究センター』 (Vols. 2-5). 東京: CGS 出版.

Ai, Ueo M. (Ed.). (2003). *Center for gender studies* (Vols. 2-3, 5). Tokyo: CGS Press.

Ai, U. M. (Ed.). (2003). *Center for gender studies* (Vols. 2-3, 5). Tokyo: CGS Press.

日本語の例は引用した巻数が連続している場合で、形式上は全巻からの引用と変わらない。

英語の方の例は、引用した巻数がばらばらの場合の例。全く連続していない場合だと、(Vols. 1, 3, 5, 8, 12) のようになる。

4) 特殊な巻数の場合

阿井上緒. (Ed.). (2003). 『ジェンダー研究センター』 (Vols. 1.1-5.3). 東京: CGS 出版.

Ai, Ueo M. (Ed.). (2003). *Center for gender studies* (Vols. 1.1-5.3). Tokyo: CGS Press.

Ai, U. M. (Ed.). (2003). *Center for gender studies* (Vols. 1.1-5.3). Tokyo: CGS Press.

この例は引用した巻数が 1.1 巻～5.3 巻の場合のもの。

例えば、書籍に「第1期1」や「三・上巻」などと記されている場合は、このように巻数を2部立てにして「Vol. 3.5」や「Vol. 3.1」などとする。

5) 補足貢献者・バージョン名・エディションと巻数の併記

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vols. 1-8). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vols. 1-8). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vols. 1-8). Tokyo: CGS Press.

補足貢献者（ここでは編集者）に関する記述の後、カンマを置いてバージョン名、続いて再びカンマを打ってエディションを記述する。

6) 引用作品補足情報に巻数を記述しないケース：引用作品が、複数の巻にわたるシリーズ内の、独自の巻タイトルを持つ一つの巻の収載物である場合

(1) 基本的な記述

阿井上緒 (Ed.) (2003). 『ICU の研究所：人文・社会科学系：Vol. 3. ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Ed., PGSS version, 3rd ed.). 東京：CGS 出版.

Ai, U. M. (Ed.) (2003). *Research institutes of ICU: Humanities and social sciences Vol. 3. Center for gender studies* (Satana E. Aga, Ed., PGSS version, 3rd ed.). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (Ed.) (2003). *Research institutes of ICU: Humanities and social sciences Vol. 3. Center for gender studies* (S. E. Aga, Ed., PGSS version, 3rd ed.). Tokyo: CGS Press.

シリーズ物のなかの、個別の巻タイトルを持つ一つの巻を取り上げる場合は

日本語… 『シリーズタイトル：Vol. 0. 巻タイトル』 .

英語…… *Series title: Vol. 0. Volume title.*

のスタイルで、<シリーズタイトル>をタイトル扱いに、<巻数と巻タイトル>をサブタイトル扱いにする。

巻数は実際に書籍にどういう形で記載されていようとも、Vol. 0 の形にする（0 はアラビア数字 1,2,3,4,5,6,7,8,9,0 で表記）。

上記の例では、シリーズタイトル自体がタイトルとサブタイトルに分かれているため、

『シリーズタイトル：シリーズサブタイトル：Vol. 0. 巻タイトル』 .

Series title: Series subtitle: Vol. 0. Volume title.

と、結果的に3部に分かれたタイトル記述となっている。

※引用作品が、複数の巻にわたるシリーズ内の、独自の巻タイトルを持つ一つの巻である場合、巻 (Vol.) の情報が引用作品タイトル中に組み込まれてしまうので、上記の例ではその他の引用作品補足情報だけが引用作品タイトルの後ろの半角角括弧内に残されている。

(2) 巻ごとに別の編集者がいる複数巻にわたるシリーズ内の、独自の巻タイトルを持つ一つの巻から引用した場合

垣くけ子 (Series Ed.), & 阿井上緒 (Vol. Ed.) (2003). 『ICU の研究所：人文・社会科学系：Vol. 3. ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Ed., PGSS version, 3rd ed.). 東京：CGS 出版.

Kaki, Kukeko S. (Series Ed.), & Ai, Ueo M. (Vol. Ed.). (2003). *Research institutes of ICU: Humanities and social sciences Vol. 3. Center for gender studies* (S. E. Aqa, Ed., PGSS version, 3rd ed.). Tokyo: CGS Press.

Kaki, Kukeko S. (Series Ed.), & Ai, Ueo M. (Vol. Ed.). (2003). *Research institutes of ICU: Humanities and social sciences Vol. 3. Center for gender studies* (Satana E. Aqa, Ed., PGSS version, 3rd ed.). Tokyo: CGS Press.

この場合、当該巻のもっとも主要な貢献者は Volume Editor（巻編集者）だが、Series Editor（シリーズ編集者）も重要と判断した場合は、補足貢献者ではなく著者位置に記述してよい。その場合 Contribution の重要度順で、Series Editor が先に記述される。

※引用作品が、複数の巻にわたるシリーズ内の、独自の巻タイトルを持つ一つの巻である場合、巻（Vol.）の情報が引用作品タイトル中に組み込まれてしまうので、上記の例ではその他の引用作品補足情報だけが引用作品タイトルの後ろの半角括弧内に残されている。

(3) 特殊な巻数の場合

阿井上緒 (Ed.). (2003). 『ICU の研究所: 人文・社会科学系: Vol. 3.5. ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版.

Ai, Ueo M. (Ed.). (2003). *Research institutes of ICU: Humanities and social sciences Vol. 3.5. Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

Ai, U. M. (Ed.). (2003). *Research institutes of ICU: Humanities and social sciences Vol. 3.5. Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

例えば、書籍に「第 III 期 5」や「三・上巻」などと記されている場合は、巻数を 2 部立てにして「Vol. 3.5」や「Vol. 3.1」などとする。

3.3.2.5 引用作品の学位論文情報（あれば）

1) 引用作品が公開・出版済みの修士論文の場合

阿井上緒. (2000-2003). 『ジェンダー研究センター』 (Master's thesis, 国際基督教大学, 東京, 日本). 東京: CGS 出版.

Ai, Ueo M. (Ed.). (2000-2003). *Center for gender studies* (Master's thesis, International Christian University, Tokyo, Japan). Tokyo: CGS Press.

Ai, U. M. (Ed.). (2000-2003). *Center for gender studies* (Master's thesis, International Christian University, Tokyo, Japan). Tokyo: CGS Press.

※アメリカ国内の大学に提出された学位論文を英語で執筆する論文内で引用した場合は、Institution name, City, Country（大学・機関名、都市名、国名）については記述しなくて良い。

※Institution name, City, Country（大学・機関名、都市名、国名）として記述していいのは日本語か英語のみで、それ以外の言語圏の Institution name, City,

■Country（大学・機関名、都市名、国名）については、公式な英語訳で記述する。

2) 引用作品が公開・出版済みの博士論文の場合

阿井上緒. ■(2000-2003). 『ジェンダー研究センター』 ■(Doctoral ■Dissertation, ■国際基督教大学, ■東京, ■日本). ■東京: ■CGS 出版.

Ai, ■Ueo ■M. ■(Ed.). ■(2000-2003). ■Center for gender studies ■(Doctoral ■Dissertation, ■International ■Christian ■University, ■Tokyo, ■Japan). ■Tokyo: ■CGS ■Press.

Ai, ■U. ■M. ■(Ed.). ■(2000-2003). ■Center for gender studies ■(Doctoral ■Dissertation, ■International ■Christian ■University, ■Tokyo, ■Japan). ■Tokyo: ■CGS ■Press.

※アメリカ国内の大学に提出された学位論文を英語で執筆する論文内で引用した場合は、Institution ■name, ■City, ■Country（大学・機関名、都市名、国名）については記述しなくて良い。

※Institution ■name, ■City, ■Country（大学・機関名、都市名、国名）として記述していいのは日本語か英語のみで、それ以外の言語圏の Institution ■name, ■City, ■Country（大学・機関名、都市名、国名）については、公式な英語訳で記述する。

3) 引用作品が公開・出版されていない修士論文の場合は

阿井上緒. ■(2000-2003). 『ジェンダー研究センター』 ■(Unpublished ■master's ■thesis, ■国際基督教大学, ■東京, ■日本). ■東京: ■CGS 出版.

Ai, ■Ueo ■M. ■(Ed.). ■(2000-2003). ■Center for gender studies ■(Unpublished ■master's ■thesis, ■International ■Christian ■University, ■Tokyo, ■Japan). ■Tokyo: ■CGS ■Press.

Ai, ■U. ■M. ■(Ed.). ■(2000-2003). ■Center for gender studies ■(Unpublished ■master's ■thesis, ■International ■Christian ■University, ■Tokyo, ■Japan). ■Tokyo: ■CGS ■Press.

※アメリカ国内の大学に提出された学位論文を英語で執筆する論文内で引用した場合は、Institution ■name, ■City, ■Country（大学・機関名、都市名、国名）については記述しなくて良い。

※Institution ■name, ■City, ■Country（大学・機関名、都市名、国名）として記述していいのは日本語か英語のみで、それ以外の言語圏の Institution ■name, ■City, ■Country（大学・機関名、都市名、国名）については、公式な英語訳で記述する。

4) 引用作品が公開・出版されていない博士論文の場合は

阿井上緒. ■(2000-2003). 『ジェンダー研究センター』 ■(Unpublished ■doctoral ■Dissertation, ■国際基督教大学, ■東京, ■日本). ■東京: ■CGS 出版.

Ai, ■Ueo ■M. ■(Ed.). ■(2000-2003). ■Center for gender studies ■(Unpublished ■doctoral ■Dissertation, ■International ■Christian ■University, ■Tokyo, ■Japan). ■Tokyo: ■CGS ■Press.

Ai, U. M. (Ed.). (2000-2003). *Center for gender studies* (Unpublished doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan). Tokyo: CGS Press.

※アメリカ国内の大学に提出された学位論文を英語で執筆する論文内で引用した場合は、Institution name, City, Country (大学・機関名、都市名、国名) については記述しなくて良い。

※Institution name, City, Country (大学・機関名、都市名、国名) として記述していいのは日本語か英語のみで、それ以外の言語圏の Institution name, City, Country (大学・機関名、都市名、国名) については、公式な英語訳で記述する。

5) 補足貢献者・バージョン名・エディション・巻数と学位論文情報の併記

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Vol. 1, Master's thesis, 国際基督教大学, 東京, 日本). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Vol. 1, Master's thesis, International Christian University, Tokyo, Japan). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Vol. 1, Master's thesis, International Christian University, Tokyo, Japan). Tokyo: CGS Press.

補足貢献者（ここでは編集者）に関する記述の後、カンマを置いてバージョン名、続いて再びカンマを打ってエディション、更にカンマを打って学位論文情報を記述する。

※アメリカ国内の大学に提出された学位論文を英語で執筆する論文内で引用した場合は、Institution name, City, Country (大学・機関名、都市名、国名) については記述しなくて良い。

※Institution name, City, Country (大学・機関名、都市名、国名) として記述していいのは日本語か英語のみで、それ以外の言語圏の Institution name, City, Country (大学・機関名、都市名、国名) については、公式な英語訳で記述する。

学位論文はめったにそれだけで一巻の作品にはならないので、こういった記述はまれ。

3.3.3 Description (あれば)

Description とは、内容や内容の種類・形式・媒体について説明するためのものである。通常予想される書籍や文献とはちがう内容・媒体の場合に、半角角括弧に囲った形で付記される。

Description は複数組み合わせて記述することも可能で、しばしば媒体と内容の種類両方についてのものが見られる。他にも組み合わせは多様であるため、引用作品に合わせて適切なものを記述する。

Description は、必要に応じて複数形に変えて記述すること。

1) Description の種類

(1) 内容に関する Description

[Abstract] (要旨)

[Editorial] (社説)

[Proceedings] (議事録)

[Motion picture] (映画の場合)

[Television broadcast] (テレビ番組の場合)

[Television series] (テレビシリーズの場合)

[Television series episode] (テレビシリーズ中の 1 話の場合)

[Movie script] (映画の脚本の場合)

[Dialogue] (座談会の場合)

[Computer software] (コンピューターソフトの場合)

[Computer software and manual] (コンピューターソフトとマニュアルの場合)

[Data file] (データファイルの場合)

[Video file] (動画ファイルの場合)

[Demographic map] (地図の場合)

[Data file and code book] (データファイルとコードブックの組み合わせの場合)

[Software and training videos] (ソフトウェアと練習 video の場合)

[Apparatus and software] (機器とソフトウェアの場合)

[Letter to G. M. Surname (G. M. Surname, Trans.)] (~~さんへの手紙の場合
(この例では別に翻訳者も入っている): 宛先となった人物に関しては、氏名で
はなく Editor のように役職で特定してもいい)

[Clipping from XXX newspaper] (XXX 新聞からの切り抜きの場合)

[Clipping from XXX magazine] (XXX 誌からの切り抜きの場合)

[Commentary on the book *Work title* by G. M. Surname] (~~によって作成
された~~というタイトルの本に対する解説の場合。book は作品の媒体・種類
に合わせて DVD、video、movie などに変える)

[Review of the book *Work title* by G. M. Surname] (~~によって作成された
~~というタイトルの本に対する評論の場合。book は作品の媒体・種類に合わ
せて DVD、video、movie などに変える)

[Interview] (インタビューの場合: インタビューの場合、通常は話し手を著者位
置に記述し、聞き手を引用作品補足情報に記述する。聞き手/話し手の区別
のない座談会の場合は、Description としては Dialogue を記述し、聞き手/話し手
ともに著者位置に記述すること))

(2) 媒体・形式や収載場所に関する Description

[Supplemental material] (補足的資料)

[Monograph] (モノグラフ・抜き刷り)

[Special issue] (特別号)

[Special section] (特集)

[Web log post] (ブログエントリ)

[Web comment] (ウェブ上のコメント)

[Web message] (ウェブ上のメッセージ)

[Wiki article] (wiki 形式の記事)

[Online forum comment] (オンラインフォーラム上のコメント)

[Electronic mailing list message] (メーリングリストに流れたメッセージ)

[Blog post] (ブログエントリー)
[Transcription] (手書き写本)
[Woodblock-copy] (覆刻本)
[Photocopy] (影印本)
[Wooden letterpress-copy] (木製活版印刷翻刻本)
[Letterpress-copy] (翻刻本)
[CD] (CD)
[VHS video cassette] (VHS)
[Cassette recording] (カセット録音)
[CD recording] (CD 録音)
[Electronic version] (電子版)
[Podcast] (ポッドキャスト)
[Privately published book] (自費出版)
[Bound brochures] (製本されたパンフレット)
[Bound journals] (製本された学術誌)

(3) 複合的な Description

[DVD summarizing television series] (テレビシリーズの総集編 DVD)
[DVD of motion picture] (映画の DVD の場合)
[DVD of television broadcast] (テレビ番組の DVD の場合)
[Movie podcast] (映画のポッドキャスト)
[Music podcast] (音楽のポッドキャスト)
このように媒体と内容の種類両方についてのもの、と様々なものがある。

2) Description の記述例

(1) Description の記述例: 引用作品補足情報がない場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 [Electronic version]. 東京: CGS 出版.
Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* [Electronic version]. Tokyo: CGS Press.
Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* [Electronic version]. Tokyo: CGS Press.

引用作品補足情報がない場合は、タイトル直後に、ピリオドやカンマを置かず、半角スペースを挟んだだけで Description を記述する。

(2) Description の記述例: 引用作品補足情報がある場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Vol. 1, Master's thesis, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Electronic version]. 東京: CGS 出版.
Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Vol. 1, Master's thesis, International Christian University, Tokyo, Japan) [Electronic version]. Tokyo: CGS Press.
Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Vol. 1, Master's thesis, International Christian University, Tokyo, Japan) [Electronic version]. Tokyo: CGS Press.

引用作品補足情報がある場合は、

- ・タイトル直後に、ピリオドやカンマを置かず、半角スペースを挟んだだけで
まずは引用作品補足情報を、
- ・続いて半角スペースを挟んだだけで Description を記述する。

※Description を複数記述したい場合は、

●引用作品が「A と B」の 2 つから成っている場合は、

[A and B]

のようにアンパサンドではなく and でつないで記述する。

3 つ以上の場合[A, B, ..., Y and Z]となる。

Description が 8 を越えても . . . で省略しない。

●引用作品が、A であり、なおかつ B である、という場合は

[A, B]

のようにカンマを挟んで列挙する。

3 つ以上の場合[A, B, ..., Y, X]となる。

いくつ列挙してもアンパサンドは使用せず、ただカンマだけを間にはさんで列挙する。Description が 8 を越えても . . . で省略しない。

3.4 Publisher information (出版元情報) または Alternative information for publisher information (出版元情報の代替情報) バリエーション

3.4.1 Publisher information (出版元情報) の記述

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press.

出版元情報の記述は、上記のように

出版地, SA: 出版元名.

Location, SA: Publisher.

という形になる。

SA は State Abbreviation (アメリカの州名の省略形) のことで、出版地がアメリカ以外であれば記述の必要はなく、その場合は以下ようになる。

出版地: 出版元名.

Location: Publisher.

※出版元情報は、これでひとかたまりなので、出版元名の後には必ず終了を意味するピリオドを打つ。

Reference の基本的な記述は出版元情報までで終わりなので※、出版元名の後のピリオドは、Reference の記述全体の終了も兼ねていると言える。

※出版元情報の後に記述するものがあれば、それは全て半角丸括弧に囲った形で末尾追加情報となる。

3.4.2 Alternative information for publisher information (出版元情報の代替情報) の記述

- ・著者位置の貢献者 = 出版元の場合

- ・未出版のもの（オンラインですら公開されておらず、個人・機関によっても所蔵されていないもの）
- ・会議・シンポジウム・発表など、形に残らないもの（会議・シンポジウム・発表の記録ではなく、会議・シンポジウム・発表そのもの）
- ・引用作品が、オンライン版のみのものである。（紙媒体版から電子化したものではなく、はじめから電子版しかない場合）
- ・古い作品のため、出版元に関する記載がない。

の5つの場合は、出版元情報がないため、代わりにここに出版元情報の代替情報を記述する。

1) 著者位置の貢献者が出版元の場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: Author.
 Ai, U. M. (2003). [Center for gender studies]. Tokyo: Author.
 Ai, Ueo M. (2003). [Center for gender studies]. Tokyo: Author.

阿井上緒. (Ed.) (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: Editor.
 Ai, U. M. (Ed.) (2003). [Center for gender studies]. Tokyo: Editor.
 Ai, Ueo M. (Ed.) (2003). [Center for gender studies]. Tokyo: Editor.

出版元が著者位置にいるものと同じの場合は、出版元の表記は以上のように該当貢献者の Contribution で示す。当然のことながら、該当貢献者が複数であれば、出版元の表記は Authors や Editors となる。

著者位置にない貢献者が出版元となっている場合は、他の貢献者と Contribution が重なっておらず、Contribution だけで貢献者を特定できる場合は上記と同じように記述してよいが、別の位置の貢献者と Contribution が重なっている場合は

東京: 阿井上緒.
 Tokyo: U. M. Ai.
 Tokyo: Ueo M. Ai

のように具体的な貢献者名で特定する。

2) 未出版のもの（オンライン公開なし、個人・機関による所蔵なし）

(1) 出版予定のない生データ（関係機関のはっきりしているもの）

阿井上緒. (2003). [ジェンダー研究センター]. Unpublished raw data, ジェンダー・セクシュアリティ研究メジャー, 国際基督教大学, 東京.
 Ai, U. M. (2003). [Center for gender studies]. Gender and Sexuality Studies Major, International Christian University, Tokyo.
 Ai, Ueo M. (2003). [Center for gender studies]. Gender and Sexuality Studies Major, International Christian University, Tokyo.

※原稿でなく生データなので、作品扱いにならず、タイトルは仮題扱いとなり、二重かぎ括弧に困ったりイタリサイズせず、ただ半角角括弧に困る。

このように、生データの関係機関（制作機関や保管機関）を出版元情報の代替情報として記述する。

関係機関は上位組織も含めて詳細に記述する

上記の例では、関係 Division だけでなく、所管の大学という上位組織が記述されている。Location の末尾にはピリオドを打つ。

※関係機関名として記述していいのは日本語か英語のみで、それ以外の言語圏の関係機関名については、公式な英語訳で記述する。

※オンラインにも公開されていない未出版の原稿・データから引用した場合は、関係機関の記述が必要である。万が一関係機関がない／明らかでない場合で、その原稿・データからの引用が必要な場合は、関係機関に関する情報（下線部）を省略して記述する。

(2) 出版予定のある未完成の原稿（関係機関のはっきりしているもの）

阿井上緒, (2003). 『ジェンダー研究センター』 . Manuscript in preparation, ジェンダー・セクシュアリティ研究メジャー, 国際基督教大学, 東京.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies. Manuscript in preparation, International Christian University, Tokyo.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies. Manuscript in preparation, International Christian University, Tokyo.

関係機関は上位組織も含めて詳細に記述する

上記の例では、関係 Division だけでなく、所管の大学という上位組織が記述されている。Location の末尾にはピリオドを打つ。

※関係機関名として記述していいのは日本語か英語のみで、それ以外の言語圏の関係機関名については、公式な英語訳で記述する。

※オンラインにも公開されていない未出版の原稿・データから引用した場合は、関係機関の記述が必要である。万が一関係機関がない／明らかでない場合で、その原稿・データからの引用が必要な場合は、関係機関に関する情報（下線部）を省略して記述する。

(3) 出版予定のない完成した原稿（関係機関のはっきりしているもの）

阿井上緒, (2003). 『ジェンダー研究センター』 . Unpublished manuscript, ジェンダー・セクシュアリティ研究メジャー, 国際基督教大学, 東京.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies. Unpublished manuscript, International Christian University, Tokyo.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies. Unpublished manuscript, International Christian University, Tokyo.

関係機関は上位組織も含めて詳細に記述する

上記の例では、関係 Division だけでなく、所管の大学という上位組織が記述されている。Location の末尾にはピリオドを打つ。

※関係機関名として記述していいのは日本語か英語のみで、それ以外の言語圏の関係機関名については、公式な英語訳で記述する。

※オンラインにも公開されていない未出版の原稿・データから引用した場合は、関係機関の記述が必要である。万が一関係機関がない／明らかでない場合で、その原稿・データからの引用が必要な場合は、関係機関に関する情報（下線部）を省略して記述する。

(4) 出版予定の確定していない原稿（投稿済みだが掲載許可待ち）（関係機関のはっきりしているもの）

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 . Manuscript submitted for publication, ジェンダー・セクシュアリティ研究メジャー, 国際基督教大学, 東京.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies. Manuscript submitted for publication, International Christian University, Tokyo.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies. Manuscript submitted for publication, International Christian University, Tokyo.

出版予定があっても、引用した時点で未出版であれば、予定されている出版元の情報を記述してはならない。

関係機関は上位組織も含めて詳細に記述する

上記の例では、関係 Division だけでなく、所管の大学という上位組織が記述されている。Location の末尾にはピリオドを打つ。

※関係機関名として記述していいのは日本語か英語のみで、それ以外の言語圏の関係機関名については、公式な英語訳で記述する。

※オンラインにも公開されていない未出版の原稿・データから引用した場合は、関係機関の記述が必要である。万が一関係機関がない／明らかでない場合で、その原稿・データからの引用が必要な場合は、関係機関に関する情報（下線部）を省略して記述する。

3) 会議・シンポジウム・発表・講演など、形に残らないもの

(1) 会議

阿井上緒. (Chair). (2003). 『ジェンダー研究センター』 . Conference conducted at the meeting of ジェンダー・セクシュアリティ研究メジャー, 国際基督教大学, 東京.

Ai, U. M. (Chair). (2003). Center for gender studies. Conference conducted at the meeting of Gender and Sexuality Studies Major, International Christian University, Tokyo.

Ai, Ueo M. (Chair). (2003). Center for gender studies. Conference conducted at the meeting of Gender and Sexuality Studies Major, International Christian University, Tokyo.

会議の場合、著者位置には議長（Chair）が来ることが多い。

会議の場となった集まりの関係機関は上位組織も含めて詳細に記述する

上記の例では、関係 Division だけでなく、所管の大学という上位組織が記述されている。

※関係機関名として記述していいのは日本語か英語のみで、それ以外の言語圏の関係機関名については、公式な英語訳で記述する。

主催者・団体が複数ある場合は、「A, B & C」という通常の列挙（アンパサンド前にカンマを打たない）で記述する。

Location の末尾にはピリオドを打つ。

(2) シンポジウム

阿井上緒. (Chair). (2003). 『ジェンダー研究センター』. Symposium conducted at the meeting of ジェンダー・セクシュアリティ研究メジャー, 国際基督教大学, 東京.

Ai, U. M. (Chair). (2003). Center for gender studies. Symposium conducted at the meeting of Gender and Sexuality Studies Major, International Christian University, Tokyo.

Ai, Ueo M. (Chair). (2003). Center for gender studies. Symposium conducted at the meeting of Gender and Sexuality Studies Major, International Christian University, Tokyo.

シンポジウムの場合、著者位置には司会 (Chair) が来ることが多い。シンポジウムの場となった集まりの関係機関は上位組織も含めて詳細に記述する

上記の例では、関係 Division だけでなく、所管の大学という上位組織が記述されている。

※関係機関名として記述していいのは日本語か英語のみで、それ以外の言語圏の関係機関名については、公式な英語訳で記述する。

主催者・団体が複数ある場合は、「A, B & C」という通常の列挙（アンパサンド前にカンマを打たない）で記述する。

Location の末尾にはピリオドを打つ。

(3) Paper presentation

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』. Paper presentation presented at the meeting of ジェンダー・セクシュアリティ研究メジャー, 国際基督教大学, 東京.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies. Paper presentation presented at the meeting of Gender and Sexuality Studies Major, International Christian University, Tokyo.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies. Paper presentation presented at the meeting of Gender and Sexuality Studies Major, International Christian University, Tokyo.

発表の場となった集まりの関係機関は上位組織も含めて詳細に記述する
上記の例では、関係 Division だけでなく、所管の大学という上位組織が記述されている。

※関係機関名として記述していいのは日本語か英語のみで、それ以外の言語圏の関係機関名については、公式な英語訳で記述する。

主催者・団体が複数ある場合は、「A, B & C」という通常の列挙（アンパサンド前にカンマを打たない）で記述する。

Location の末尾にはピリオドを打つ。

(4) Poster session

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』. Poster session presented at the meeting of ジェンダー・セクシュアリティ研究メジャー, 国際基督教大学, 東京.

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies*. Poster session presented at the meeting of Gender and Sexuality Studies Major, International Christian University, Tokyo.

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies*. Poster session presented at the meeting of Gender and Sexuality Studies Major, International Christian University, Tokyo.

発表の場となった集まりの関係機関は上位組織も含めて詳細に記述する
上記の例では、関係 Division だけでなく、所管の大学という上位組織が記述されている。

※関係機関名として記述していいのは日本語か英語のみで、それ以外の言語圏の関係機関名については、公式な英語訳で記述する。

主催者・団体が複数ある場合は、「A, B & C」という通常の列挙（アンパサンド前にカンマを打たない）で記述する。

Location の末尾にはピリオドを打つ。

(5) 講演

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』. Speech presented at the meeting of ジェンダー・セクシュアリティ研究メジャー, 国際基督教大学, 東京.

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies*. Speech presented at the meeting of Gender and Sexuality Studies Major, International Christian University, Tokyo.

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies*. Speech presented at the meeting of Gender and Sexuality Studies Major, International Christian University, Tokyo.

発表の場となった集まりの関係機関は上位組織も含めて詳細に記述する
上記の例では、関係 Division だけでなく、所管の大学という上位組織が記述されている。

※関係機関名として記述していいのは日本語か英語のみで、それ以外の言語圏の関係機関名については、公式な英語訳で記述する。

主催者・団体が複数ある場合は、「A, B & C」という通常の列挙（アンパサンド前にカンマを打たない）で記述する。

Location の末尾にはピリオドを打つ。

4) 引用作品がオンライン版のみの場合

※以下の記述は、本来であれば末尾追加情報に記述されるべき

Retrieval/Location information（入手・閲覧先に関する情報）とほとんど同じものである。引用作品がオンライン版のみしかない場合に限って、出版元情報の代替情報として、前倒しでここに記述される。

(1) DOI ナンバーが振られているデータを閲覧した場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 .doi:00000/000-000000

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies. doi:00000/000-000000

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies. doi:00000/000-000000

DOI ナンバーのコロンの前後にスペースは入れない。DOI ナンバーの末尾にピリオドもなし。

(2) 無料のデータベースから閲覧した場合 (doi ナンバーが振られていない場合)

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 .Retrieved from CGS Expert database. (0000000000)

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies. Retrieved from CGS Expert database. (0000000000)

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies. Retrieved from CGS Expert database. (0000000000)

DOI ナンバーの振られていない作品を、CGS Expert という名称のデータベースから無料で閲覧した場合の記述は上記のようになる。無料の場合は出版元情報の代替情報は Retrieved で始まる。

database の後にはピリオドを打つ。

データベースのデータに Accession number が振られている場合は、末尾追加情報として、半角丸括弧に囲った形で Accession number を追記する。末尾追加情報の半角丸括弧の末尾にはピリオドを打たない。

(3) 有料あるいは会員制のデータベースから閲覧した場合 (doi ナンバーが振られていない場合)

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 .Available from CGS Expert database. (0000000000)

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies. Available from CGS Expert database. (0000000000)

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies. Available from CGS Expert database. (0000000000)

DOI ナンバーの振られていない作品を、CGS Expert という名称のデータベースから会員となって、または有料で閲覧した場合の記述は上記のようになる。会員制・有料の場合は出版元情報の代替情報は Available で始まる。

database の後にはピリオドを打つ。

データベースのデータに Accession number が振られている場合は、末尾追加情報として、半角丸括弧に囲った形で Accession number を追記する。末尾追加情報の半角丸括弧の末尾にはピリオドを打たない。

(4) ウェブサイトから無料で閲覧した場合 (doi ナンバーが振られていない場合)

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 .Retrieved from CGS Online website. http://xxxxxxxxxxxxx.com

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies. Retrieved from CGS Online website. http://xxxxxxxxxxxxx.com

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies*. Retrieved from CGS Online website: <http://xxxxxxxxxxxxxx.com>

DOI ナンバーの振られていない作品を、CGS Online という名称のウェブサイトから無料で閲覧した場合の記述は上記のようになる。無料の場合は出版元情報の代替情報は Retrieved で始まる。

URI の後にはピリオドを打たない。

URI は、ウェブサイトのトップページなどではなく、引用作品へのダイレクトな URI を記述すること

(5) ウェブサイトから有料で閲覧した場合 (doi ナンバーが振られていない場合)
阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』. Available from CGS Online website: <http://xxxxxxxxxxxxxx.com>

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies*. Available from CGS Online website: <http://xxxxxxxxxxxxxx.com>

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies*. Available from CGS Online website: <http://xxxxxxxxxxxxxx.com>

DOI ナンバーの振られていない作品を、CGS Online という名称のウェブサイトから会員となって、または有料で閲覧した場合の記述は上記のようになる。会員制・有料の場合は出版元情報の代替情報は Available で始まる。

URI の後にはピリオドを打たない。

URI は、ウェブサイトのトップページなどではなく、引用作品へのダイレクトな URI を記述すること

5) 出版元の情報のない入手の難しい作品 (古典作品の初版本や写本など)

※以下の記述は、本来であれば末尾追加情報に記述されるべき

Retrieval/Location information (入手・閲覧先に関する情報) とほとんど同じものである。引用作品がオンライン版のみしかない場合に限って、出版元情報の代替情報として、前倒しでここに記述される。

(1) 大学、図書館や博物館などの特定の機関に収蔵されていて、その機関に直接行って閲覧した場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』. CGS 文庫, 国際基督教大学図書館, 国際基督教大学, 東京.

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies*. CGS collection, International Christian University Library, International Christian University, Tokyo.

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies*. CGS collection, International Christian University Library, International Christian University, Tokyo.

所蔵機関については、上位組織も含めて詳細に記述する。

上記の例では、作品を所蔵するコレクションだけでなく、コレクションを所管する図書館、その図書館を所管する大学、の2つの上位組織が記述されている。

Location の末尾にはピリオドを打つ。

(2) 個人蔵の場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』. Book in possession of 阿賀沙多菜.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies. Book in possession of S. E. Aga.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies. Book in possession of Satana E. Aga.

所蔵者名の末尾にはピリオドを打つ。

出版元情報のない個人蔵の作品からの引用は、所蔵が広く知られ、研究されている場合でない限り、信頼性が確保できないため、極力控えるべきであることに注意。

作品の媒体に合わせて Book は Magazine や Series、DVD、Copy などに適宜変える。

■ 著者位置以外の場所での貢献者名（人名）の構成

・ Given names を（Middle name(s)がある場合はそれらも全て）イニシャルで

・ Surname

・ Suffix（Jr.や III などがある場合のみ）

の3部によって、この順で構成される。

著者位置以外の場所においては、貢献者名は名→姓の順で記述する（日本語人名・日本語に転写された人名を除く）。

※当紀要への投稿論文では、必ずしも Given name をイニシャルに省略する必要はないが（日本語人名や日本語に転写された人名では、そもそもイニシャルにできない）、論文を通して省略するかしないかについて統一されている必要がある。また、Given name をイニシャル化しない場合でも、Middle names は必ずイニシャル化すること（e.g., S. E. Aga と Satana E. Aga）

○これら人名の各構成要素はピリオド等で終止せず、またそれぞれの要素間は、著者位置と違い、カンマを打たずにただ半角スペースで区切る（日本語人名除く）。

Given name・Middle name(s)のイニシャルや Jr の直後のピリオドは、一見これら要素の終了のようにも見えるが、実際はそれらが省略形であることを意味するだけのものである（ピリオドを打つのは Suffix では Jr だけで III 以降はピリオドなし）。

著者位置とは違って、各貢献者名一人一人（一団体一団体）の末尾には、貢献者名の終止を意味するピリオドを打たない。Given name・Middle name(s)のイニシャルや Jr が省略形であることを意味するピリオドが、一見貢献者名の終止ピリオドのようにも見えるが、実際はそれらが省略形であることを意味するだけのものである（ピリオドを打つのは Suffix では Jr だけで III 以降はピリオドなし）。

■ 著者位置以外の場所での、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

・ 日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順

・ それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順

- ・ 2 人列挙の場合では A, ■&■B, ■
- ・ 3 人以上の列挙では A, ■B, ■...■F, ■&■G, ■

となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような貢献者の列挙は 7 人までで、8 人以上いる場合は

A, ■B, ■C, ■D, ■E, ■F, ■...■Z, ■

のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

■ 著者位置以外の場所での、同一 Contribution でまとめた貢献者グループの列挙

- ・ 2 グループ列挙の場合では GroupA, ■&■GroupB ■

- ・ 3 グループ以上の列挙では GroupA, ■GroupB, ■...■GroupF, ■&■GroupG ■

となる。アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような同一 Contribution グループの列挙は 7 グループまでで、8 グループ以上ある場合は

GroupA, ■GroupB, ■GroupC, ■GroupD, ■GroupE, ■GroupF, ■...■GroupZ, ■

のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 グループ目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者グループだけを記述する。

また、グループ間の順序は Contribution の重要度で決まる。

該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■ 著者位置以外の場所での Contribution の列挙は

Contribution がいくつか兼任されている場合は、

- ・ Contribution を半角角括弧で囲う場合は

- ・ 2 つの列挙で (ContributionA ■&■ContributionB)、

- ・ 3 つ以上だと (ContributionA, ■ContributionB, ■...■ContributionY ■&■ContributionZ)

- ・ Contribution を半角角括弧で囲わない場合は、

- ・ 2 つの列挙で ContributionA ■&■ContributionB、

- ・ ContributionA, ■ContributionB, ■...■ContributionY ■&■ContributionZ

のように、いずれもアンパサンド前にカンマを打たずに記述する（ここが貢献者名の列挙と違うので注意）。

Contribution は貢献者名と違って、8 以上あっても ■.■.■.■で省略しない。該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■ 著者位置以外の場所での人名のバリエーション

- 1) 著者位置以外の場所における貢献者が通常の人名の場合

阿賀沙多菜

S. ■E. ■Aga

Satana ■E. ■Aga

- 2) 著者位置以外の場所における貢献者名の Surname に接頭辞（O や

Mc) がつく場合

M. ■ A. ■ MacNeil
Maria ■ A. ■ MacNeil
M. ■ A. ■ McArthur
Maria ■ A. ■ McArthur
M. ■ A. ■ O'Connell
Maria ■ A. ■ O'Connell

接頭辞の記述は、引用した作品の記述に倣うこと。

3) 著者位置以外の場所における貢献者名の Surname に前置詞 (de や van) がつく場合

R. ■ H. ■ van ■ Rijn
Rembrandt ■ H. ■ van ■ Rijn
P. ■ de ■ Champaigne
Philippe ■ de ■ Champaigne
M. ■ Q. ■ de ■ La ■ Tour
Maurice ■ Q. ■ de ■ La ■ Tour
F. ■ von ■ Stuck
Franz ■ von ■ Stuck

接続詞なども、省略せずに記述する。

4) 著者位置以外の場所における貢献者名の Surname が複数の語に分かれている場合

H. ■ Rodham ■ Clinton
Hillary ■ Rodham ■ Clinton

Surname が複数の語によって成り立っている場合は、それをそのまま記述する。

5) 著者位置以外の場所における貢献者名の Surname が複数の語に分かれてハイフンでつながれている場合

A. ■ Labille-Guiard
Adelaide ■ Labille-Guiard

貢献者名の Surname が複数の語に分かれてハイフンでつながれている場合でも、それをそのまま記述する。

6) 著者位置以外の場所における貢献者名の Surname に Suffix (Jr. や III) がつく場合

S. ■ E. ■ Aga ■ III
Satana ■ E. ■ Aga ■ Jr.

Jr の末尾ピリオドは、Jr が省略形であることを示す末尾ピリオドである。

7) 著者位置以外の場所における貢献者名の Given name や Middle name(s) が複数の語に分かれてハイフンでつながれている場合

J.-B. ■ Lamour
Jean-Baptiste ■ Lamour

イニシャル化をする場合は、ハイフンの前後両方共をイニシャル化す

る。

8) 著者位置以外の場所における貢献者名が Surname・Given name・Middle names という構成要素で成り立っていない人名の場合

Samirah■bint■Ibrahim■bin■Hamad■Al-Ibrahim

著者位置以外の場所では、原語での記述順に、要素ごとに半角スペースで区切って記述する。

ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s)をイニシャル化しなくて良い

9) 著者位置以外の場所における貢献者名が日本語転写された貢献者名の場合（翻訳作品を除く）

(1) 著者位置以外の場所における貢献者名がカタカナ転写の場合

サタナ・E・アガ

サタナ・エリザベス・アガ

サタナ・E.=アガ

サタナ・エリザベス=Aガ

姓名の順は作品に記述されている通りのまま、各要素間にはスペースを挟まず、代わりに中黒を打って記述する。=記号が使用されている場合は、それもそのまま記述。**カタカナ転写の場合は、中黒は必須。**

(2) 著者位置以外の場所における貢献者名が日本式漢字への転写の場合

魯迅.

司馬遷.

姓名の順は作品に記述されている通りのまま、日本語人名と同じく**中黒は打たない。**

(3) 著者位置以外の場所における貢献者名がカタカナ転写・日本式漢字転写・ローマ字表記などが混交した転写の場合

エリザベス阿賀沙多菜

エリザベス・阿賀・沙多菜

Elisabeth 阿賀沙多菜

姓名の順は作品に記述されている通りのまま、中黒に関しても作品の記述に倣う。**作品の記述に中黒がない場合は打たなくて良い。**

10) 著者位置以外の場所における貢献者名が、Given name・Middle name(s)をイニシャル化した結果、同姓異名の著者の区別がつかなくなってしまう場合

S.■E.■Aga■[Satana■Elisabeth]

S.■E.■Aga■[Satana■Elyse]

または、

Satana■E.■Aga■[Elisabeth]

Satana■E.■Aga■[Elyse]

区別がつかない貢献者たちだけ、貢献者名直後に半角角括弧で囲った形で、イニシャル化しない Given name と Middle name(s)を記述する。

11) 著者位置以外の場所における貢献者名: 引用作品が日本語以外の言

語から日本語に翻訳されたものの場合

Jiaoda■Du■[**■**督**■**教**■**大,**■**督**■**教**■**大]

Kyotae■Tok■[**■**독**■**교**■**대,**■**トク**■**・キョ**■**デ]

- ・貢献者名のローマ字記述（原語がローマ字語でない場合、ローマ字転写の Given name や Middle name(s)は、イニシャル化してはならない／ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s)をイニシャル化しなくて良い)
- ・原語がローマ字語でない場合、直後に半角角括弧で囲って、[原語による貢献者名, **■**貢献者名の日本語転写]の2つを記述する。原語による貢献者名の記述の際、姓名の順は原語の慣例に習う。貢献者名の日本語転写は 9)を参照のこと。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

12) 著者位置以外の場所における貢献者名: 引用作品が英語以外の言語から英語に翻訳されたものの場合

Jiaoda■Du■[**■**督**■**教**■**大]

Kyotae■Tok■[**■**독**■**교**■**대]

- ・貢献者名のローマ字記述（原語がローマ字語でない場合、ローマ字転写の Given name や Middle name(s)は、イニシャル化してはならない／ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s)をイニシャル化しなくて良い)
- ・原語がローマ字語でない場合、直後に半角角括弧で囲って、[原語による貢献者名]を記述する。姓名の順は原語の慣例に習う。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

13) 著者位置以外の場所における貢献者名: 引用作品が英語・日本語以外の言語によって制作された原語版の場合

Jiaoda■Du■[**■**督**■**教**■**大]

Kyotae■Tok■[**■**독**■**교**■**대]

- ・貢献者名のローマ字記述（原語がローマ字語でない場合、ローマ字転写の Given name や Middle name(s)は、イニシャル化してはならない／ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s)をイニシャル化しなくて良い)
- ・原語がローマ字語でない場合、直後に半角角括弧で囲って、[原語による貢献者名]を記述する。姓名の順は原語の慣例に習う。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

14) 著者位置以外の場所における貢献者名: 作品自体に記述がない貢献者名の場合

(1) 著者位置以外の場所における貢献者名: 確実視されている貢献者があるが、作品に記述がない場合

[**■**阿**■**賀**■**沙**■**多**■**菜**■**]

[S.■E.■Aga]

[Satana■E.■Aga]

[S.■E.■Aga■[Satana■Elisabeth]]■&■[S.■E.■Aga■[Satana■Elyse]]

[Satana■E.■Aga■[Elisabeth]]■&■[Satana■E.■Aga■[Elyse]]

[Jiaoda■Du■[**■**督**■**教**■**大,**■**督**■**教**■**大]]

[Kyotae■Tok■[**■**독**■**교**■**대,**■**トク**■**・キョ**■**デ]]

[Jiaoda■Du■[基督教大]]

[Kyotae■Tok■[독교대]]

貢献者名を一人一人半角角括弧に囲って記述する。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

(2) 著者位置以外の場所における貢献者名: 推定貢献者名がいるが、作品に記述がなく、疑問も多いという場合

[阿賀沙多菜?]

[S.■E.■Aga?]

[Satana■E.■Aga?]

[S.■E.■Aga■[Satana■Elisabeth]?]&■[S.■E.■Aga■[Satana■Elyse]?]

[Satana■E.■Aga■[Elisabeth]]&■[Satana■E.■Aga■[Elyse]]

[Jiaoda■Du■[基督教大,基督教大?]

[Kyotae■Tok■[독교대,トク・キョデ?]

[Jiaoda■Du■[基督教大?]

[Kyotae■Tok■[독교대]]

貢献者名を一人一人半角角括弧に囲った上で、半角角括弧内の末尾に半角疑問符を記述する。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

(3) 著者位置以外の場所における貢献者名: 確実視されているものの作品自体に記述のない貢献者が複数人いる場合

[阿賀沙多菜], [阿笠田奈], [阿伽紗棚], [伊木七荷], [井岸智荷], [宇楠つぬ]& [宇休須ツヌ]

[S.■E.■Aga], [T.■M.■Akasa], [S.■P.■Aky], [S.■T.■Igi], [C.■S.■M.■Ikishi], [T.■E.■Ukusu]& [T.■A.■Ukyusu]

[Satana■E.■Aga?], [Tana■M.■Akasa?], [Satana■P.■Aky], [Shichini■T.■Igi?], [Chini■S.■M.■Ikishi?], [Tsunu■E.■Ukusu?]& [Tsunu■A.■Ukyusu?]

一括して半角角括弧に囲うのではなく、貢献者名を一人一人半角角括弧に囲って記述する。

(4) 著者位置以外の場所における貢献者名: 作品に記述がなく疑問も多い推定貢献者名が複数いる場合

[阿賀沙多菜?], [阿笠田奈?], [阿伽紗棚?], [伊木七荷?], [井岸智荷?], [宇楠つぬ?]& [宇休須ツヌ?]

S.■E.■Aga?, [T.■M.■Akasa?], [S.■P.■Aky?], [S.■T.■Igi?], [C.■S.■M.■Ikishi?], [T.■E.■Ukusu?]& [T.■A.■Ukyusu?]

[Satana■E.■Aga], [Tana■M.■Akasa], [Satana■P.■Aky], [Shichini■T.■Igi], [Chini■S.■M.■Ikishi], [Tsunu■E.■Ukusu]& [Tsunu■A.■Ukyusu]

一括して半角角括弧に囲うのではなく、貢献者名を一人一人半角角括弧に囲った上で、半角角括弧内の末尾に半角疑問符を記述する。

■著者位置以外の場所の Contribution

各貢献者名には、それぞれ contribution を記述できる。

・著者位置以外の場所においては、

(1) 貢献者全体がすでに半角角括弧に囲われている場合は、その中の

Contribution は半角角括弧に囲わずに記述する。

(2) 貢献者全体が半角角括弧に囲われていない場合は、その中の Contribution は半角角括弧に囲って記述する。

- ・著者位置以外では、各貢献者名はピリオドで終止しないので、当然各 Contribution もピリオドで終止しない。

1) Contribution の兼任

貢献者の中には複数の Contribution を兼任しているものも多い。その場合は、

(1) G. M. Surname (Executive Producer), G. M. Surname (Producer & Director), & G. M. Surname (Writer, Director & Performer)

(2) G. M. Surname, Executive Producer, G. M. Surname, Producer & Director, & G. M. Surname, Writer, Director & Performer

のように記述する。貢献者が複数いる場合は、Contribution も複数形になる点に注意。Ed. は Eds. になるが、Translator の省略形 Trans. は単複同形なので、該当貢献者が複数いても形が変わらない。

2) 複数貢献者による同一 Contribution の共有

複数の貢献者が同一の Contribution を共有している場合もあるが、その場合は同じ Contribution を各々に何度も記述するのではなく、

(1) G. M. Surname, & G. M. Surname (Supervising Eds.), & G. M. Surname, G. M. Surname, & G. M. Surname (Annotators, Eds. & Trans.)

(2) G. M. Surname, & G. M. Surname, Supervising Eds., & G. M. Surname, G. M. Surname, & G. M. Surname, Annotators, Eds. & Trans.

のように、一括して記述する。貢献者が複数いる場合は、Contribution も複数形になる点に注意。Ed. は Eds. になるが、Translator の省略形 Trans. は単複同形なので、該当貢献者が複数いても形が変わらない。

3) 複数貢献者による同一 Contribution の部分的共有

必然的に、完全に同じ Contribution を共有していない場合は上記のようにまとめた記述はできず、

(1) G. M. Surname, & G. M. Surname (Supervising Eds.), G. M. Surname, & G. M. Surname (Annotators, Eds. & Trans.), & G. M. Surname, & G. M. Surname (Annotators & Trans.)

(2) G. M. Surname, & G. M. Surname, Supervising Eds., G. M. Surname, & G. M. Surname, Annotators, Eds. & Trans., & G. M. Surname, & G. M. Surname, Annotators & Trans.

このように、それぞれ別グループとしてまとめる必要がある。

貢献者が複数いる場合は、Contribution も複数形になる点に注意。Ed. は Eds. になるが、Translator の省略形 Trans. は単複同形なので、該当貢献者が複数いても形が変わらない。

※Contribution は、基本的に作品に貢献した人物団体を列挙する場合に、それぞれを差別化するために必要になってくるものである。

そのため、原作者しか貢献者がいない作品の場合には、(Author)という

contribution は記述する必要がない（特に断りのない場合は原作者に決まっているから）。

(3) 論文執筆者個人の所蔵物の場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 . Book in possession of author.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies. Book in possession of author.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies. Book in possession of author.

author の末尾にはピリオドを打つ。

出版元情報のない個人蔵、特に論文執筆者自身が所蔵する作品からの引用は、所蔵が広く知られ、研究されている場合でない限り、信頼性が確保できないため、極力控えるべきであることに注意。

作品の媒体に合わせて Book は Magazine や Series、DVD、Copy などに適宜変える。

(4) アーカイブに所蔵されているものの場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 . CGS 文庫デジタルアーカイブ (call number 000, box number 000, folder number 000, file number 000), 三鷹, 東京.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies. CGS collection digital archive (call number 000, box number 000, folder number 000, file number 000), Mitaka, Tokyo.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies. CGS collection digital archive (call number 000, box number 000, folder number 000, file number 000), Mitaka, Tokyo.

Location の末尾にはピリオドを打つ。

ここでは

(call number, box number, folder number, file number)

の順でナンバーを記述して作品を特定しているが、アーカイブによっては階層管理の方法が違うので、ナンバーは適宜変えて記述すること。

※アーカイブ名として記述していいのは日本語か英語のみで、それ以外の言語圏のアーカイブ名については、公式な英語訳で記述する。

※出版元情報の代替情報の 3) と 4) は、出版元情報だけでは追跡が難しい希少本などの場合に、末尾追加情報で追加的に記述する入手・閲覧先に関する情報とまったく同じものである。

入手・閲覧先に関する情報はこのように、出版元情報が完全でない場合は前倒しでここに充当される。言い換えれば、3) と 4) の記述をここで行った場合は、末尾追加情報では入手・閲覧先に関する情報を記述しない。

3.5 Additional information (末尾追加情報) のバリエーション

末尾追加情報は、ここまでに記述できなかった情報を追加するためのもので、半角丸括弧に囲った形で必要に応じて記述する。

■ 末尾追加情報に記述できるのは、

- ・ Accession number
- ・ Recorded year (録音年・撮影年)
- ・ Master copy information (正本情報)
- ・ Original work information (原本・初版本情報)
- ・ Retrieval/Location information (入手・閲覧先に関する情報)

の5つ。必要なものをこの順に記述し、間は「;」でつなぐ。

3.5.1 Accession number

- 阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 Available from CGS Expert database. (0000000000)
- Ai, U. M. (2003). Center for gender studies. Available from CGS Expert database. (0000000000)
- Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies. Available from CGS Expert database. (0000000000)

データベースやウェブサイトに収録されている引用作品に DOI ナンバーが振られていない場合、引用のための Accession number が振られていることがある。その際は、上記のように末尾追加情報として記述する。Accession number は桁数や記号の挿入など形態はさまざまなので、記載されている通りに記述すること。

3.5.2 Recorded year (録音年・撮影年)

- 阿井上緒. (Composer, Lyricist & Performer). (2003). 『ジェンダー研究センター』 [CD]. Tokyo: CGS Music. (2001)
- Ai, U. M. (Composer, Lyricist & Performer). (2003). Center for gender studies [CD]. Tokyo: CGS Music. (2001)
- Ai, Ueo M. (Composer, Lyricist & Performer). (2003). Center for gender studies [CD]. Tokyo: CGS Music. (2001)

通常は作品の録音・撮影年と出版年は同じになるが、まれに録音年から1～数年たって作品が出版される場合もある。その場合は録音年・撮影年を末尾追加情報に記述する。

録音・撮影に数年かかった場合は
(1990-1995)

のようにハイフンでつないだ形で記述する。

録音・撮影に数年かかった場合で、途中に空白があるような場合は
(1990, 1993-1995)

のように記述する。

3.5.3 Master copy information (正本情報)

引用作品 (の収載巻) が

- ・ Transcription (手書き写本)
- ・ woodblock-copy (覆刻本)
- ・ photocopy (影印本)
- ・ wooden letterpress-copy (木製活版印刷翻刻本)
- ・ Letterpress-copy (翻刻本)
- ・ Reprint (再録・転載)

の場合は、写しの元 (正本) となった作品に関する情報を記述する。

正本に関する情報が不明の場合は、以下のように記述すること。
(Transcribed from unknown transcription)

以下の、特に Transcription (手書き写本)、woodblock-copy (覆刻本)、photocopy (影印本)、wooden letterpress-copy (木製活版印刷翻刻本) はまれであるため、挙げられている例は、記述法としては正しいが、現実には存在しえないケースである場合も多いので注意すること。

1) 写しの元 (正本) が非定期刊行物の 1 巻全体、あるいは複数巻全体の場合
基本的なテンプレートは以下の通り。

(-----ed from 『作品タイトル』, Version-name version, 0th ed., Vols. 0-00, Thesis/Dissertation information, Description, by G. M. Surname Suff., Contribution, YEAR, Location, SA: Publisher)

(-----ed from Work title, Version-name version, 0th ed., Vols. 0-00, Thesis/Dissertation information, Description, by G. M. Surname Suff., Contribution, YEAR, Location, SA: Publisher)

(1) Transcription (手書き写本) の写しの元 (正本) が非定期刊行物の 1 巻全体、あるいは複数巻全体の場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Transcriber) [Transcription]. 東京: CGS 出版. (Transcribed from 『ジェンダー研究センター』, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本, Brochures, by 阿井上緒, Author, 2000, 東京: CGS 出版)

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, Transcriber) [Transcription]. Tokyo: CGS Press. (Transcribed from *Center for gender studies*, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by U. M. Ai, Author, 2000, Tokyo: CGS press)

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Transcriber) [Transcription]. Tokyo: CGS Press. (Transcribed from *Center for gender studies*, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by Ueo M. Ai, Author, 2000, Tokyo: CGS press)

- ・ 上記の要素の中で、必要なものだけを記述する。
- ・ 引用作品補足情報で、Transcriber (主に写本家) の記述がある点に注意。写本家が明らかでない場合は記述しない。

・ G. M. Surname Suff., Contribution, の部分は、正本の貢献者の実態に合わせて、貢献者数や Contribution 数を適宜変更して記述する。貢献者は主要な者だけ記述するようにし、それでも 8 人以上いる場合は、「A, B, C, D, E, F, . . . Z, 」という方式で列挙すること。

(2) Woodblock-copy (覆刻本) の写しの元 (正本) が非定期刊行物の 1 巻全体、あるいは複数巻全体の場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Woodblock-transcriber) [Woodblock-copy]. 東京: CGS 出版. (Woodblock-copied from 『ジェンダー研究センター』, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本, Brochures, by 阿井上緒, Author, 2000, 東京: CGS 出版)

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, Woodblock-transcriber) [Woodblock-copy]. Tokyo: CGS Press. (Woodblock-copied from *Center for gender studies*, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by U. M. Ai, Author, 2000, Tokyo: CGS press)

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Woodblock-transcriber) [Woodblock-copy]. Tokyo: CGS Press. (Woodblock-copied from *Center for gender studies*, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by Ueo M. Ai, Author, 2000, Tokyo: CGS press)

・ 上記の要素の中で、必要なものだけを記述する。

・ 引用作品補足情報で Woodblock-transcriber (主に木版制作者など) の記述がある点に注意。木版制作者が明らかでない場合は記述しない。

・ G. M. Surname Suff., Contribution, の部分は、正本の貢献者の実態に合わせて、貢献者数や Contribution 数を適宜変更して記述する。貢献者は主要な者だけ記述するようにし、それでも 8 人以上いる場合は、「A, B, C, D, E, F, . . . Z, 」という方式で列挙すること。

(3) Photocopy (影印本) の写しの元 (正本) が非定期刊行物の 1 巻全体、あるいは複数巻全体の場合

の写しの元 (正本) が非定期刊行物の場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Photocopy-transcriber) [Photocopy]. 東京: CGS 出版. (Photocopied from 『ジェンダー研究センター』, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本, Brochures, by 阿井上緒, Author, 2000, 東京: CGS 出版)

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, Photocopy-transcriber) [Photocopy]. Tokyo: CGS Press. (Photocopied from *Center for gender studies*, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by U. M. Ai, Author, 2000, Tokyo: CGS press)

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Photocopy-transcriber) [Photocopy]. Tokyo: CGS Press. (Photocopied from *Center for gender studies*, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by Ueo M. Ai, Author, 2000, Tokyo: CGS press)

- ・上記の要素の中で、必要なものだけを記述する。
- ・引用作品補足情報で Photocopy-transcriber（主に印刷技術者など）の記述がある点に注意。印刷技術者が明らかでない場合は記述しない。
- ・G. M. Surname Suff., Contribution, の部分は、正本の貢献者の実態に合わせて、貢献者数や Contribution 数を適宜変更して記述する。貢献者は主要な者だけ記述するようにし、それでも 8 人以上いる場合は、「A, B, C, D, E, F, . . . Z, 」という方式で列挙すること。

(4) Wooden letterpress-copy（木製活版印刷翻刻本）の写しの元（正本）が非定期刊行物の 1 巻全体、あるいは複数巻全体の場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Wooden letterpress-transcriber) [Wooden letterpress-copy]. 東京: CGS 出版. (Wooden letterpress-copied from 『ジェンダー研究センター』, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本, Brochures, by 阿井上緒, Author, 2000, 東京: CGS 出版)

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, Wooden letterpress-transcriber) [Wooden letterpress-copy]. Tokyo: CGS Press. (Wooden letterpress-copied from *Center for gender studies*, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by U. M. Ai, Author, 2000, Tokyo: CGS press)

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Wooden letterpress-transcriber) [Wooden letterpress-copy]. Tokyo: CGS Press. (Wooden letterpress-copied from *Center for gender studies*, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by Ueo M. Ai, Author, 2000, Tokyo: CGS press)

- ・上記の要素の中で、必要なものだけを記述する。
- ・引用作品補足情報で Wooden letterpress-transcriber（主に木製活版印刷技術者など）の記述がある点に注意。木製活版印刷技術者が明らかでない場合は記述しない。
- ・G. M. Surname Suff., Contribution, の部分は、正本の貢献者の実態に合わせて、貢献者数や Contribution 数を適宜変更して記述する。貢献者は主要な者だけ記述するようにし、それでも 8 人以上いる場合は、「A, B, C, D, E, F, . . . Z, 」という方式で列挙すること。

(5) Letterpress-copy（翻刻本）の写しの元（正本）が非定期刊行物の 1 巻全体、あるいは複数巻全体の場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Letterpress-transcriber) [Letterpress-copy]. 東京: CGS 出版.

(Letterpress-copied from 『ジェンダー研究センター』, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本, Brochures, by 阿井上緒, Author, 2000, 東京: CGS 出版)

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, Letterpress-transcriber) [Letterpress-copy]. Tokyo: CGS Press.

(Letterpress-copied from *Center for gender studies*, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by U. M. Ai, Author, 2000, Tokyo: CGS press)

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Letterpress-transcriber) [Letterpress-copy]. Tokyo: CGS Press.

(Letterpress-copied from *Center for gender studies*, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by Ueo M. Ai, Author, 2000, Tokyo: CGS press)

- ・上記の要素の中で、必要なものだけを記述する。
- ・引用作品補足情報で Letterpress-transcriber（主に活版印刷技術者など）の記述がある点に注意。活版印刷技術者が明らかでない場合は記述しない。
- ・ G. M. Surname Suff., Contribution, の部分は、正本の貢献者の実態に合わせて、貢献者数や Contribution 数を適宜変更して記述する。貢献者は主要な者だけ記述するようにし、それでも 8 人以上いる場合は、「A, B, C, D, E, F, . . . Z, 」という方式で列挙すること。

(6) Reprint（再録・転載）の写しの元（正本）が非定期刊行物の 1 巻全体、あるいは複数巻全体の場合

阿井上緒 (2003). 『ジェンダー研究センター』 (Reprinted version). 東京: CGS 出版. (Reprinted from 『ジェンダー研究センター』, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本, Brochures, by 阿井上緒, Author, 2000, 東京: CGS 出版)

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (Reprinted version). Tokyo: CGS Press. (Reprinted from *Center for gender studies*, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by U. M. Ai, Author, 2000, Tokyo: CGS press)

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Reprinted version). Tokyo: CGS Press. (Reprinted from *Center for gender studies*, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by Ueo M. Ai, Author, 2000, Tokyo: CGS press)

- ・上記の要素の中で、必要なものだけを記述する。
- ・ G. M. Surname Suff., Contribution, の部分は、正本の貢献者の実態に合わせて、貢献者数や Contribution 数を適宜変更して記述する。貢献者は主要な者だけ記述するようにし、それでも 8 人以上いる場合は、「A, B, C, D, E, F, . . . Z, 」という方式で列挙すること。

2) 写しの元（正本）が非定期刊行物中に、その一部として（巻を別立てせずに）記載されたものである場合

基本的なテンプレートは以下の通り。

(-----ed from 「章・記事タイトル」, Version-name version, 0th ed., Vols. 0-00, Thesis/Dissertation information, Description, by G. M. Surname Suff., Contribution, in 『記載巻タイトル』, Version-name version, 0th ed., Vols. 0-00, pp. 00-00, Description, by G. M. Surname Suff., Contribution, YEAR, Location, SA: Publisher)

(-----ed from “Chapter/Article title,” Version-name version, 0th ed., Vols. 0-00, Thesis/Dissertation information, Description, by G. M. Surname Suff., Contribution, in *Whole work title*, Version-name version, 0th ed., Vols. 0-00, pp. 00-00, Description, by G. M. Surname Suff., Contribution, YEAR, Location, SA: Publisher)

英語の場合の Chapter/Article を、普通の References での記述と違ってコーテーションマークで囲む点に注意。

記載巻情報は in で始まるが、記載巻が Tape、CD、DVD などの記憶媒体収録物の場合は on で始まる点に注意。

(1) Transcription（手書き写本）の写しの元（正本）が非定期刊行物中に、その一部として（巻を別立てせずに）記載されたものである場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Transcriber) [Transcription]. 東京: CGS 出版. (Transcribed from 「ジェンダー研究センター」, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本, Brochures, by 阿井上緒, Author, in 『ICU の研究所』, 2000-year version, 2nd ed., Vol. 2, pp. 15-100, Bound brochures, by 阿賀沙多菜, Ed., 2000, 東京: CGS 出版)

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, Transcriber) [Transcription]. Tokyo: CGS Press. (Transcribed from “Center for gender studies,” 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by U. M. Ai, Author, in *Research institutes of ICU*, 2000-year version, 2nd ed., Vol. 2, pp. 15-100, Bound brochures, by S. E. Aga, Ed., 2000, Tokyo: CGS press)

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Transcriber) [Transcription]. Tokyo: CGS Press. (Transcribed from “Center for gender studies,” 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by Ueo M. Ai, Author, in *Research institutes of ICU*, 2000-year version, 2nd ed., Vol. 2, pp. 15-100, Bound brochures, by Satana E. Aga, Ed., 2000, Tokyo: CGS press)

・上記の要素の中で、必要なものだけを記述する。

・引用作品補足情報で Transcriber（主に写本家）の記述がある点に注意。写本家が明らかでない場合は記述しない。

・ 収載巻情報は in で始まるが、収載巻が Tape、CD、DVD などの記憶媒体収録物の場合は on で始まる点に注意。

・ ページ数 (pp. 00-00,) の部分は、ページ数のない作品ではチャプター番号 (chaps. 00-00,) やパラグラフ番号 (paras. 00-00,) で代える。

・ Vol(s)、p(p)、chap(s)、para(s)、各貢献者の Contribution、Description は必要に応じて単数形・複数形を切り替える。

・ G. M. Surname Suff., Contribution, の部分は、正本の貢献者の実態に合わせて、貢献者数や Contribution 数を適宜変更して記述する。貢献者は主要な者だけ記述するようにし、それでも 8 人以上いる場合は、「A, B, C, D, E, F, . . . Z, 」という方式で列挙すること。

(2) Woodblock-copy (覆刻本) の写しの元 (正本) が非定期刊行物中に、その一部として (巻を別立てせずに) 収載されたものである場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Woodblock-transcriber) [Woodblock-copy]. 東京: CGS 出版. (Woodblock-copied from 「ジェンダー研究センター」, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本, Brochures, by 阿井上緒, Author, in 『ICU の研究所』, 2000-year version, 2nd ed., Vol. 2, pp. 15-100, Bound brochures, by 阿賀沙多菜, Ed., 2000, 東京: CGS 出版)

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, Woodblock-transcriber) [Woodblock-copy]. Tokyo: CGS Press. (Woodblock-copied from “Center for gender studies,” 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by U. M. Ai, Author, in *Research institutes of ICU*, 2000-year version, 2nd ed., Vol. 2, pp. 15-100, Bound brochures, by S. E. Aga, Ed., 2000, Tokyo: CGS press)

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Woodblock-transcriber) [Woodblock-copy]. Tokyo: CGS Press. (Woodblock-copied from “Center for gender studies,” 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by Ueo M. Ai, Author, in *Research institutes of ICU*, 2000-year version, 2nd ed., Vol. 2, pp. 15-100, Bound brochures, by Satana E. Aga, Ed., 2000, Tokyo: CGS press)

・ 上記の要素の中で、必要なものだけを記述する。

・ 引用作品補足情報で Woodblock-transcriber (主に木版制作者など) の記述がある点に注意。木版制作者が明らかでない場合は記述しない。

・ 収載巻情報は in で始まるが、収載巻が Tape、CD、DVD などの記憶媒体収録物の場合は on で始まる点に注意。

・ ページ数 (pp. 00-00,) の部分は、ページ数のない作品ではチャプター番号 (chaps. 00-00,) やパラグラフ番号 (paras. 00-00,) で代える。

・ Vol(s)、p(p)、chap(s)、para(s)、各貢献者の Contribution、Description は必要に応じて単数形・複数形を切り替える。

・ G. M. Surname Suff., Contribution, の部分は、正本の貢献者の実態に合わせて、貢献者数や Contribution 数を適宜変更して記述する。貢献者は主要な者だけ記述するようにし、それでも 8 人以上いる場合は、「A, B, C, D, E, F, . . . Z, 」という方式で列挙すること。

(3) Photocopy (影印本) の写しの元 (正本) が非定期刊行物中に、その一部として (巻を別立てせずに) 掲載されたものである場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Photocopy-transcriber) [Photocopy]. 東京: CGS 出版. (Photocopied from 「ジェンダー研究センター」, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本, Brochures, by 阿井上緒, Author, in 『ICU の研究所』, 2000-year version, 2nd ed., Vol. 2, pp. 15-100, Bound brochures, by 阿賀沙多菜, Ed., 2000, 東京: CGS 出版)

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, Photocopy-transcriber) [Photocopy]. Tokyo: CGS Press. (Photocopied from “Center for gender studies,” 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by U. M. Ai, Author, in *Research institutes of ICU*, 2000-year version, 2nd ed., Vol. 2, pp. 15-100, Bound brochures, by S. E. Aga, Ed., 2000, Tokyo: CGS press)

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Photocopy-transcriber) [Photocopy]. Tokyo: CGS Press. (Photocopied from “Center for gender studies,” 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by Ueo M. Ai, Author, in *Research institutes of ICU*, 2000-year version, 2nd ed., Vol. 2, pp. 15-100, Bound brochures, by S. Satana E. Aga, Ed., 2000, Tokyo: CGS press)

・ 上記の要素の中で、必要なものだけを記述する。
・ 引用作品補足情報で Photocopy-transcriber (主に印刷技術者など) の記述がある点に注意。印刷技術者が明らかでない場合は記述しない。

・ **収録巻情報は in で始まるが、収録巻が Tape, CD, DVD などの記憶媒体収録物の場合は on で始まる点に注意。**

・ ページ数 (pp. 00-00,) の部分は、ページ数のない作品ではチャプター番号 (chaps. 00-00,) やパラグラフ番号 (paras. 00-00,) で代える。

・ Vol(s)、p(p)、chap(s)、para(s)、各貢献者の Contribution、Description は必要に応じて単数形・複数形を切り替える。

・ G. M. Surname Suff., Contribution, の部分は、正本の貢献者の実態に合わせて、貢献者数や Contribution 数を適宜変更して記述する。貢献者は主要な者だけ記述するようにし、それでも 8 人以上いる場合は、「A, B, C, D, E, F, . . . Z, 」という方式で列挙すること。

(4) Wooden letterpress-copy (木製活版印刷翻刻本) の写しの元 (正本) が非定期刊行物中に、その一部として (巻を別立てせずに) 掲載されたものである場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Wooden letterpress-transcriber) [Wooden letterpress-copy]. 東京: CGS 出版. (Wooden letterpress-copied from 「ジェンダー研究センター」, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本, Brochures, by 阿井上緒, Author, in 『ICU の研究所』, 2000-year version, 2nd ed., Vol. 2, pp. 15-100, Bound brochures, by 阿賀沙多菜, Ed., 2000, 東京: CGS 出版)

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, Wooden letterpress-transcriber) [Wooden letterpress-copy]. Tokyo: CGS Press. (Wooden letterpress-copied from “Center for gender studies,” 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by U. M. Ai, Author, in *Research institutes of ICU*, 2000-year version, 2nd ed., Vol. 2, pp. 15-100, Bound brochures, by S. E. Aga, Ed., 2000, Tokyo: CGS press)

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Wooden letterpress-transcriber) [Wooden letterpress-copy]. Tokyo: CGS Press. (Wooden letterpress-copied from “Center for gender studies,” 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by Ueo M. Ai, Author, in *Research institutes of ICU*, 2000-year version, 2nd ed., Vol. 2, pp. 15-100, Bound brochures, by Satana E. Aga, Ed., 2000, Tokyo: CGS press)

・上記の要素の中で、必要なものだけを記述する。

・引用作品補足情報で Wooden letterpress-transcriber（主に木版活版印刷技術者など）の記述がある点に注意。木版活版印刷技術者が明らかでない場合は記述しない。

・**収録巻情報は in で始まるが、収録巻が Tape、CD、DVD などの記憶媒体収録物の場合は on で始まる点に注意。**

・ページ数 (pp. 00-00,) の部分は、ページ数のない作品ではチャプター番号 (chaps. 00-00,) やパラグラフ番号 (paras. 00-00,) で代える。

・Vol(s), p(p), chap(s), para(s)、各貢献者の Contribution、Description は必要に応じて単数形・複数形を切り替える。

・G. M. Surname Suff., Contribution, の部分は、正本の貢献者の実態に合わせて、貢献者数や Contribution 数を適宜変更して記述する。貢献者は主要な者だけ記述するようにし、それでも 8 人以上いる場合は、「A, B, C, D, E, F, . . . Z, 」という方式で列挙すること。

(5) Letterpress-copy（翻刻本）の写しの元（正本）が非定期刊行物中に、その一部として（巻を別立てせずに）収録されたものである場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Letterpress-transcriber) [Letterpress-copy]. 東京: CGS 出版. (Letterpress-copied from 「ジェンダー研究センター」, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本, Brochures, by 阿井上緒, Author, in 『ICU の研究所』, 2000-year version,

2nd ed., Vol. 2, pp. 15-100, Bound brochures, by 阿賀沙多菜, Ed., 2000, 東京: CGS 出版)

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, Letterpress-transcriber) [Letterpress-copy]. Tokyo: CGS Press. (Letterpress-copied from "Center for gender studies," 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by U. M. Ai, Author, in *Research institutes of ICU*, 2000-year version, 2nd ed., Vol. 2, pp. 15-100, Bound brochures, by S. E. Aga, Ed., 2000, Tokyo: CGS press)

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Letterpress-transcriber) [Letterpress-copy]. Tokyo: CGS Press. (Letterpress-copied from "Center for gender studies," 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by Ueo M. Ai, Author, in *Research institutes of ICU*, 2000-year version, 2nd ed., Vol. 2, pp. 15-100, Bound brochures, by Satana E. Aga, Ed., 2000, Tokyo: CGS press)

- ・上記の要素の中で、必要なものだけを記述する。
- ・引用作品補足情報で Letterpress-transcriber（主に活版印刷技術者など）の記述がある点に注意。活版印刷技術者が明らかでない場合は記述しない。
- ・**掲載巻情報は in で始まるが、掲載巻が Tape、CD、DVD などの記憶媒体収録物の場合は on で始まる点に注意。**
- ・ページ数 (pp. 00-00,) の部分は、ページ数のない作品ではチャプター番号 (chaps. 00-00,) やパラグラフ番号 (paras. 00-00,) で代える。
- ・Vol(s)、p(p)、chap(s)、para(s)、各貢献者の Contribution、Description は必要に応じて単数形・複数形を切り替える。
- ・G. M. Surname Suff., Contribution, の部分は、正本の貢献者の実態に合わせて、貢献者数や Contribution 数を適宜変更して記述する。貢献者は主要な者だけ記述するようにし、それでも 8 人以上いる場合は、「A, B, C, D, E, F, . . . Z, 」という方式で列挙すること。

(6) Reprint（再録・転載）の写しの元（正本）が非定期刊行物中に、その一部として（巻を別立てせずに）掲載されたものである場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (Reprinted version). 東京: CGS 出版. (Reprinted from 「ジェンダー研究センター」 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本, Brochures, by 阿井上緒, Author, in 『ICU の研究所』, 2000-year version, 2nd ed., Vol. 2, pp. 15-100, Bound brochures, by 阿賀沙多菜, Ed., 2000, 東京: CGS 出版)

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (Reprinted version). Tokyo: CGS Press. (Reprinted from "Center for gender studies," 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by U. M. Ai, Author, in *Research institutes of ICU*, 2000-year version, 2nd ed., Vol. 2, pp.

15-100, Bound brochures, by S. E. Aga, Ed., 2000, Tokyo: CGS press)

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Reprinted version). Tokyo: CGS Press. (Reprinted from "Center for gender studies," 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by Ueo M. Ai, Author, in *Research institutes of ICU*, 2000-year version, 2nd ed., Vol. 2, pp. 15-100, Bound brochures, by Satana E. Aga, Ed., 2000, Tokyo: CGS press)

- ・上記の要素の中で、必要なものだけを記述する。
- ・**掲載巻情報は in で始まるが、掲載巻が Tape、CD、DVD などの記憶媒体収録物の場合は on で始まる点に注意。**
- ・ページ数 (pp. 00-00,) の部分は、ページ数のない作品ではチャプター番号 (chaps. 00-00,) やパラグラフ番号 (paras. 00-00,) で代える。
- ・Vol(s), p(p), chap(s), para(s)、各貢献者の Contribution、Description は必要に応じて単数形・複数形を切り替える。
- ・G. M. Surname Suff., Contribution, の部分は、正本の貢献者の実態に合わせて、貢献者数や Contribution 数を適宜変更して記述する。貢献者は主要な者だけ記述するようにし、それでも 8 人以上いる場合は、「A, B, C, D, E, F, . . . Z, 」という方式で列挙すること。

3) 写しの元 (正本) が定期刊行物に収録されている場合 基本的なテンプレートは以下の通り。

(-----ed from 「章・記事タイトル」, Thesis/Dissertation information, Description, 『収録巻タイトル』, 00(00)-00(00), 00-00, Description, by G. M. Surname Suff., Contribution, YEAR)

(-----ed from "Chapter/Article title," Thesis/Dissertation information, Description, *Whole work title*, 00(00)-00(00), 00-00, Description, by G. M. Surname Suff., Contribution, YEAR)

英語の場合の Chapter/Article を、普通の References での記述と違ってコーテーションマークで囲む点に注意。

(1) Transcription (手書き写本) の写しの元 (正本) が定期刊行物に収録されている場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Transcriber) [Transcription]. 東京: CGS 出版. (Transcribed from "「ジェンダー研究センター」," Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本, 『ICU の研究所』, 36(1), 55-110, Special issue, by 阿井上緒, Author, 2000)

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, Transcriber) [Transcription]. Tokyo: CGS Press. (Transcribed from "Center for gender studies," Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, *Research institutes of ICU*, 36(1), 55-110, Special issue, by U. M. Ai, Author, 2000)

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Transcriber) [Transcription]. Tokyo: CGS Press. (Transcribed from

“Center for gender studies,” Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, *Research institutes of ICU*, 36(1), 55-110, Special issue, by Ueo M. Ai, Author, 2000)

- ・上記の要素の中で、必要なものだけを記述する。
- ・引用作品補足情報で Transcriber（主に写本家）の記述がある点に注意。写本家が明らかでない場合は記述しない。
- ・00(00)-00(00)の部分は、一巻が複数号に分かれて発行されている場合に、巻数(号数)のように記述するためのもの。
- ・続く 00-00 の部分はページ数。定期刊行物では pp. を記述しないことに注意。ページ数のない作品ではチャプター番号 (chaps. 00-00,) やパラグラフ番号 (paras. 00-00,) で代える。
- ・G. M. Surname Suff., Contribution, の部分は、正本の貢献者の実態に合わせて、貢献者数や Contribution 数を適宜変更して記述する。貢献者は主要な者だけ記述するようにし、それでも 8 人以上いる場合は、「A, B, C, D, E, F, . . . Z, 」という方式で列挙すること。

(2) Woodblock-copy（覆刻本）の写しの元（正本）が定期刊行物に収録されている場合

- 阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Woodblock-transcriber) [Woodblock-copy]. 東京: CGS 出版. (Woodblock-copied from 「ジェンダー研究センター」, Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本, 『ICU の研究所』, 36(1), 55-110, Special issue, by 阿井上緒, Author, 2000)
- Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, Woodblock-transcriber) [Woodblock-copy]. Tokyo: CGS Press. (Woodblock-copied from “Center for gender studies,” Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, *Research institutes of ICU*, 36(1), 55-110, Special issue, by U. M. Ai, Author, 2000)
- Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Woodblock-transcriber) [Woodblock-copy]. Tokyo: CGS Press. (Woodblock-copied from “Center for gender studies,” Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, *Research institutes of ICU*, 36(1), 55-110, Special issue, by Ueo M. Ai, Author, 2000)

- ・上記の要素の中で、必要なものだけを記述する。
- ・引用作品補足情報で Woodblock-transcriber（主に木版制作者など）の記述がある点に注意。木版制作者が明らかでない場合は記述しない。
- ・00(00)-00(00)の部分は、一巻が複数号に分かれて発行されている場合に、巻数(号数)のように記述するためのもの。
- ・続く 00-00 の部分はページ数。定期刊行物では pp. を記述しないことに注意。ページ数のない作品ではチャプター番号 (chaps. 00-00,) やパラグラフ番号 (paras. 00-00,) で代える。
- ・G. M. Surname Suff., Contribution, の部分は、正本の貢献者の実態に合わせて、貢献者数や Contribution 数を適宜変更して記述する。貢献者は主要な者だけ

記述するようにし、それでも 8 人以上いる場合は、「A, B, C, D, E, F, . . . Z,」という方式で列挙すること。

(3) Photocopy (影印本) の写しの元 (正本) が定期刊行物に収録されている場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Photocopy-transcriber) [Photocopy]. 東京: CGS 出版. (Photocopied from 「ジェンダー研究センター」, Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本, 『ICU の研究所』, 36(1), 55-110, Special issue, by 阿井上緒, Author, 2000)

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, Photocopy-transcriber) [Photocopy]. Tokyo: CGS Press. (Photocopied from “Center for gender studies,” Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, *Research institutes of ICU*, 36(1), 55-110, Special issue, by U. M. Ai, Author, 2000)

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Photocopy-transcriber) [Photocopy]. Tokyo: CGS Press. (Photocopied from “Center for gender studies,” Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, *Research institutes of ICU*, 36(1), 55-110, Special issue, by Ueo M. Ai, Author, 2000)

- ・上記の要素の中で、必要なものだけを記述する。
- ・引用作品補足情報で Photocopy-transcriber (主にも印刷技術者者など) の記述がある点に注意。印刷技術者が明らかでない場合は記述しない。
- ・00(00)-00(00)の部分は、一巻が複数号に分かれて発行されている場合に、巻数(号数)のように記述するためのもの。
- ・続く 00-00 の部分はページ数。定期刊行物では pp. を記述しないことに注意。ページ数のない作品ではチャプター番号 (chaps. 00-00,) やパラグラフ番号 (paras. 00-00,) で代える。
- ・G. M. Surname Suff., Contribution, の部分は、正本の貢献者の実態に合わせて、貢献者数や Contribution 数を適宜変更して記述する。貢献者は主要な者だけ記述するようにし、それでも 8 人以上いる場合は、「A, B, C, D, E, F, . . . Z,」という方式で列挙すること。

(4) Wooden letterpress-copy (木製活版印刷翻刻本) の写しの元 (正本) が定期刊行物に収録されている場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Wooden letterpress-transcriber) [Wooden letterpress-copy]. 東京: CGS 出版. (Wooden letterpress-copied from 「ジェンダー研究センター」, Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本, 『ICU の研究所』, 36(1), 55-110, Special issue, by 阿井上緒, Author, 2000)

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, Wooden letterpress-transcriber) [Wooden letterpress-copy]. Tokyo: CGS Press. (Wooden letterpress-copied from “Center for gender studies,” Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, *Research institutes of ICU*, 36(1), 55-110, Special issue, by U. M. Ai, Author, 2000)

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Wooden letterpress-transcriber) [Wooden letterpress-copy]. Tokyo: CGS Press. (Wooden letterpress-copied from "Center for gender studies," Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, *Research institutes of ICU*, 36(1), 55-110, Special issue, by Ueo M. Ai, Author, 2000)

- ・上記の要素の中で、必要なものだけを記述する。
- ・引用作品補足情報で Wooden letterpress-transcriber（主に木製活版印刷技術者など）の記述がある点に注意。木製活版印刷技術者が明らかでない場合は記述しない。
- ・00(00)-00(00)の部分は、一巻が複数号に分かれて発行されている場合に、巻数(号数)のように記述するためのもの。
- ・続く 00-00 の部分はページ数。定期刊行物では pp. を記述しないことに注意。ページ数のない作品ではチャプター番号 (chaps. 00-00,) やパラグラフ番号 (paras. 00-00,) で代える。
- ・G. M. Surname Suff., Contribution, の部分は、正本の貢献者の実態に合わせて、貢献者数や Contribution 数を適宜変更して記述する。貢献者は主要な者だけ記述するようにし、それでも 8 人以上いる場合は、「A, B, C, D, E, F, . . . Z, 」という方式で列挙すること。

(5) Letterpress-copy（翻刻本）の写しの元（正本）が定期刊行物に収録されている場合

阿井上緒 (2003). 『ジェンダー研究センター』 (阿賀沙多菜, Letterpress-transcriber) [Wooden letterpress-copy]. 東京: CGS 出版. (Letterpress-copied from 「ジェンダー研究センター」, Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本, 『ICU の研究所』, 36(1), 55-110, Special issue, by 阿井上緒, Author, 2000)

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (S. E. Aga, Letterpress-transcriber) [Letterpress-copy]. Tokyo: CGS Press. (Letterpress-copied from "Center for gender studies," Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, *Research institutes of ICU*, 36(1), 55-110, Special issue, by U. M. Ai, Author, 2000)

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Satana E. Aga, Letterpress-transcriber) [Letterpress-copy]. Tokyo: CGS Press. (Letterpress-copied from "Center for gender studies," Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, *Research institutes of ICU*, 36(1), 55-110, Special issue, by Ueo M. Ai, Author, 2000)

- ・上記の要素の中で、必要なものだけを記述する。
- ・引用作品補足情報で Letterpress-transcriber（主に活版印刷技術者など）の記述がある点に注意。活版印刷技術者が明らかでない場合は記述しない。
- ・00(00)-00(00)の部分は、一巻が複数号に分かれて発行されている場合に、巻数(号数)のように記述するためのもの。

- ・続く 00-00 の部分はページ数。定期刊行物では pp. ■ を記述しないことに注意。ページ数のない作品ではチャプター番号 (chaps. ■00-00, ■) やパラグラフ番号 (paras. ■00-00, ■) で代える。
- ・ G. ■ M. ■ Surname ■ Suff., ■ Contribution, ■ の部分は、正本の貢献者の実態に合わせて、貢献者数や Contribution 数を適宜変更して記述する。貢献者は主要な者だけ記述するようにし、それでも 8 人以上いる場合は、「A, ■ B, ■ C, ■ D, ■ E, ■ F, ■ . . . ■ Z, ■」という方式で列挙すること。

(6) Reprint (再録・転載) の写しの元 (正本) が定期刊行物に収載されている場合

- 阿井上緒. ■ (2003). ■ 『ジェンダー研究センター』 ■ (Reprinted ■ version). ■ 東京: ■ CGS 出版. ■ (Reprinted ■ from ■ 「ジェンダー研究センター」, ■ Doctoral ■ Dissertation, ■ 国際基督教大学, ■ 東京, ■ 日本, ■ 『ICU の研究所』, ■ 36(1), ■ 55-110, ■ Special ■ issue, ■ by ■ 阿井上緒, ■ Author, ■ 2000)
- Ai, ■ U. ■ M. ■ (2003). ■ *Center for gender studies* ■ (Reprinted ■ version). ■ Tokyo: ■ CGS ■ Press. ■ (Reprinted ■ from ■ “Center for gender studies,” ■ Doctoral ■ Dissertation, ■ International ■ Christian ■ University, ■ Tokyo, ■ Japan, ■ *Research institutes of ICU*, ■ 36(1), ■ 55-110, ■ Special ■ issue, ■ by ■ U. ■ M. ■ Ai, ■ Author, ■ 2000)
- Ai, ■ Ueo ■ M. ■ (2003). ■ *Center for gender studies* ■ (Reprinted ■ version). ■ Tokyo: ■ CGS ■ Press. ■ (Reprinted ■ from ■ “Center for gender studies,” ■ Doctoral ■ Dissertation, ■ International ■ Christian ■ University, ■ Tokyo, ■ Japan, ■ *Research institutes of ICU*, ■ 36(1), ■ 55-110, ■ Special ■ issue, ■ by ■ Ueo ■ M. ■ Ai, ■ Author, ■ 2000)

- ・上記の要素の中で、必要なものだけを記述する。
- ・ 00(00)-00(00)の部分は、一巻が複数号に分かれて発行されている場合に、巻数(号数)のように記述するためのもの。
- ・続く 00-00 の部分はページ数。定期刊行物では pp. ■ を記述しないことに注意。ページ数のない作品ではチャプター番号 (chaps. ■00-00, ■) やパラグラフ番号 (paras. ■00-00, ■) で代える。
- ・ G. ■ M. ■ Surname ■ Suff., ■ Contribution, ■ の部分は、正本の貢献者の実態に合わせて、貢献者数や Contribution 数を適宜変更して記述する。貢献者は主要な者だけ記述するようにし、それでも 8 人以上いる場合は、「A, ■ B, ■ C, ■ D, ■ E, ■ F, ■ . . . ■ Z, ■」という方式で列挙すること。

3.5.4 Original work information (原本・初版本情報)

引用作品 (の収載巻) が改訂版や翻訳版である場合は、改訂や翻訳の元となった原語版の原本・初版本に関する情報を記述する。具体的には、それぞれ以下のテンプレート中の必要な部分だけ記述する。

原本・初版本に関する情報が不明の場合は、以下のように記述すること。
(Original ■ work ■ unknown)

- 1) 原本・初版本が非定期刊行物の 1 巻全体、あるいは複数巻全体の場合基本的なテンプレートは以下の通り。

(Original work published YEAR, 『作品タイトル』, Version-name version, 0th ed., Vols. 0-00, Thesis/Dissertation information, Description, by G. M. Surname Suff., Contribution, Location: Publisher)

(Original work published YEAR, Work title, Version-name version, 0th ed., Vols. 0-00, Thesis/Dissertation information, Description, by G. M. Surname Suff., Contribution, Location: Publisher)

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (Rev. ed). 東京: CGS 出版.
(Original work published 2000, 『ジェンダー研究センター』, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本, Brochures, by 阿井上緒, Author, 東京: CGS 出版)

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (Rev. ed). Tokyo: CGS Press. (Original work published 2000, *Center for gender studies*, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by U. M. Ai, Author, Tokyo: CGS press)

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Rev. ed). Tokyo: CGS Press. (Original work published 2000, *Center for gender studies*, 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by Ueo M. Ai, Author, Tokyo: CGS press)

・上記の要素の中で、必要なものだけを記述する。

・ G. M. Surname Suff., Contribution, の部分は、正本の貢献者の実態に合わせて、貢献者数や Contribution 数を適宜変更して記述する。貢献者は主要な者だけ記述するようにし、それでも 8 人以上いる場合は、「A, B, C, D, E, F, . . . Z, 」という方式で列挙すること。

2) 原本・初版本が非定期刊行物中に、その一部として（巻を別立てせずに）収載されたものである場合

基本的なテンプレートは以下の通り。

(Original work published YEAR, 「章・記事タイトル」, Version-name version, 0th ed., Vols. 0-00, Thesis/Dissertation information, Description, by G. M. Surname Suff., Contribution, in 『収載巻タイトル』, Version-name version, 0th ed., Vols. 0-00, pp. 00-00, Description, by G. M. Surname Suff., Contribution, Location: Publisher)

(Original work published YEAR, “Chapter/Article title,” Version-name version, 0th ed., Vols. 0-00, Thesis/Dissertation information, Description, by G. M. Surname Suff., Contribution, in *Whole work title*, Version-name version, 0th ed., Vols. 0-00, pp. 00-00, Description, by G. M. Surname Suff., Contribution, Location: Publisher)

英語の場合の Chapter/Article を、普通の References での記述と違ってコーテーションマークで囲む点に注意。

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (Rev. ed). 東京: CGS 出版.
(Original work published 2000, 「ジェンダー研究センター」, 1999-year

version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本, Brochures, by 阿井上緒, Author, in 『ICU の研究所』, 2000-year version, 2nd ed., Vol. 2, pp. 15-100, Bound brochures, by 阿賀沙多菜, Ed., 東京: CGS 出版)

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (Rev. ed). Tokyo: CGS Press. (Original work published 2000, "Center for gender studies," 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by U. M. Ai, Author, in *Research institutes of ICU*, 2000-year version, 2nd ed., Vol. 2, pp. 15-100, Bound brochures, by S. E. Aga, Ed., Tokyo: CGS press)

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies* (Rev. ed). Tokyo: CGS Press. (Original work published 2000, "Center for gender studies," 1999-year version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Brochures, by Ueo M. Ai, Author, in *Research institutes of ICU*, 2000-year version, 2nd ed., Vol. 2, pp. 15-100, Bound brochures, by Satana E. Aga, Ed., Tokyo: CGS press)

- ・上記の要素の中で、必要なものを記述する。
- ・**掲載巻情報は in で始まるが、掲載巻が Tape、CD、DVD などの記憶媒体収録物の場合は on で始まる点に注意。**
- ・ページ数 (pp. 00-00,) の部分は、ページ数のない作品ではチャプター番号 (chaps. 00-00,) やパラグラフ番号 (paras. 00-00,) で代える。
- ・Vol(s)、p(p)、chap(s)、para(s)、各貢献者の Contribution、Description は必要に応じて単数形・複数形を切り替える。
- ・G. M. Surname Suff., Contribution, の部分は、正本の貢献者の実態に合わせて、貢献者数や Contribution 数を適宜変更して記述する。貢献者は主要な者だけ記述するようにし、それでも 8 人以上いる場合は、「A, B, C, D, E, F, . . . Z, 」という方式で列挙すること。

3) 原本・初版本が定期刊行物に収録されている場合

基本的なテンプレートは以下の通り。

(Original work published YEAR, 「章・記事タイトル」, Thesis/Dissertation information, 『掲載巻タイトル』, 00(00)-00(00), 00-00, Description, by G. M. Surname Suff., Contribution)

(Original work published YEAR, "Chapter/Article title," Thesis/Dissertation information, *Whole work title*, 00(00)-00(00), 00-00, Description, by G. M. Surname Suff., Contribution)

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』 (Rev. ed). 東京: CGS 出版. (Original work published 2000, 「ジェンダー研究センター」, Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本, 『ICU の研究所』, 36(1), 55-110, Special issue, by 阿井上緒, Author)

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies* (Rev. ed). Tokyo: CGS Press. (Original work published 2000, "Center for gender studies," Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan,

Research institutes of ICU, 36(1), 55-110, Special issue, by U. M. Ai, Author)

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (Rev. ed). Tokyo: CGS Press. (Original work published 2000, "Center for gender studies," Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan, Research institutes of ICU, 36(1), 55-110, Special issue, by Ueo M. Ai, Author)

- ・以下の要素の中で、必要なものを記述する。
- ・00(00)-00(00)の部分は、一巻が複数号に分かれて発行されている場合に、巻数(号数)のように記述するためのもの。
- ・続く 00-00 の部分はページ数。定期刊行物では pp. を記述しないことに注意。ページ数のない作品ではチャプター番号 (chaps. 00-00,) やパラグラフ番号 (paras. 00-00,) で代える。
- ・G. M. Surname Suff., Contribution, の部分は、正本の貢献者の実態に合わせて、貢献者数や Contribution 数を適宜変更して記述する。貢献者は主要な者だけ記述するようにし、それでも 8 人以上いる場合は、「A, B, C, D, E, F, . . . Z, 」という方式で列挙すること。

3.5.5 Retrieval/Location information (入手・閲覧先に関する情報)

引用作品 (の収載巻) が

- ・オンライン版もある場合
- ・希少な作品を所蔵機関に直接赴いて閲覧した場合

などの場合は、出版元情報があっても、この末尾追加情報で「入手・閲覧先に関する情報」を追加的に記述する。

出版元情報がない場合に、入手・閲覧先に関する情報が出版元情報の代替情報ですでに記述されている場合もある。その場合はここに入手・閲覧先に関する情報を繰り返し記述しないことに注意。

1) 引用作品にオンライン版もある場合 (紙媒体版の入手が容易である場合は、この記述は任意)

(1) DOI ナンバーが振られているデータも閲覧可能な場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版. (doi:00000/000-000000)

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies. Tokyo: CGS Press. (doi:00000/000-000000)

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies. Tokyo: CGS Press. (doi:00000/000-000000)

DOI ナンバーのコロンの前後にスペースは入れない。DOI ナンバーの末尾にピリオドもなし。末尾追加情報の半角丸括弧にもピリオドなし。

(2) 無料のデータベースからも閲覧可能な場合 (doi ナンバーが振られていない場合)

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版. (Retrieved from CGS Expert database, 00000000000000)
Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press. (Retrieved from CGS Expert database, 00000000000000)
Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press. (Retrieved from CGS Expert database, 00000000000000)

DOI ナンバーの振られていない作品を、CGS Expert という名称のデータベースから無料で閲覧することができる場合の記述は上記のようになる。無料の場合には出版元情報の代替情報は Retrieved で始まる。

database の後にはピリオドを打たない。

データベースのデータに Accession number が振られている場合は、カンマを置いて Accession number を追記する。Accession number の末尾にはピリオドを打たない。

末尾追加情報の半角丸括弧にはピリオドなし。

(3) 有料あるいは会員制のデータベースからも閲覧可能な場合 (doi ナンバーが振られていない場合)

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版. (Available from CGS Expert database, 00000000000000)
Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press. (Available from CGS Expert database, 00000000000000)
Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press. (Available from CGS Expert database, 00000000000000)

DOI ナンバーの振られていない作品を、CGS Expert という名称のデータベースから会員となって、または有料で閲覧することができる場合の記述は上記のようになる。会員制・有料の場合は出版元情報の代替情報は Available で始まる。

database の後にはピリオドを打たない。

データベースのデータに Accession number が振られている場合は、カンマを置いて Accession number を追記する。Accession number の末尾にはピリオドを打たない。

末尾追加情報の半角丸括弧にはピリオドなし。

(4) ウェブサイトからも無料で閲覧可能な場合 (doi ナンバーが振られていない場合)

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版. (Retrieved from CGS Online website: http://xxxxxxxxxxxxxxxx.com)
Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press. (Retrieved from CGS Online website: http://xxxxxxxxxxxxxxxx.com)
Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press. (Retrieved from CGS Online website: http://xxxxxxxxxxxxxxxx.com)

DOI ナンバーの振られていない作品を、CGS Online という名称のウェブサイトから無料で閲覧することができる場合の記述は上記のようになる。無料の場合には出版元情報の代替情報は Retrieved で始まる。

URI の後にはピリオドを打たない。

URI は、ウェブサイトのトップページなどではなく、引用作品へのダイレクトな URI を記述すること。

末尾追加情報の半角丸括弧にはピリオドなし。

(5) ウェブサイトからも有料で閲覧可能な場合 (doi ナンバーが振られていない場合)

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版. (Available from CGS Online website: <http://xxxxxxxxxxxxxx.com>)

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press. (Available from CGS Online website: <http://xxxxxxxxxxxxxx.com>)

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press. (Available from CGS Online website: <http://xxxxxxxxxxxxxx.com>)

DOI ナンバーの振られていない作品を、CGS Online という名称のウェブサイトから会員となって、または有料で閲覧することができる場合の記述は上記のようになる。会員制・有料の場合は出版元情報の代替情報は Available で始まる。URI の後にはピリオドを打たない。

URI は、ウェブサイトのトップページなどではなく、引用作品へのダイレクトな URI を記述すること

末尾追加情報の半角丸括弧にはピリオドなし。

2) 希少な作品で、所蔵機関などで閲覧できる場合

(1) 大学、図書館や博物館などの特定の機関に収蔵されていて、その機関に直接行って閲覧することができる場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版. (CGS 文庫, 国際基督教大学図書館, 国際基督教大学, 東京)

Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press. (CGS collection, International Christian University Library, International Christian University, Tokyo)

Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press. (CGS collection, International Christian University Library, International Christian University, Tokyo)

所蔵機関については、上位組織も含めて詳細に記述する。

上記の例では、作品を所蔵するコレクションだけでなく、コレクションを所管する図書館、その図書館を所管する大学、の2つの上位組織が記述されている。

Location の末尾にはピリオドを打たない。

末尾追加情報の半角丸括弧にはピリオドなし。

(2) 個人蔵の場合

阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版. (Book in possession of 阿賀沙多菜)

- Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press. (Book in possession of S. E. Aga)
- Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press. (Book in possession of Satana E. Aga)

所蔵者名の末尾にはピリオドを打たない。

作品の媒体に合わせて Book は Magazine や Series、DVD、Copy などに適宜変える。

末尾追加情報の半角丸括弧にはピリオドなし。

■ 著者位置以外の場所での貢献者名（人名）の構成

・ Given names を（Middle name(s)がある場合はそれらも全て）イニシャルで

・ Surname

・ Suffix (Jr.や III などがある場合のみ)

の3部によって、この順で構成される。

著者位置以外の場所においては、貢献者名は名→姓の順で記述する（日本語人名・日本語に転写された人名を除く）。

※当紀要への投稿論文では、必ずしも Given name をイニシャルに省略する必要はないが（日本語人名や日本語に転写された人名では、そもそもイニシャルにできない）、論文を通して省略するかしないかについて統一されている必要がある。また、Given name をイニシャル化しない場合でも、Middle names は必ずイニシャル化すること (e.g., S. E. Aga と Satana E. Aga)

○これら人名の各構成要素はピリオド等で終止せず、またそれぞれの要素間は、著者位置と違い、カンマを打たずにただ半角スペースで区切る（日本語人名除く）。

Given name・Middle name(s)のイニシャルや Jr の直後のピリオドは、一見これら要素の終了のようにも見えるが、実際はそれらが省略形であることを意味するだけのものである（ピリオドを打つのは Suffix では Jr だけで III 以降はピリオドなし）。

著者位置とは違って、各貢献者名一人一人（一団体一団体）の末尾には、貢献者名の終止を意味するピリオドを打たない。 Given name・Middle name(s)のイニシャルや Jr が省略形であることを意味するピリオドが、一見貢献者名の終止ピリオドのようにも見えるが、実際はそれらが省略形であることを意味するだけのものである（ピリオドを打つのは Suffix では Jr だけで III 以降はピリオドなし）。

■ 著者位置以外の場所での、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

・ 日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順

・ それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順

・ 2 人列挙の場合では A, & B,

・ 3 人以上の列挙では A, B, ... F, & G,

となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような貢献者の列挙は7人までで、8人以上いる場合は
A, ■B, ■C, ■D, ■E, ■F, ■. ■. ■. ■Z, ■
のように記述する。アンパサンドを使わずに6人目までカンマを挟んで
列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド3つを置き、最後に、一
番最後の貢献者だけを記述する。

■著者位置以外の場所での、同一 Contribution でまとめた**貢献者グループ**
の列挙

・2グループ列挙の場合では GroupA, ■& ■GroupB ■
・3グループ以上の列挙では GroupA, ■GroupB, ■... ■GroupF, ■& ■GroupG ■
となる。アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常は
アンパサンド前にはカンマを打たない）。
上記のような同一 Contribution グループの列挙は7グループまでで、8
グループ以上ある場合は
GroupA, ■GroupB, ■GroupC, ■GroupD, ■GroupE, ■GroupF, ■. ■. ■. ■GroupZ, ■
のように記述する。アンパサンドを使わずに6グループ目までカンマを
挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド3つを置き、最後
に、一番最後の貢献者グループだけを記述する。
また、グループ間の順序は Contribution の重要度で決まる。
該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■著者位置以外の場所での Contribution の列挙は
Contribution がいくつか兼任されている場合は、
・Contribution を半角角括弧で囲う場合は
・2つの列挙で(ContributionA ■& ■ContributionB)、
・3つ以上だと(ContributionA, ■ContributionB, ■... ■ContributionY ■& ■
ContributionZ)
・Contribution を半角角括弧で囲わない場合は、
・2つの列挙で ContributionA ■& ■ContributionB、
・ContributionA, ■ContributionB, ■... ■ContributionY ■& ■ContributionZ
のように、いずれもアンパサンド前にカンマを打たずに記述する（ここ
が貢献者名の列挙と違うので注意）。
Contribution は貢献者名と違って、8以上あっても ■. ■. ■. ■で省略しない。
該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■著者位置以外の場所での人名のバリエーション

- 1) 著者位置以外の場所における貢献者が通常の人名の場合
阿賀沙多菜
S. ■E. ■Aga
Satana ■E. ■Aga
- 2) 著者位置以外の場所における貢献者名の Surname に接頭辞（O や
Mc）がつく場合
M. ■A. ■MacNeil
Maria ■A. ■MacNeil
M. ■A. ■McArthur
Maria ■A. ■McArthur

M. ■ A. ■ O'Connell
Maria ■ A. ■ O'Connell

接頭辞の記述は、引用した作品の記述に倣うこと。

3) 著者位置以外の場所における貢献者名の Surname に前置詞 (de や van) がつく場合

R. ■ H. ■ van ■ Rijn
Rembrandt ■ H. ■ van ■ Rijn
P. ■ de ■ Champaigne
Philippe ■ de ■ Champaigne
M. ■ Q. ■ de ■ La ■ Tour
Maurice ■ Q. ■ de ■ La ■ Tour
F. ■ von ■ Stuck
Franz ■ von ■ Stuck

接続詞なども、省略せずに記述する。

4) 著者位置以外の場所における貢献者名の Surname が複数の語に分かれている場合

H. ■ Rodham ■ Clinton
Hillary ■ Rodham ■ Clinton

Surname が複数の語によって成り立っている場合は、それをそのまま記述する。

5) 著者位置以外の場所における貢献者名の Surname が複数の語に分かれてハイフンでつながれている場合

A. ■ Labille-Guiard
Adelaide ■ Labille-Guiard

貢献者名の Surname が複数の語に分かれてハイフンでつながれている場合でも、それをそのまま記述する。

6) 著者位置以外の場所における貢献者名の Surname に Suffix (Jr. や III) がつく場合

S. ■ E. ■ Aga ■ III
Satana ■ E. ■ Aga ■ Jr.

Jr の末尾ピリオドは、Jr が省略形であることを示す末尾ピリオドである。

7) 著者位置以外の場所における貢献者名の Given name や Middle name(s) が複数の語に分かれてハイフンでつながれている場合

J.-B. ■ Lamour
Jean-Baptiste ■ Lamour

イニシャル化をする場合は、ハイフンの前後両方共をイニシャル化する。

8) 著者位置以外の場所における貢献者名が Surname ・ Given name ・ Middle names という構成要素で成り立っていない人名の場合

Samirah ■ bint ■ Ibrahim ■ bin ■ Hamad ■ Al-Ibrahim

著者位置以外の場所では、原語での記述順に、要素ごとに半角スペースで区切って記述する。

ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s)をイニシャル化しなくて良い

9) 著者位置以外の場所における貢献者名が日本語転写された貢献者名の場合（翻訳作品を除く）

(1) 著者位置以外の場所における貢献者名がカタカナ転写の場合

サタナ・E・アガ
サタナ・エリザベス・アガ
サタナ・E＝アガ
サタナ・エリザベス＝アガ

姓名の順は作品に記述されている通りのまま、各要素間にはスペースを挟まず、代わりに中黒を打って記述する。＝記号が使用されている場合は、それもそのまま記述。**カタカナ転写の場合は、中黒は必須。**

(2) 著者位置以外の場所における貢献者名が日本式漢字への転写の場合

魯迅。

司馬遷。

姓名の順は作品に記述されている通りのまま、日本語人名と同じく**中黒は打たない。**

(3) 著者位置以外の場所における貢献者名がカタカナ転写・日本式漢字転写・ローマ字表記などが混交した転写の場合

エリザベス阿賀沙多菜
エリザベス・阿賀・沙多菜
Elisabeth 阿賀沙多菜

姓名の順は作品に記述されている通りのまま、中黒に関しても作品の記述に倣う。**作品の記述に中黒がない場合は打たなくて良い。**

10) 著者位置以外の場所における貢献者名が、Given name・Middle name(s)をイニシャル化した結果、同姓異名の著者の区別がつかなくなってしまった場合

S.■E.■Aga■[Satana■Elisabeth]
S.■E.■Aga■[Satana■Elyse]
または、
Satana■E.■Aga■[Elisabeth]
Satana■E.■Aga■[Elyse]

区別がつかない貢献者たちだけ、貢献者名直後に半角角括弧で囲った形で、イニシャル化しない Given name と Middle name(s)を記述する。

11) 著者位置以外の場所における貢献者名：引用作品が日本語以外の言語から日本語に翻訳されたものの場合

Jiaoda■Du■[基督教大,基督教大]
Kyotae■Tok■[독교대,トク・キョデ]

・貢献者名のローマ字記述（原語がローマ字語でない場合、ローマ字転写の Given name や Middle name(s)は、イニシャル化してはならない）

／ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s)をイニシャル化しなくて良い)

- ・原語がローマ字語でない場合、直後に半角角括弧で囲って、[原語による貢献者名, 貢献者名の日本語転写]の2つを記述する。原語による貢献者名の記述の際、姓名の順は原語の慣例に習う。貢献者名の日本語転写は9)を参照のこと。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

12) 著者位置以外の場所における貢献者名: 引用作品が英語以外の言語から英語に翻訳されたものの場合

Jiaoda Du [基督教大]

Kyotae Tok [독교대]

- ・貢献者名のローマ字記述 (原語がローマ字語でない場合、ローマ字転写の Given name や Middle name(s)は、イニシャル化してはならない)／ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s)をイニシャル化しなくて良い)
- ・原語がローマ字語でない場合、直後に半角角括弧で囲って、[原語による貢献者名]を記述する。姓名の順は原語の慣例に習う。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

13) 著者位置以外の場所における貢献者名: 引用作品が英語・日本語以外の言語によって制作された原語版の場合

Jiaoda Du [基督教大]

Kyotae Tok [독교대]

- ・貢献者名のローマ字記述 (原語がローマ字語でない場合、ローマ字転写の Given name や Middle name(s)は、イニシャル化してはならない)／ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s)をイニシャル化しなくて良い)
- ・原語がローマ字語でない場合、直後に半角角括弧で囲って、[原語による貢献者名]を記述する。姓名の順は原語の慣例に習う。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

14) 著者位置以外の場所における貢献者名: 作品自体に記述がない貢献者名の場合

(1) 著者位置以外の場所における貢献者名: 確実視されている貢献者があるが、作品に記述がない場合

[阿賀沙多菜]

[S. E. Aga]

[Satana E. Aga]

[S. E. Aga [Satana Elisabeth]] & [S. E. Aga [Satana Elyse]]

[Satana E. Aga [Elisabeth]] & [Satana E. Aga [Elyse]]

[Jiaoda Du [基督教大, 基督教大]]

[Kyotae Tok [독교대, 토크·키오데]]

[Jiaoda Du [基督教大]]

[Kyotae Tok [독교대]]

貢献者名を一人一人半角角括弧に囲って記述する。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

(2) 著者位置以外の場所における貢献者名: 推定貢献者名がいるが、作品に記述がなく、疑問も多いという場合

[阿賀沙多菜?]

[S.■E.■Aga?]

[Satana■E.■Aga?]

[S.■E.■Aga■[Satana■Elisabeth]?]&■[S.■E.■Aga■[Satana■Elyse]?]

[Satana■E.■Aga■[Elisabeth]]&■[Satana■E.■Aga■[Elyse]]

[Jiaoda■Du■[基督教大, 基督教大?]

[Kyotae■Tok■[독교대, トク・キョデ?]

[Jiaoda■Du■[基督教大?]

[Kyotae■Tok■[독교대]]

貢献者名を一人一人半角角括弧に囲った上で、半角角括弧内の末尾に半角疑問符を記述する。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

(3) 著者位置以外の場所における貢献者名: 確実視されているものの作品自体に記述のない貢献者が複数人いる場合

[阿賀沙多菜], [阿笠田奈], [阿伽紗棚], [伊木七荷], [井岸智荷], [宇楠つぬ]&■[宇休須ツヌ]

[S.■E.■Aga], [T.■M.■Akasa], [S.■P.■Akya], [S.■T.■Igi], [C.■S.■M.■Ikishi], [T.■E.■Ukusu]&■[T.■A.■Ukyusu]

[Satana■E.■Aga?], [Tana■M.■Akasa?], [Satana■P.■Akya?], [Shichini■T.■Igi?], [Chini■S.■M.■Ikishi?], [Tsunu■E.■Ukusu?]&■[Tsunu■A.■Ukyusu?]

一括して半角角括弧に囲うのではなく、貢献者名を一人一人半角角括弧に囲って記述する。

(4) 著者位置以外の場所における貢献者名: 作品に記述がなく疑問も多い推定貢献者名が複数いる場合

[阿賀沙多菜?], [阿笠田奈?], [阿伽紗棚?], [伊木七荷?], [井岸智荷?], [宇楠つぬ?]&■[宇休須ツヌ?]

S.■E.■Aga?, [T.■M.■Akasa?], [S.■P.■Akya?], [S.■T.■Igi?], [C.■S.■M.■Ikishi?], [T.■E.■Ukusu?]&■[T.■A.■Ukyusu?]

[Satana■E.■Aga], [Tana■M.■Akasa], [Satana■P.■Akya], [Shichini■T.■Igi], [Chini■S.■M.■Ikishi], [Tsunu■E.■Ukusu]&■[Tsunu■A.■Ukyusu]

一括して半角角括弧に囲うのではなく、貢献者名を一人一人半角角括弧に囲った上で、半角角括弧内の末尾に半角疑問符を記述する。

■著者位置以外の場所の Contribution

各貢献者名には、それぞれ contribution を記述できる。

・著者位置以外の場所においては、

(1) 貢献者全体がすでに半角角括弧に囲われている場合は、その中の Contribution は半角角括弧に囲わずに記述する。

(2) 貢献者全体が半角角括弧に囲われていない場合は、その中の Contribution は半角角括弧に囲って記述する。

・著者位置以外では、各貢献者名はピリオドで終止しないので、当然各 Contribution もピリオドで終止しない。

1) Contribution の兼任

貢献者の中には複数の Contribution を兼任しているものも多い。その場合は、

(1) G. M. Surname (Executive Producer), G. M. Surname (Producer & Director), & G. M. Surname (Writer, Director & Performer)

(2) G. M. Surname, Executive Producer, G. M. Surname, Producer & Director, & G. M. Surname, Writer, Director & Performer

のように記述する。貢献者が複数いる場合は、Contribution も複数形になる点に注意。Ed.は Eds.になるが、Translator の省略形 Trans.は単複同形なので、該当貢献者が複数いても形が変わらない。

2) 複数貢献者による同一 Contribution の共有

複数の貢献者が同一の Contribution を共有している場合もあるが、その場合は同じ Contribution を各々に何度も記述するのではなく、

(1) G. M. Surname, & G. M. Surname (Supervising Eds.), & G. M. Surname, G. M. Surname, & G. M. Surname (Annotators, Eds. & Trans.)

(2) G. M. Surname, & G. M. Surname, Supervising Eds., & G. M. Surname, G. M. Surname, & G. M. Surname, Annotators, Eds. & Trans.

のように、一括して記述する。貢献者が複数いる場合は、Contribution も複数形になる点に注意。Ed.は Eds.になるが、Translator の省略形 Trans.は単複同形なので、該当貢献者が複数いても形が変わらない。

3) 複数貢献者による同一 Contribution の部分的共有

必然的に、完全に同じ Contribution を共有していない場合は上記のようにまとめた記述はできず、

(1) G. M. Surname, & G. M. Surname (Supervising Eds.), G. M. Surname, & G. M. Surname (Annotators, Eds. & Trans.), & G. M. Surname, & G. M. Surname (Annotators & Trans.)

(2) G. M. Surname, & G. M. Surname, Supervising Eds., G. M. Surname, & G. M. Surname, Annotators, Eds. & Trans., & G. M. Surname, & G. M. Surname, Annotators & Trans.

このように、それぞれ別グループとしてまとめる必要がある。

貢献者が複数いる場合は、Contribution も複数形になる点に注意。Ed.は Eds.になるが、Translator の省略形 Trans.は単複同形なので、該当貢献者が複数いても形が変わらない。

※Contribution は、基本的に作品に貢献した人物団体を列挙する場合に、それぞれを差別化するために必要になってくるものである。

そのため、原作者しか貢献者がいない作品の場合には、(Author)という contribution は記述する必要がない（特に断りのない場合は原作者に決まっているから）。

(3) 論文執筆者個人の所蔵物の場合

- 阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版. (Book in possession of author)
- Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press. (Book in possession of author)
- Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press. (Book in possession of author)

author の末尾にはピリオドを打たない。

作品の媒体に合わせて Book は Magazine や Series、DVD、Copy などに適宜変える。

末尾追加情報の半角丸括弧にはピリオドなし。

(4) アーカイブに所蔵されているものの場合

- 阿井上緒. (2003). 『ジェンダー研究センター』. 東京: CGS 出版. (CGS 文庫デジタルアーカイブ, call number 000, box number 000, folder number 000, file number 000, 三鷹, 東京)
- Ai, U. M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press. (CGS collection digital archive (call number 000, box number 000, folder number 000, file number 000), Mitaka, Tokyo)
- Ai, Ueo M. (2003). *Center for gender studies*. Tokyo: CGS Press. (CGS collection digital archive (call number 000, box number 000, folder number 000, file number 000), Mitaka, Tokyo)

Location の末尾にはピリオドを打たない。

ここでは

call number, box number, folder number, file number,

の順でナンバーを記述して作品を特定しているが、アーカイブによっては階層管理の方法が違うので、ナンバーは適宜変えて記述すること。

末尾追加情報の半角丸括弧にはピリオドなし。

※アーカイブ名として記述していいのは日本語か英語のみで、それ以外の言語圏のアーカイブ名については、公式な英語訳で記述する。

■ **末尾追加情報**の半角丸括弧情報は、厳密に言えば Reference list の正規の記述ではないため、半角丸括弧の後に、終了ピリオドを打ってはいけない。